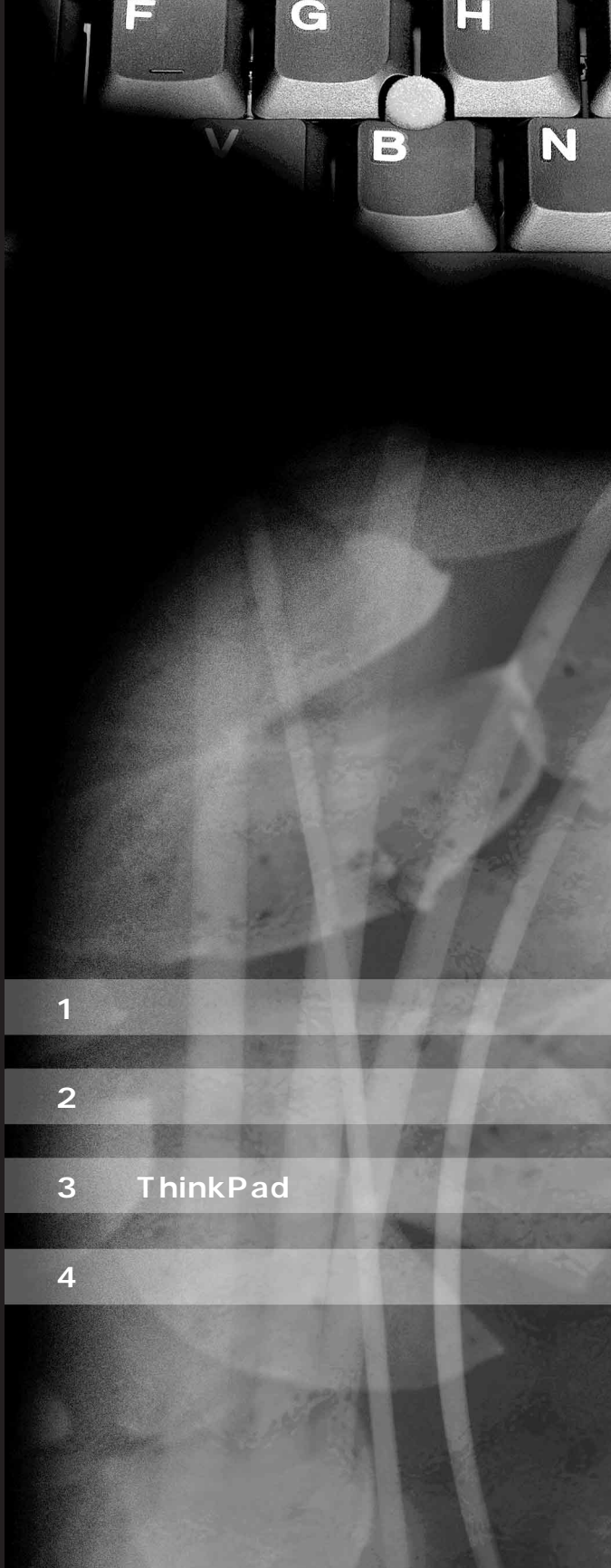




IBM



第1章 まず、基本的なことを覚えよう

第2章 通信機能を使ってみよう

第3章 ThinkPadを管理しよう

第4章 故障かな? と思ったら

ThinkPad

IBM PC ハウス・コール訪問サービス

「PCのセットアップを代わりにやってほしい」

「インターネットの接続がうまくいかない」

「付属のCD-ROMをインストールしたいが、ガイドを見てもよくわからない」

このような場合、「IBM PC ハウス・コール訪問サービス」(有料)をご利用ください。

IBM指定のサービス技術員がお客様のご自宅へうかがい、お客様に代わってサポートいたします。

お問い合わせ先 : IBM PC ホーム・アシスタンス・デスク

電話番号 : 0120-50-8690 (フリーダイヤル)

受付時間 : 9:00 - 17:00 (第二日曜日、年末年始を除く)

第1版 1999年2月

資料番号 GA88-0124-00

本書は、製品の改良その他により適宜改訂されます。

本書に関するご意見、ご感想は、下記のホームページで承っております。

<http://www.infocr.co.jp/ifc/survey/>

このたびは、IBM® ThinkPad®（シンクパッド）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書では、ThinkPadをお使いいただくときの基本的な事柄をわかりやすく説明しています。

「セットアップ・ガイド」はお読みになりましたか？ ThinkPadをお使いになる前に、ThinkPadのセットアップを完了しておきましょう。

本書の構成は、次のとおりです。

第1章 「まず、基本的なことを覚えよう」

はじめてパソコンをお使いになる方のために、パソコンの基本からThinkPadを使うための基礎知識をやさしく説明しています。また、Windows®98のセットアップのしかたについても説明しています。

第2章 「通信機能を使ってみよう」

インターネットにアクセスする手順やファックスの送受信のしかたなどを紹介しています。実際にThinkPadを使ってぜひチャレンジしてみましょう。

第3章 「ThinkPadを管理しよう」

システム構成を保護するプログラムやウィルス検知プログラムをインストールする方法などを紹介しています。

第4章 「故障かな？と思ったら」

何か問題が起きたときや困ったときに、解決のヒントになるような事例を紹介しています。

付録

キーボードのキーの名前と使い方、およびローマ字とかな対応表を参照するときに、ご利用ください。

第1章 まず、基本的なことを覚えよう

パソコンってなんだろう？	12
パソコンは何に使うの？	12
パソコンとワープロの違いは？	13
ThinkPad と普通のパソコン（デスクトップ型）の違いは？	14
ソフトウェアについて知っておこう	15
ハードウェアとソフトウェアについて	15
オペレーティング・システムとアプリケーション・ソフトウェアについて	15
プリインストール・ソフトウェアとは	16
ThinkPad はこうなっている	17
ThinkPad の電源を入れてみよう	19
電源を入れる順番は？	19
ThinkPad を起動しよう	20
Windows98 をセットアップする	22
ThinkPad の操作を終了しよう	31
ThinkPad の電源を切るには	31
突然操作できなくなった場合は（リセットのしかた）	32
トラックポイント（またはマウス）の使い方を覚えよう	34
トラックポイントのスティックを操作してみよう	34
トラックポイントのクリック・ボタンを押してみよう	35
マウスを ThinkPad に接続しよう	37
マウスを動かしてみよう	37
マウスのボタンを押してみよう	38
キーボードで文字を入力してみよう	41
ThinkPad のキーボードについて	41
漢字やひらがなを入力するときの基本は	42
日本語入力モードにするには	42
入力方式について	43
ひらがなを入力するには	43
漢字を入力するには	45

カタカナを入力するには	46
アルファベットを入力するには	49
句読点や記号を入力するには	51
かな入力方式に変更するには	53
文字入力の方法がわからないときは	55
Windows98 の画面はこうなっている	57
アプリケーション・ソフトウェアを使うには	59
デスクトップのアイコンから選ぶ	59
[スタート] ボタンから選ぶ	59
「ファイル」と「フォルダー」について	61
自分専用のフォルダーを作ろう	63
作ったファイルを保存しよう	65
ファイルを「コピー」したり「移動」するには	67
異なるドライブの場合	67
同じドライブの場合	68
ファイルのバックアップについて	69
ファイルの保存場所がわからなくなったら	70
ショートカットを作ってみよう	73
ディスクットを使う	76
ディスクットについて	76
ディスクット・ドライブの使い方	77
ディスクットを使うときは	79
CD-ROM をセットする	81
本体組み込み型 CD-ROM ドライブの使い方	81
外付け CD-ROM ドライブの使い方	83
PC カードを使う	86
PC カードについて	86
PC カードの種類は	86
PC カードを使うときは	87

プリンターを接続して印刷する	89
バッテリーをうまく使うには	94
サスペンド機能を使う	95
画面の明るさを調節する	96
使っていないオプションを取り外す	96

第2章 通信機能を使ってみよう

通信機能を使う前に	98
まず、確認しよう	98
モデムをセットアップしよう	98
インターネットにつないでみよう	102
インターネットって何だろう?	102
インターネットでどんなことができるの?	103
プロバイダーとブラウザについて	105
「はじめよう ThinkPad でインターネット」を見よう	105
インターネットにつなぐ準備をしよう	107
IBM のプロバイダーにユーザー登録するには	107
電子メール (E-mail) を使えるように設定しよう	114
インターネットに接続するには	122
接続を終了するには	124
インターネットを楽しもう	126
電子メール (E-mail) を送ってみよう	131
ファックス、電話機能を使ってみよう	135
初めて使うときは	135
ファックスを送信してみよう	145
ファックスを受信しよう	150
電話機能を使ってみよう (RingCentral)	155
赤外線通信を試してみよう	161
赤外線通信用アプリケーションを起動する	161
相手 ThinkPad との接続を確認する	161
ThinkPad 間でファイルを転送してみる	164

第3章 ThinkPadを管理しよう

起動ディスクを作っておこう	170
システム構成を保護しよう	173
システム構成を保護するプログラムをインストールするには	173
システム情報を管理するには	174
システム障害を回復させるには	175
ウィルスから ThinkPad を守ろう	176
ウィルス検知プログラムをインストールするには	176
ウィルスが見つかったときは	179
最新のウィルス情報を取得するには	179
IBM にお客様名を登録（ユーザー登録）しよう	181
修正プログラムを入手するには	186

第4章 故障かな？と思ったら

章目次（トラブル一覧）	188
重大なトラブルとその対処について	191
トラブルの予防とウィルスについて	192
トラブルを解決するためのヒント	194
「困ったな」「どうしよう」の事例紹介	195
1. 起動時または終了時のトラブル	196
2. ディスプレイ関連のトラブル	198
3. キーボード関連のトラブル	199
4. トラックポイント（マウス）関連のトラブル	201
5. スピーカー関連のトラブル	202
6. CD-ROM 関連のトラブル	203

7. ディスケット（フロッピーディスク）関連のトラブル	205
8. ハードディスク関連のトラブル	207
9. プリンター関連のトラブル	208
10. PC カード / オプション関連のトラブル	209
11. Windows 98 関連のトラブル	210
12. アプリケーション関連のトラブル	214
13. 通信機能関連のトラブル	216
14. バッテリー関連のトラブル	226
15. その他のトラブル	227
トラブルが解決しないときは	230
トラブル・チェックシートについて	230
サポート体制について	230

付録

キーボードのキーの名前と使い方	232
ローマ字とかな対応表（MS-IME98 用）	241
索引	243

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミング、またはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品、またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検査はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032
東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

商標

IBM、ThinkPad、TrackPointは、IBM Corporationの米国、その他の国における商標です。

"Microsoft""Windows"および"Windows"ロゴはMicrosoft Corporationの登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

第 1 章

まず、基本的なことを覚えよう

パソコンってなんだろう？	12
ソフトウェアについて知っておこう	15
ThinkPad はこうなっている	17
ThinkPad の電源を入れてみよう	19
ThinkPad の操作を終了しよう	31
トラックポイント（またはマウス）の 使い方を覚えよう	34
キーボードで文字を入力してみよう	41
Windows98 の画面はこうなっている	57
アプリケーション・ソフトウェアを使うには	59
「ファイル」と「フォルダー」について	61
ファイルを「コピー」したり「移動」するには ...	67
ショートカットを作ってみよう	73
ディスクットを使う	76
CD-ROM をセットする	81
PC カードを使う	86
プリンターを接続して印刷する	89
バッテリーをうまく使うには	94

パソコンってなんだろう？

「パーソナル・コンピューター」、略してパソコン。つまり個人用のコンピューターのことです。会社では、自分の机の上において仕事の能率アップをはかったり、家庭では、ゲームやインターネットを楽しんだり、家族の情報を管理することもできます。このように、わたしたちの生活を豊かにするために使うとても便利な電気製品、それがパソコンなのです。

パソコンは何に使うの？

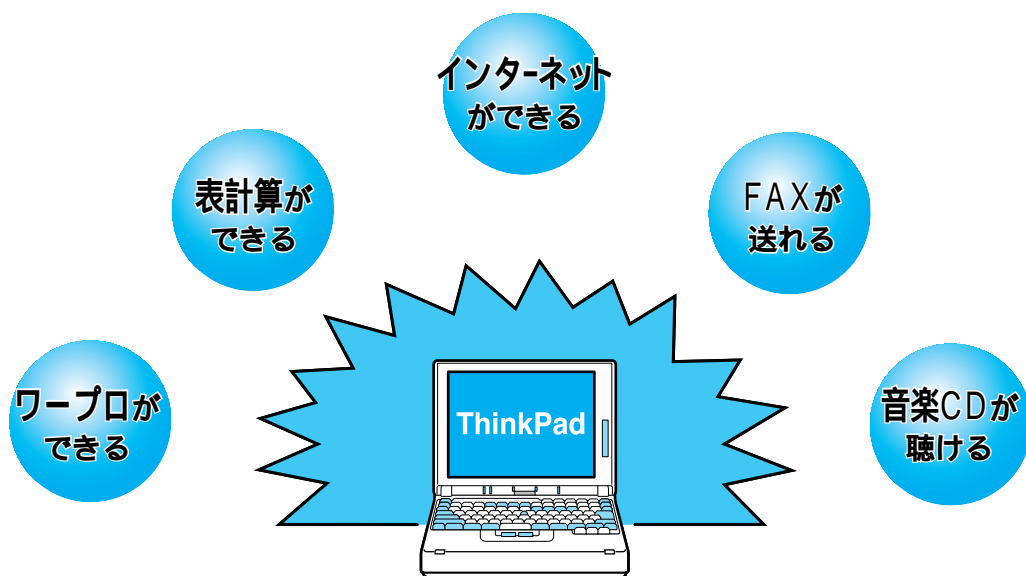
パソコンは、電気製品とは言っても電話や炊飯器といった用途の決まったものとは違い、さまざまな目的のために利用できる「魔法の箱」です。たとえば、インターネットを楽しんだり、家計簿をつけたり、ゲームで遊んだり…。そしてパソコンは、ワープロ、電話、ファックス、テレビ、ステレオなどいろいろな家庭の電気製品にも早変わりします。

かつてのパソコンは…

かつてのパソコンは、「ソフトがなければ、タダの箱」と言われました。市販のソフトウェアを買ってきて、パソコンにインストール(導入)しなければ使えなかったのです。

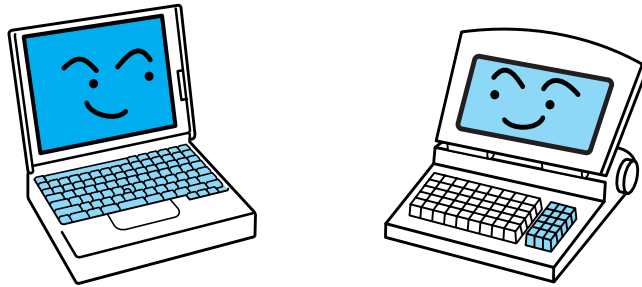
いま ThinkPad なら…

ThinkPad には、Windows®(ウィンドウズ)98をはじめ、いろいろなソフトウェアがついており、すぐに使えるようになっています。



パソコンとワープロの違いは？

ThinkPadを買う前に「パソコンとワープロは似ているけど、どこが違うのだろうか？」と悩んだことはありませんでしたか？ キーボードが付いて、ディスプレイがあって・・・外観で見分けることはちょっと難しそうですね。では、中身はどうでしょう。



パソコンとワープロの違いをひとことでいってしまえば、ワープロ専用かそれ以外(いろいろな用途に使える)かというところにあります。ワープロは文章の作成や印刷を行うために作られたもので、キーボードも専用のものが使われたり、作成した文書の保存形式も機種ごとに独自のものを使ったりしています。

一方、パソコンはもともといろいろな使い方ができるように考えられていて、作成した文書も標準のファイル形式になっているため、機種異なるパソコンでも同じデータを扱うことができます。

パソコンにはワープロ以上に、いろいろな可能性があるのです。

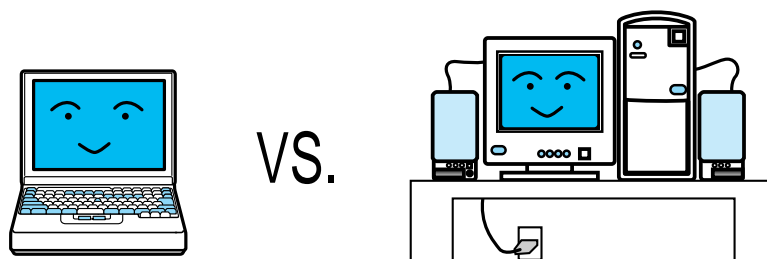
ThinkPad と普通のパソコン（デスクトップ型）の違いは？

一体型パソコンで省スペース

ThinkPad は、「ノートブック型パソコン」と呼ばれるタイプのパソコンで、キーボードやディスプレイ、バッテリー電源がすべてひとつにまとめられた一体型になっています。オフィスやご家庭の省スペースに役立ちます。

持ち運びに便利！

机上に据え置きで使うデスクトップ型パソコンと違い、小さく軽いため、持ち歩きしやすいのが最大の特徴です。



ThinkPadはこのように必要な機能がコンパクトにまとめられているので、カバンに入れて持ち歩き、外出先で軽快に使うことができます。

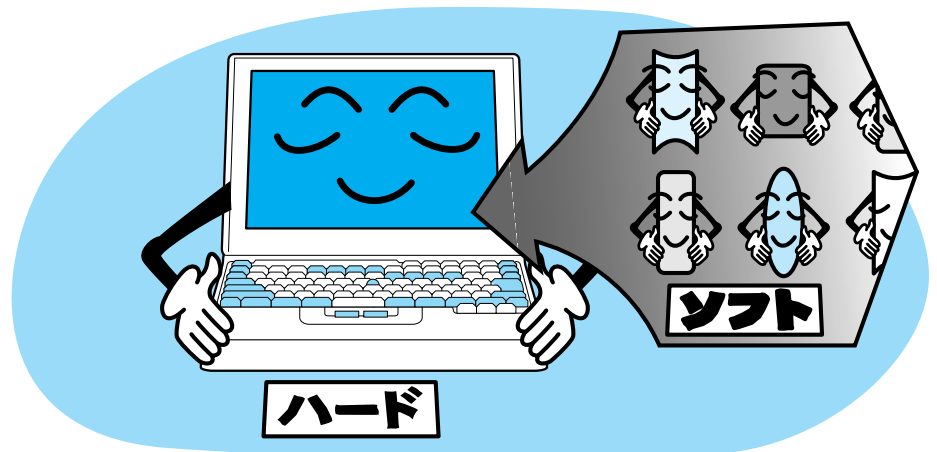
ソフトウェアについて知っておこう

パソコンを使って仕事やゲームをするためには、ハードウェアだけではなく、パソコンを動かすための「ソフトウェア」が必要です。

ハードウェアとソフトウェアについて

「ハードウェア」は、もともと「金物(かなもの)」という意味があり、見たり触れたりすることのできるパソコンの機械そのものです。ディスプレイやキーボードは「ハードウェア」です。

「ソフトウェア」には、パソコンを動かすための手順が書かれています。「ソフトウェア」は、パソコンの内部に記憶されています。パソコンの電源を入れるとソフトウェアが読み出され、パソコンが使えるようになります。



オペレーティング・システムとアプリケーション・ソフトウェアについて

パソコンのソフトウェアには、オペレーティング・システム(OS)とアプリケーション・ソフトウェア(アプリケーション、アプリケーション・ソフト、またはソフトウェアとも呼ばれます)があります。

オペレーティング・システムとは

オペレーティング・システム（OS）はアプリケーションとハードウェアの間において、データ（情報）の読み書きを行ったり、ハードウェアを効率的に使ったりする役目をもっています。OSはパソコンの基本的な機能を提供しているのです。ThinkPadにはOSとして「Windows 98」が入っています。

アプリケーション・ソフトウェアとは

一方、アプリケーションはOSの上で動いています。



アプリケーションはワープロや表計算などの特定の目的に応じて作られていて、通常パソコンで作業をする人は、アプリケーションを主に見ていることになります。表計算ソフトやはがき作成ソフトなどはアプリケーションです。アプリケーションを買うときは必ず「Windows 98用」のものを選びましょう。

プリインストール・ソフトウェアとは

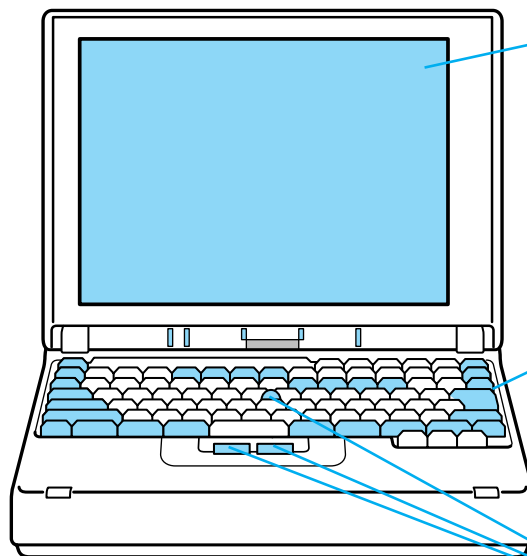
パソコンのソフトウェアは通常、パソコン・ショップなどで購入します。ソフトウェアを買ってきたら、箱の中に入っているディスク（フロッピーディスク）やCD-ROMを使って、まず「インストール（導入）」という作業を行わないと、使えるようになりません。インストール作業では、ソフトウェアをハードディスクに記憶させたり、そのソフトウェアをできるようにいろいろな設定を行います。

ThinkPadにはお店で売られているものと同じソフトウェアが、最初からいくつかインストールされています。これらを「プリインストール・ソフトウェア」と呼んでいます。めんどろな作業を行わなくても、ThinkPadを買ったその日からいろいろなソフトウェアが使えるようになっているのです。

ThinkPad はこうなっている

ThinkPad 本体

ThinkPad 本体は、CPU(中央演算処理装置)、メモリー、ハードディスク、PCカード・スロット、ディスケット・ドライブ、CD-ROMドライブ、電源、その他の部品で構成されています。



ディスプレイ

ThinkPad の画面が表示されます。

キーボード

ThinkPad に文字を入力します。ひらがなや英文字が書かれたキーを押せば、その文字が ThinkPad に入力されます。

トラックポイント

Windows 98では、文字の入力以外の入力、ほとんどのトラックポイントで操作します。画面に表示されるアイコンやボタンを自由に操作することができます。「マウス」と呼ばれる装置と同様の機能をもっています。

1

ヒント



ディスクやCD-ROMなどのディスクをセットし、保存されているプログラムやファイルを読み書きする装置を「ドライブ」と呼びます。

ハードディスクは、ディスクとドライブが一体化したものです。

ThinkPad 内部の主な部品

CPU

Central Processing Unit の略で、コンピューターの頭脳にあたります。複雑な計算や装置の制御など、コンピューターのほとんどの仕事はCPUが行っています。

メモリー

CPUが一時的に使う記憶装置です。メモリーの容量(単位はMB:メガバイト)を増やせばCPUがより多くの仕事を速くできるようになります。

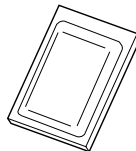
ハードディスク

ソフトウェアやデータの記憶装置です。OSやアプリケーションはハードディスクから読み込まれます。

外側から操作できる装置

PC カード・スロット

モデム・カードやフラッシュメモリー・カードなど、PCカードを差し込んで使います。



PCカード

ディスクット・ドライブ

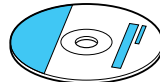
ディスクット(フロッピーディスク)にデータを保存したり、そのデータを読み出すときは、ディスクット・ドライブを使います。



ディスクット

CD-ROM ドライブ

CD-ROM や音楽CD、ビデオCDなどは、CD-ROM ドライブに入れます。



CD-ROM

ディスクット・ドライブとCD-ROMドライブには、本体に内蔵された「組み込み型タイプ」と、「外付けタイプ」があります。詳しい使いかたは76ページ以降をお読みください。

ThinkPadの電源を入れてみよう

それではさっそく ThinkPadの電源を入れてみましょう。

電源を入れる順番は？

1 本体にバッテリー・パックとACアダプターを取り付けます

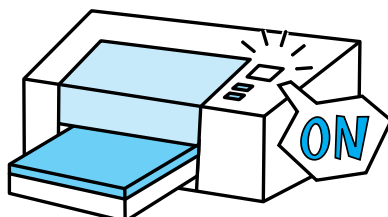
ヒント



電源スイッチの位置やバッテリー・パックの取り付けかたなどは、ThinkPadの機種によって異なります。詳しくは、付属の「セットアップ・ガイド」をお読みください。

2 周辺機器の電源を入れます

プリンターなどの周辺機器を ThinkPad につなげているときは、ThinkPad の電源スイッチを入れる前に周辺機器の電源を入れておきます。



3 ThinkPad 本体の電源を入れます



はじめて電源を入れたときは

ThinkPad を購入してはじめて電源を入れたときは、Windows 98 のセットアップ画面が表示されます。



Windows 98 をセットアップする方法については、「Windows 98 をセットアップする」(P.22)をお読みください。

ThinkPad を起動しよう

ThinkPad の電源を入れて、Windows 98 を使える状態にすることを「起動する」といいます。

1 ThinkPad の電源スイッチ(/ のマークが付いています)を入れます

「Windows 98 へようこそ」ウィンドウが表示されます。

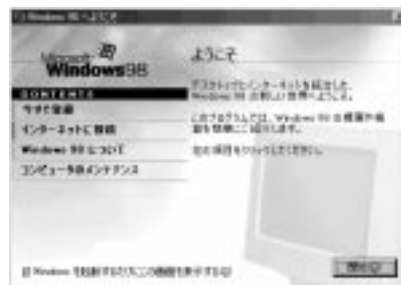
ThinkPad を購入してはじめて電源を入れたときは、Windows 98 のセットアップ画面が表示されます。「Windows 98 をセットアップする」(P.22)の手順に従って、Windows 98 をセットアップしてください。

ヒント



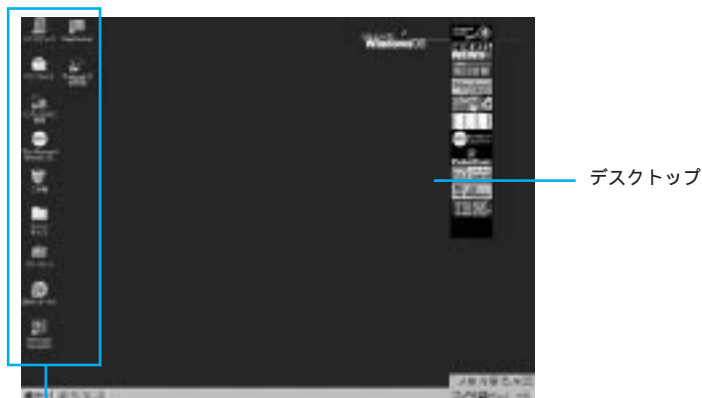
トラックポイントの使い方がわからない場合は、「トラックポイント(またはマウス)の使い方を覚えよう」(P.34)をお読みください。

2 ウィンドウ右上の[×] (閉じる) をトラックポイントの左ボタンでクリックします



このボタンをクリックします。

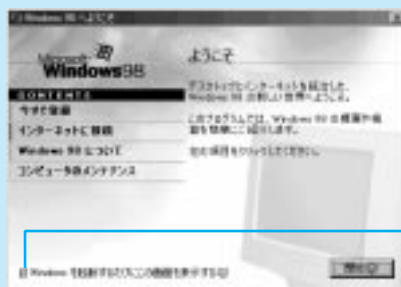
Windows 98 のデスクトップが表示されます。デスクトップとは、Windows 98 を起動したときに画面全体に表示される領域のことをいいます。いわば、Windows 98 の仕事場です。Windows 98 の画面については、57 ページをお読みください。



デスクトップ上に並んでいる小さな絵のことを「アイコン」と呼んでいます。アイコンは、ハードウェアや機能、命令などを絵で表わしています。

補足

「Windows 98 へようこそ」ウィンドウで、「Windows を起動するたびにこの画面を表示する」のチェックマークを外すと、次回からこのウィンドウは表示されません。



このチェックマークを外すときは、ここをトラックポイントの左ボタンでクリックします。

Windows 98 をセットアップする

ThinkPad 購入後、はじめて電源を入れたときや、リカバリー CD を使用した後は、Windows 98 のセットアップが必要です。

重要

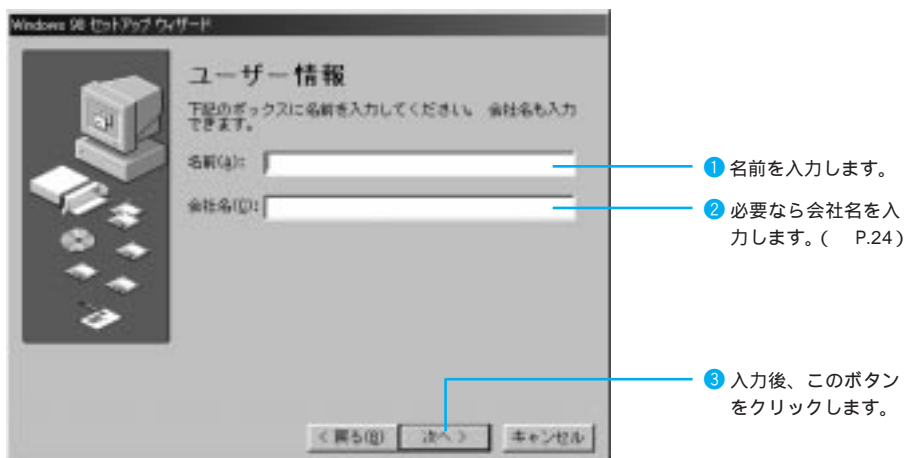


Windows 98 のセットアップ中にシステムがストップした場合は、ThinkPad の電源をいったんオフにして再びオンにしてください。

1 「ユーザー情報」を入力します

「ユーザー情報」ウィンドウでは、あなたの名前と会社名を空欄にキーボードを使って入力していきます。

Windows 98 のセットアップを進めていくと、このように文字を入力したり、画面に表示されているボタンを押す操作が何度も出てきます。文字の入力はキーボードで、ボタンを押す操作はキーボードに組み込まれているトラックポイントで行います。



1 まず、名前を入力します。

ここでは、漢字・ひらがな、カタカナ、アルファベットの入力方法を例をあげて説明します。

漢字・ひらがなを入力したい（詳しくは P.42）

たとえば「大和 たろう」と入力したいときは、次のようにします。

1. 名字の「大和」をローマ字読みにして、(Y)(A)(M)(A)(T)(O)のアルファベットの各キーを順に押します。
2. (変換)キーまたは()キー（スペースキー）を目的の漢字が表示されるまで（数回）押します。

3. **Enter** キーを押して漢字を確定します。
4. **Space** キーを押します。
カーソル (|) がひとつ右に移動して、名字と名前の間に空白が 1 文字分入力されます。文字は、いつもこの点滅するカーソル (|) 部分に入力されます。
5. 名前の「たろう」をローマ字読みにして、**T A R O U** のアルファベットの各キーを順に押します。
6. 漢字に変換せずにこのまま入力したいので、**Enter** キーを押して確定します。

カタカナを入力したい (詳しくは P.46)

たとえば「ヤマト」と入力したいときは、次のようにします。

ヒント



ここで **F8** キーを押すと、半角カタカナでヤマトと表示されます。

1. 「ヤマト」をローマ字読みにして、**Y A M A T O** のアルファベットの各キーを順に押します。
2. キーボードの奥側にある **F7** キーを 1 回押します。
画面に全角カタカナで ヤマト と表示されます。
3. **Enter** キーを押して確定します。

アルファベットを入力したい (詳しくは P.49)

たとえば「Y a m a t o」と入力したいときは、次のようにします。

ヒント



ここで **F10** キーを押すと、半角アルファベットで yamato などが表示されます。

1. **Y A M A T O** のアルファベットの各キーを順に押します。
2. キーボードの奥側にある **F9** キーを数回押します。
F9 キーを押すごとに、画面に y a m a t o や Y A M A T O などが表示されます。
3. 好みのアルファベット (ここでは「Y a m a t o」) が表示されたら、**Enter** キーを押して確定します。

入力を間違えたときは
間違えた文字を入力した場合は、キーボード右奥の(Backspace)キーを押すと、
カーソル(|)の左側にある文字が1文字ずつ消えていきます。

② 次に、必要なら会社名を入力します。

(Tab)キーを押すとカーソル(|)が会社名欄に移動するので、そこで会社名
を入力します。文字は、この点滅するカーソル部分に入力されます。

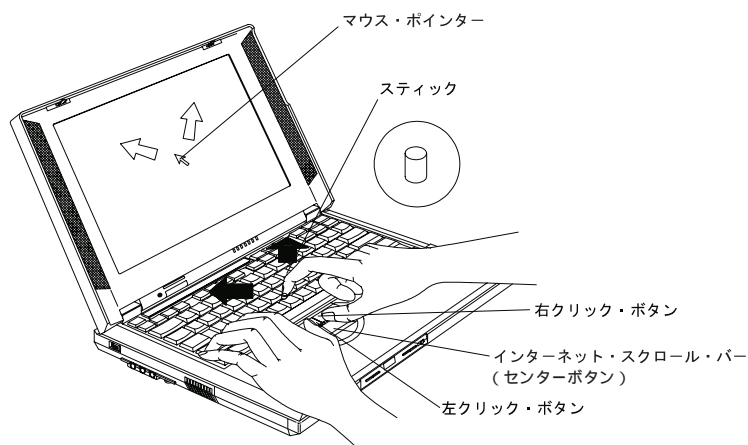
注：会社名は入力しなくても、セットアップを続けられます。その場合は、③
に進んでください。

③ トラックポイントで[次へ]をクリックします。

トラックポイントで画面のボタンを選ぶには

トラックポイントは、マウスと同じ機能をもっており、スティックと左右のク
リック・ボタンでできています。トラックポイントについては、34ペー
ジをお読みください。

インターネット・スクロール・バー(センターボタン)についての説明は、「ユー
ザーズ・リファレンス」を参照してください。



人指し指をスティックの上に置いて、ゆっくりと斜め方向に力を加えます。
その動きに合わせて画面上の矢印(マウス・ポインターと呼びます)が移
動します。

ヒント



間違えて先の画面に進んで
しまった場合は、[戻る]ボ
タンを押すと、ひとつ前の
画面に戻ることができます。

画面のマウス・ポインターの動きを見ながら、[次へ]の上にマウス・ポインターを移動させます。



親指で左側のクリック・ボタンを1回押します。
この動作で[次へ]を選んだことになります。

- ・「クリック」とは、左クリック・ボタンを一度押す動作をいいます。
- ・「ダブルクリック」とは、左クリック・ボタンをすばやく1秒以内に2回押す動作をいいます。

2 「使用許諾契約書」を確認します

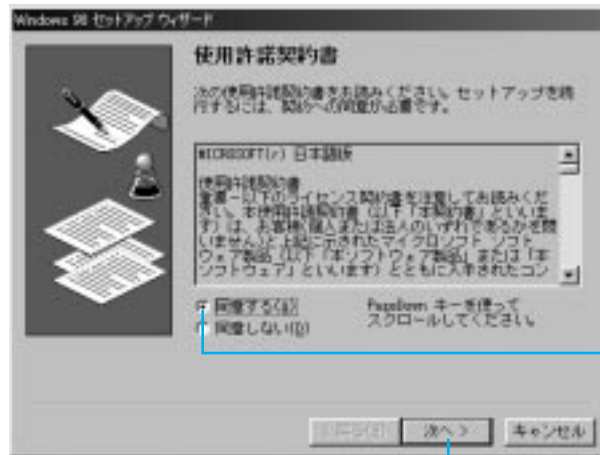
画面の内容をよく読みます。画面の続きを読むには、**PageDown**キーを押します。

内容に同意する場合は、「同意する」をクリックしてから、[次へ]をクリックします。

重要



「同意しない」をクリックした場合、セットアップは中止されます。



① ここをクリックします。

② このボタンをクリックします。

「プロダクト キー」のウィンドウが表示されます。

3 「プロダクト キー」の入力準備をします

付属の「Windows 98 ファーストステップガイド」を用意します。
表紙に記載されている Certificate of Authenticity の Product Key 番号を確認します。

重要



「Windows 98 ファーストステップガイド」は大切に保管してください。リカバリー作業等でWindows 98を再度セットアップするときになります。



Product key 番号はここに書かれています。

4 「プロダクト キー」を入力します

カーソル（点滅している）の位置に Product Key 番号を入力していきます。
番号をすべて入力したら、[次へ] をクリックします。

ヒント



数字を間違えて入力した場合は、(Backspace)キーで消して入力直してください。



「入力されたプロダクト キーは無効です。」のメッセージが表示されたら、[再入力] をクリックして元の画面に戻り、入力をやり直してください。

キーボードからの入力がよくわからない場合は

- ① [ヘルプ] をクリックします。
- ② 「キーボードヘルパを使用する」をクリックします。
にチェックマークが付きます。
- ③ [OK] をクリックします。
「プロダクト キー」を入力するウィンドウの中央に、入力のための英数字ボタンが表示されます。



- ④ カーソル(点滅している)の位置に、英数字ボタンでProduct Key 番号を順にクリックして入力します。
カーソルが表示されていない場合は、最初の入力欄を1回クリックしてから英数字ボタンをクリックしてください。
- ⑤ 番号をすべて入力したら、[次へ] をクリックします。

5 「ウィザードの開始」を確認します

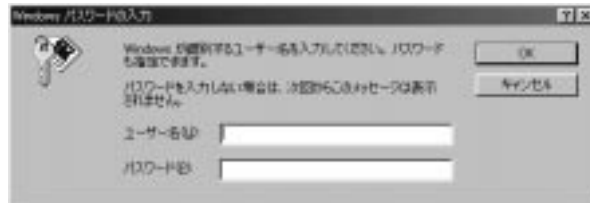
[完了] をクリックします。

しばらくの間、ハードウェアの設定が自動的行われます。



6 「Windows パスワード」を入力します

ユーザー名を入力します。ユーザー名は名字など自由に入力できます。パスワードも指定できますが、ここではパスワードは指定せず、ユーザー名のみ（たとえば YAMATO など）を入力し、[OK] をクリックします。



7 「日付と時刻」を確認します

画面左上の「日付と時刻」タブをクリックします。



8 「日付と時刻」を設定します

表示されている日付と時刻が現在の日時と合っているかどうかを確認します。合っていない場合は設定し直します。

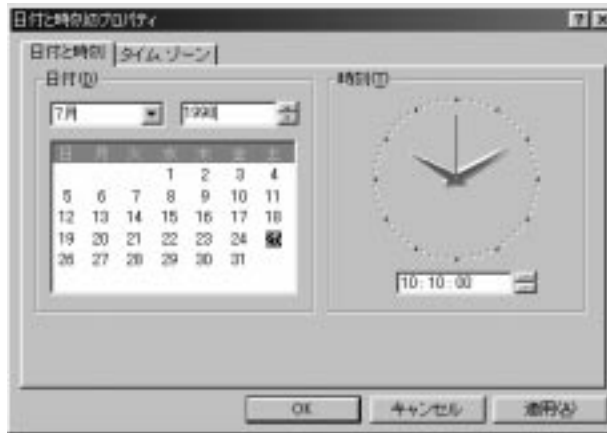
すべて正しい場合：「閉じる」(または [OK]) をクリックします。

日付が正しくない場合：月または日の数字をクリックして、正しい日付を選択します。

年が正しくない場合： または をクリックして変更します。

時刻が正しくない場合：時計の下の時、分、秒の数字をクリックしてから直接数字を入力するか、 または をクリックして正しい時刻に変更します。

変更後、[適用] をクリックしてから [OK] をクリックします。



重要



プリンターの設定は初心者の方には多少困難です。この画面は、Windows 98のセットアップ終了後いつでも再表示できますので、「プリンターを接続して印刷する」(P.89)を参照しながら、あとでゆっくりと行ってください。

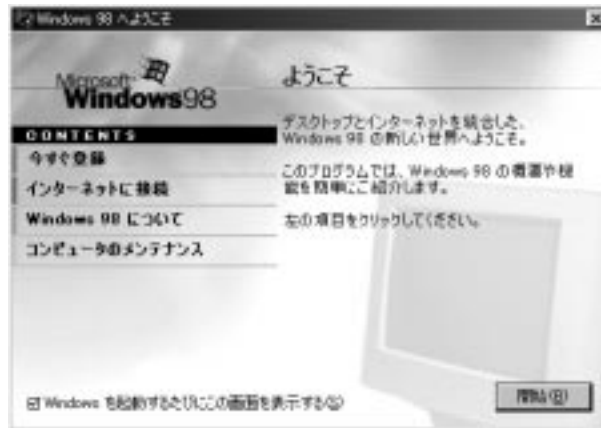
9 「プリンターの追加ウィザード」ウィンドウをキャンセルします

[次へ] をクリックすると使用するプリンターの設定ができますが、ここでは行わずに [キャンセル] をクリックして次に進みます。



Windows 98 の基本画面が表示されます。この基本画面は「Windows 98 デスクトップ」と呼ばれ、ここですべてのアプリケーションの操作を行います。その前面に「Windows 98 へようこそ」と題された「ウィンドウ」が表示されます。

10 「Windows 98 へようこそ」ウィンドウを終了します



終了するには、このボタンをクリックします。

- ・ 初心者の方は、「Windows 98 について」をクリックすると、Windows 操作の基本を体験・学習することができます。
- ・ 「Windows 98 へようこそ」ウィンドウを終了するには、ウィンドウ右上の [X] (閉じる) をクリックします。

ThinkPadの操作を終了しよう

ThinkPadを使い終わったら、パソコンの電源を切るための作業が必要です。いきなり電源スイッチで切らないようにしましょう。

ThinkPadの電源を切るには

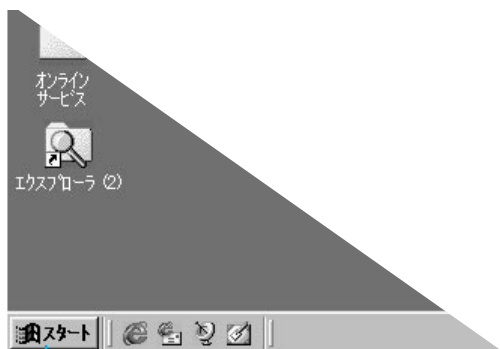
ヒント



一部の機種には「Safe offユーティリティ」が付いています。その場合は、電源ボタンを押すことで電源を切ることができます。

ThinkPadの電源を切るときは、いきなり電源スイッチで切らずに、まずWindows 98を終了させます。Windows 98が終了すると、ThinkPadの電源も一緒に切れます。Windows 98を終了するには、Windows 98のスタート・メニューの「Windowsの終了」を使います。

- 1 デスクトップ左下の[スタート]ボタンをトラックポイントの左ボタンでクリックします



このボタンをクリックします。

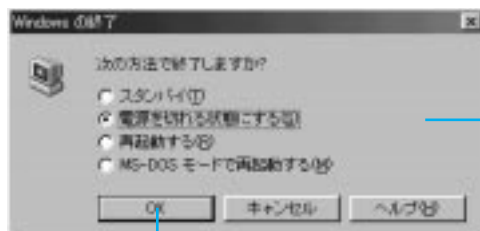
- 2 スタートメニューから「Windowsの終了」を選び、トラックポイントの左ボタンでクリックします



ここをクリックします。

3 次のウィンドウが表示されるので、[OK]をトラックポイントの左ボタンでクリックします

Windows が終了して ThinkPad 本体の電源が自動的に切れます。



二番目の項目に黒丸印が付いています。ここに黒丸印が付いていない場合は、クリックして印を付けてください。

このボタンをクリックします。

突然操作できなくなった場合は（リセットのしかた）

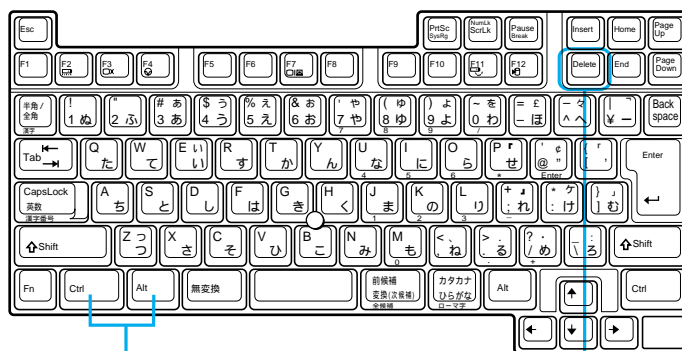
Windows を使っていると、数分待っても状態が変わらず、突然止まったように何も反応しなくなってしまうことがあります。こうなるとキーボードを押しても画面に文字が出ないし、トラックポイントを動かしても画面のマウス・ポインターは動きません。この状態を「フリーズする」「固まる」「ハングする」と言ったりします。こんなときは ThinkPad をリセット（再起動）してみてください。

ThinkPad をリセットするには

[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら、[Delete] キーを押します。同時にキーから指を離すとリセットされます。「プログラムの強制終了」の画面が表示された場合は、画面の指示に従ってリセットしてください。[Ctrl] キーと [Alt] キーはそれぞれ左右にあります。どちらを使っても同じ動きをします。

重要

ThinkPad の機種によって、キーボードのキー配列は異なります。



1 [Ctrl] キーと [Alt] キーを同時に押さえながら

2 [Delete] キーを押します。

重要

トラブルのあったとき以外は、リセットしないでください。リセットを繰り返すと、ThinkPad が故障する原因となります。

リセットが行われると、ThinkPad は電源を入れたときと同じように起動します。

ThinkPad が完全に止まった状態ではないときにリセットを行うと、画面にメッセージが表示されます。よく読んで指示に従ってください。

キー操作でリセットできないときは

キー操作でリセットできないときは、電源スイッチを切ってから、20秒程待つて再び電源を入れます。この場合、本体のハードディスク・アクセスランプが点いていないことを必ず確認してから行ってください。アクセスランプが点いているときはハードディスクが動いているので、そのときに電源を切るとハードディスクが壊れてしまう場合があるからです。電源スイッチでリセットするというのは、あくまでも最後の手段としてください。

重要

ThinkPad の機種によって、ハードディスク・アクセスランプの位置は異なります。付属の「ユーザーズ・ガイド」または「ユーザーズ・リファレンス」を参照してください。

補足**電源スイッチがきかない場合**

電源遮断スイッチのある機種はそれを押し、ない機種の場合は電源ボタンを5秒以上押し続けると、遮断できます。

トラックポイント（またはマウス）の使いかたを覚えよう

ThinkPadを使うとき、トラックポイントは必須アイテムです。
トラックポイントを使ったことのない方は、ここでその使いかたを覚えましょう。

トラックポイントのスティックを操作してみよう

トラックポイントは、キーボードの(G)のキーと(H)のキーの間にあるスティック（赤いポッチ）と、キーボードの手前にある左右の「クリック・ボタン」で構成されています。

まず人差し指でスティックに軽くタッチしてみましょう。スティックは加えられる圧力の強さで動作します。スティック自体は動きません。

人差し指をスティックの上に置いて、ゆっくりと斜めの方向に力を加えると、その動きに合わせて画面上の矢印が移動します。
画面に表示されている矢印を「マウス・ポインター」（マウス・カーソル）と呼びます。



ヒント



スティックに加える力の強さに合わせて、マウス・ポインターの動く速さが変わります。すばやく動かしたいときは強く押し、ゆっくり動かしたいときは軽く押してください。

スティックに力を加えると、マウス・ポインターは力を加えた方向に動きません。たとえば、向こう側に力を加えると、マウス・ポインターは画面を上方向に移動します。

トラックポイントのクリック・ボタンを押してみよう

マウス・ポインターを画面上のアイコンやボタンの上に移動させて、トラックポイントのクリック・ボタンを押すと、いろいろな機能を実行できます。

クリックする

「クリックする」というときは、通常は左のクリック・ボタンを左手の親指で1回だけ「カチッ」と押して離します。

メニューの表示や、項目を選ぶときにこの操作をします。



右ボタンでクリックする

右のクリック・ボタンを右手の親指で1回だけ「カチッ」と押して離します。Windows 98ではショートカット・メニューと呼ばれるメニューを表示するときこの操作をします。「右クリック」ともいいます。



ヒント



ボタンを押す間隔が開いてしまうと、ダブルクリックではなくクリックを2回したとみなされてしまうので、すばやく押すようにしましょう。うまくいかないときは、あわてずに何度か続けて「カチカチッ」と押してみてください。

ダブルクリックする

左のクリックボタンを左手の親指で「カチカチッ」とすばやく1秒以内に2回押して離します。（2回押す間はマウス・ポインターを動かさないでください。）目的のソフトウェアを起動するときや、選択した項目を実行するときこの操作をします。



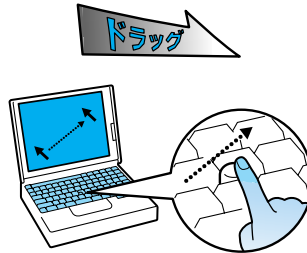
補足

ダブルクリックするときのボタンを押す間隔は、お好みに合わせて調節することができます。トラックポイントの使い方をマスターしたら、試してみましょう。

1. デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
2. 「コントロール パネル」アイコンをダブルクリックします。
3. 「マウス」アイコンをダブルクリックします。
4. 「ボタン」タブの中の「ダブルクリックの速度」で設定します。

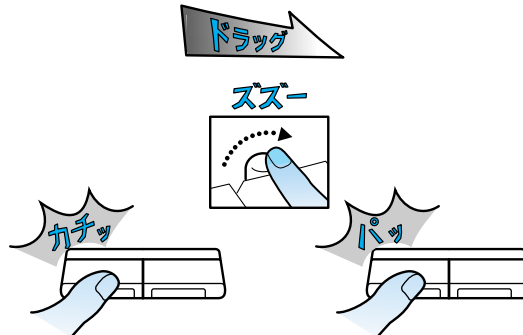
ドラッグする

目的のものを左クリックで選んで反転させてから、左のクリック・ボタンを押したまま、スティックに力を加えます。どちらのクリック・ボタンを使うかはアプリケーションや機能によって違います。左、右の指定が特にならないときは、「左」のクリック・ボタンを押したまま、スティックを押します。ウィンドウやアイコンを移動するときはこの操作をします。



ドラッグ&ドロップする

移動させたいウィンドウやアイコンを選んでから、左のクリック・ボタンを押したまま、スティックに力を加えます。ウィンドウやアイコンを目的の場所まで移動したら、ボタンを離します。



マウスを ThinkPad に接続しよう

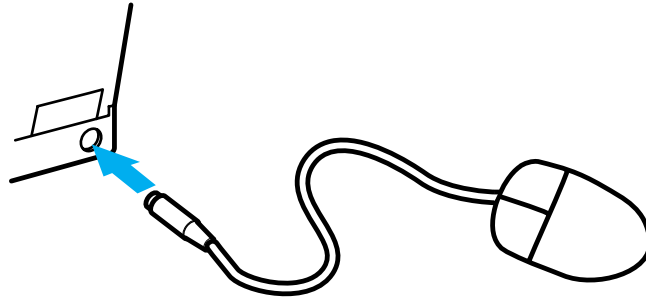
重要




一部の機種では、マウスを接続している間はトラックポイントは使えません。

トラックポイントと同様の働きをするものに「マウス」があります。ThinkPadにはマウスを接続して使うこともできます。

（マウスは別売のオプションです。）



ThinkPadの背面や側面にあるマウス・コネクタ（のマークが付いています）に、マウスを接続します。

マウスを動かしてみよう

マウスを机に置いたまま動かすと、その動きに合わせて画面上の矢印が移動します。

マウスを動かすとマウス・ポインターはマウスを動かしたのと同じ方向に、同じ量だけ動きます。マウスを速く動かすとマウス・ポインターも速く動きます。



マウスを動かし続けると場所がなくなってしまいますが、机の端まで動かしたときは、いったんマウスを持ち上げて元の場所へ戻し、また動かせばいいのです。

マウスのボタンを押してみよう

マウス・ポインターを画面上のアイコンやボタンの上に移動させて、マウスのボタンを押すと、いろいろな機能を実行できます。

クリックする

「クリックする」というときは、通常はマウスの左ボタンを1回だけ「カチッ」と押して離します。

メニューの表示や、項目を選ぶときにこの操作をします。



補足

左利きの人は、マウスを左手で持つと人差し指を右側のボタンの上に置くこととなります。マウスの設定で左右のボタンの役割を入れ替えれば、右利きの人と同じように左手でマウスを使うことができます。

1. デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリック(次ページ参照)します。
2. 「コントロール パネル」アイコンをダブルクリックします。
3. 「マウス」アイコンをダブルクリックします。
4. 「ボタン」タブの中のボタンの選択で「左きき用」をクリックします。

右ボタンでクリックする

マウスの右ボタンを1回だけ押して離します。

Windows 98ではショートカットメニューと呼ばれるメニューを表示するときにこの操作をします。「右クリック」ともいいます。



ヒント



ボタンを押す間隔が開いてしまうと、ダブルクリックではなく、クリックを2回したとみなされてしまうので、すばやく押すようにしましょう。うまくいかないときは、あわてずに何度か続けて「カチカチ」と押してみてください。

ダブルクリックする

マウスの左ボタンを「カチッカチッ」とすばやく2回押して離します。（2回押す間はマウス・ポインターを動かさないでください。）

目的のソフトウェアを起動するときや、選択した項目を実行するときはこの操作をします。



補足

ダブルクリックするときのボタンを押す間隔は、お好みに合わせて調節することができます。マウスの使い方をマスターしたら、試してみましょう。

1. デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
2. 「コントロール パネル」アイコンをダブルクリックします。
3. 「マウス」アイコンをダブルクリックします。
4. 「ボタン」タブの中の「ダブルクリックの速度」で設定します。

ドラッグする

マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かします。

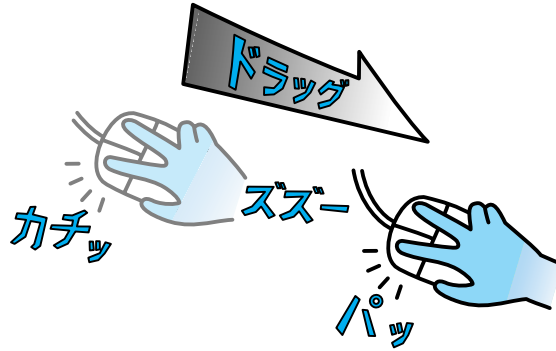
どちらのボタンを使うかはアプリケーションや機能によって違います。右、左の指定が特にないときは、左ボタンを押したままマウスを動かします。

ウィンドウやアイコンを移動するときはこの操作をします。



ドラッグ&ドロップする

左のクリック・ボタンを押したまま、マウスを移動します。ウインドウやアイコンを目的の場所まで移動したら、ボタンを離します。



キーボードで文字を入力してみよう

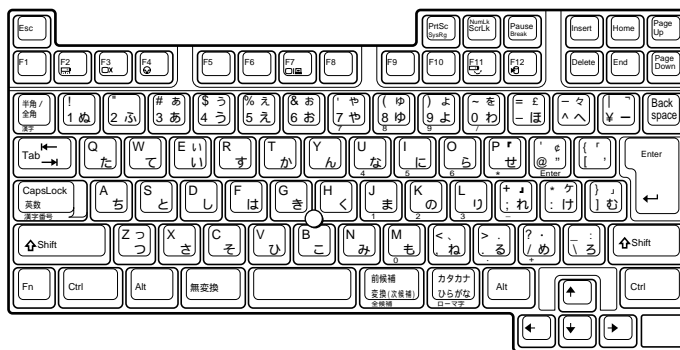
ThinkPadのキーボードを使って、ひらがなや漢字、カタカナを入力してみましょう。

ThinkPadでは、「MS-IME 98」という日本語入力システムを使っています。日本語入力システムはキーボードから入力された文字を、ひらがなやカタカナ、漢字に変換するためのプログラムです。

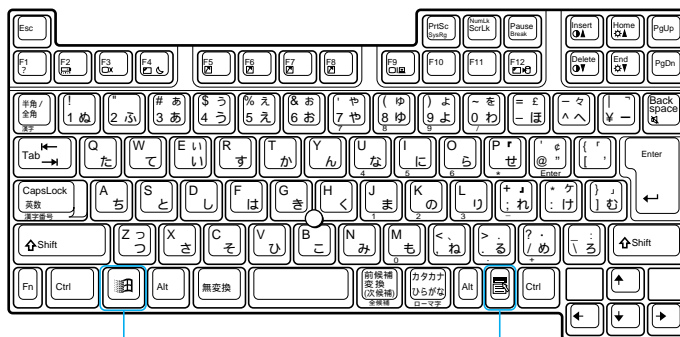
ここではWindows 98に付属のアプリケーション「メモ帳」を使って、文字を入力してみましょう。

ThinkPadのキーボードについて

ThinkPadの各キーの呼び方や主な役割については、付録の「キーボードのキーの名前と使い方」をご覧ください。



また、ThinkPadの機種によっては、Windows 98対応日本語キーボードの場合があります。付録の「キーボードのキーの名前と使い方」をご覧ください。



Windows キー
スタート・メニューを表示します。タスクバーの [スタート] ボタンをマウスでクリックすると同じ役目を果たします。



アプリケーション・キー
選択しているファイルやフォルダーのポップ・アップ・メニューを表示します。マウスの右ボタンをクリックすると同じ役目を果たします。

漢字やひらがなを入力するときの基本は

漢字やひらがな、カタカナを入力するときは、次の操作を行います。


1. 日本語入力モードにする
2. 読みを入力する
3. 変換キーを押す
4. 文字を確定する

日本語入力モードにするには

ThinkPadで、ワープロなど日本語を入力する必要のあるアプリケーションを使っているときに、画面の右下に表示されるのが「MS-IME 98」のツールバーです。ツールバーの一番左のボックスに、入力モードが表示されます。

ヒント



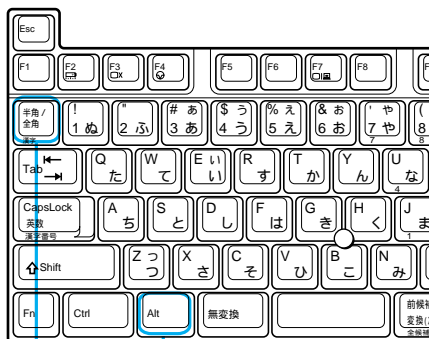
ツールバーが表示されていない場合は、画面右下隅の「MS-IME98日本語入力システム」アイコン()をクリックし、「ツールバーを表示」をクリックしてください。

通常は、次のように「あ」が表示されていて、日本語入力システムがオン(日本語入力モード)になっています。

入力モード



表示されていない場合は **[Alt]** キーを押しながら **[半角/全角]** キーを押してください。 **[Alt]** キーは、左右どちらのキーを使用してもかまいません。



- 1 **[Alt]** キーを押しながら
- 2 **[半角/全角]** キーを押します。

日本語入力モードを切り替えるには

[Alt] キーを押しながら [半角/全角] キーを押すと、日本語入力システムのオン/オフをいつでも切り替えることができます。

< オン >



入力モード



< オフ >



このように表示されているときは、日本語入力システムを使わずに、キーボードから入力した文字がそのまま画面に表示されます。これを「直接入力モード」といいます。

「直接入力モード」では、アルファベットを入力します。(P.49)

入力方式について

日本語の入力方式には「ローマ字入力」と「かな入力」の2つの方式があります。MS-IME 98では、通常ローマ字で読みを入力する「ローマ字入力方式」になっています。

ローマ字入力: (Y) (A) (M) (A) (T) (O)

かな入力 : (や) (ま) (と)

「かな入力方式」で入力する場合は、設定を変更します。
詳しくは53ページをお読みください。

ひらがなを入力するには

ここでは、Windows 98に付属の「メモ帳」という簡易テキスト作成ツールを使って、文字を入力してみましょう。

まず、ひらがなで「にほんご」とキーボードから入力してみましょう。

1 「メモ帳」を起動します

デスクトップ左下の[スタート]ボタンをクリックして、スタート・メニューの「プログラム」にマウス・ポインターを置きます。続いて表示された一覧から「アクセサリ」にマウス・ポインターを置き、次に表示された一覧から「メモ帳」をクリックします。

ヒント



MS-IME98のツールバー左上にあるランプをクリックすると日本語モードになり、緑色のランプが点灯します。

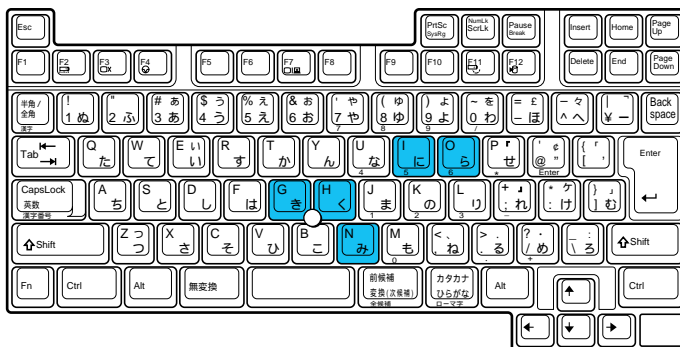
2 (Alt) キーを押しながら (半角/全角) キーを押します

MS-IME 98のツールバーが日本語入力モードになっていることを確認してください。

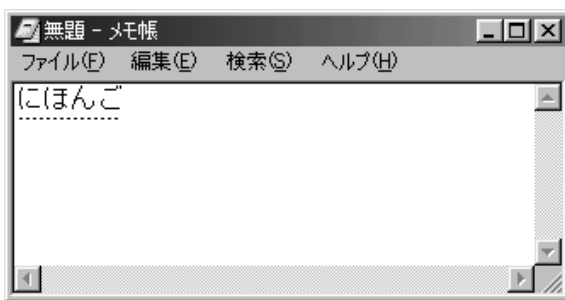


一番左のボックスが「あ」になっていれば、日本語入力モードになっています。

3 (N) (I) (H) (O) (N) (G) (O) の順にキーを押します



MS-IME 98では、通常ローマ字で読みを入力する「ローマ字入力方式」になっています。



「かな入力方式」で入力する場合は、53 ページをお読みください。

4 (Enter) キーを押して、文字を確定します

ひらがなを入力したい場合は、漢字に変換する必要がないのでそのまま確定します。

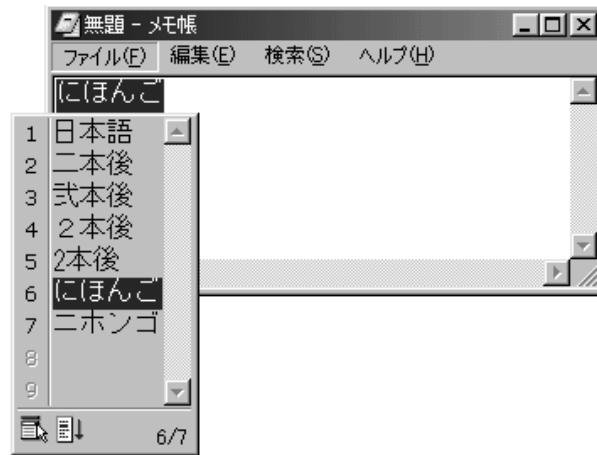
漢字を入力するには

こんどは、漢字で「日本語」と入力してみましよう。

1 **(N) (I) (H) (D) (N) (G) (O)** の順にキーを押します

2 **(変換)** キーを押します

1回で正しく変換されないときは、**(変換)** キーを何度か押してみてください。



変換候補が表示されます。選び方は、

1. 選んだ漢字の番号のキーを押す。
2. または、カーソル移動キー (**()**) で選んでから **(Enter)** キーを押す。
3. または、トラックポイントで選んでクリックする。

3 **(Enter)** キーを押して、文字を確定します

カタカナを入力するには

カタカナの入力方法には次の方法があります。

変換候補の中から選ぶ

漢字の入力のように **変換** キーで入力する方法です。

1 **N I H O N G O** の順にキーを押します

2 **変換** キーを数回押します

変換候補が表示されます。

3 変換候補の中からカタカナを選びます

選び方は、

1. 選んだカタカナの番号のキーを押す。
2. または、カーソル移動キー (**←** **→**) で選んでから **Enter** キーを押す。
3. または、マウスで選んでクリックする。

4 **Enter** キーを押して、文字を確定します

機能キーを使う

1 **N I H O N G O** の順にキーを押します

2 **F7** キーまたは **F8** キーを押します

F7 キーを押すと全角カタカナになり、**F8** キーを押すと半角カタカナに変換されます。

3 **Enter** キーを押して、文字を確定します

入力モードを切り替える

直接カタカナを入力する方法です。

マウスで切り替える

- 1 MS-IME 98 のツールバーの「あ」をクリックします



ここをクリックします。

- 2 「全角カタカナ」をクリックします

ツールバーの一番左のボックスが「カ」になります。

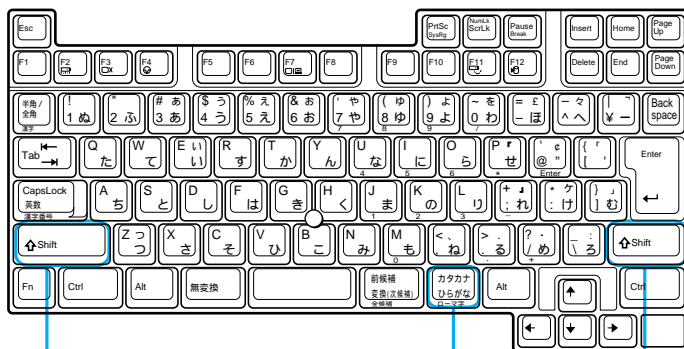


- 3 **[N]** **[I]** **[H]** **[O]** **[N]** **[E]** **[O]** の順にキーを押します

- 4 **[Enter]** キーを押して、文字を確定します

キーボードで切り替える

- 1 **(Shift)** キーを押しながら **カタカナ ひらがな** キーを押します
(Shift) キーは、左右どちらのキーを使用してもかまいません。



1 **(Shift)** キーを押しながら

2 **(Shift)** キーを押しながら
カタカナ ひらがな キーを押します。

ツールバーの一番左のボックスが「カ」になります。



- 2 **(N)** **(I)** **(H)** **(D)** **(N)** **(G)** **(O)** の順にキーを押します

- 3 **(Enter)** キーを押して、文字を確定します

ひらがな入力に戻すには、**カタカナ ひらがな** キーのみを押します。

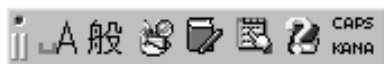
アルファベットを入力するには

こんどは、「日本語 Web サイト」と入力してみましょ。

日本語入力モードの状態ではアルファベットを入力すると、英文ではなく日本語の読みが表示されます。また、かな入力の状態ではアルファベットが入りません。アルファベットなどの英数文字を入力したいときは、日本語入力モードをオフにします。(直接入力モードになります。)

1 「日本語」と入力した後、日本語入力モードをオフにします

[Alt]キーを押しながら**[半角 / 全角]**キーを押して切り替えます。

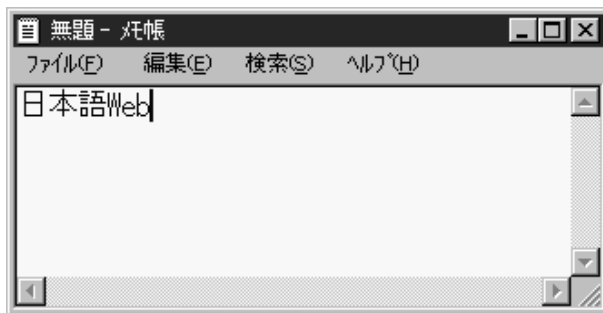


ツールバーはこのように表示されます。

日本語入力モードがオフになっていれば、半角のアルファベットが直接入力できます。

2 **[w]****[e]****[b]**の順にキーを押します

Wを大文字で入力するときは、**[Shift]**キーを押しながら**[W]**キーを押します。



3 日本語入力モードをオンにします

再度、日本語を入力するには、**[Alt]**キーを押しながら**[半角 / 全角]**キーを押して日本語入力モードを切り替えます。



ツールバーはこのように表示されます。

ヒント

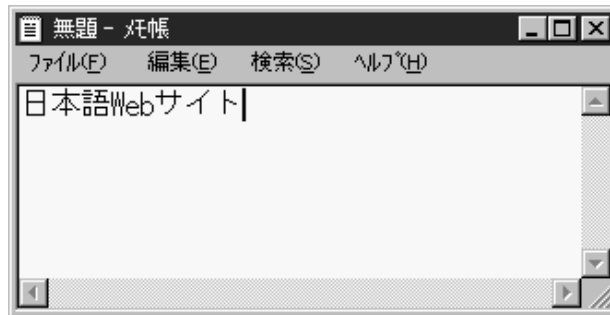


「カタカナを入力するには」
(P.46)

4 [S][A][I][T][O]の順にキーを押します

5 [変換]キーを押し、「サイト」を選びます
または、(F7)キーを押します。

6 [Enter]キーを押して、文字を確定します



補足

カタカナやアルファベットなどの異なる文字種への変換は、「機能キー」を使うこともできます。(機能キーについて詳しくは P.235)

(F6)キー ひらがな変換 Web さいと

(F7)キー カタカナ変換 Web サイト

(F8)キー 半角文字変換 Webサイト






(F9)キー 全角英数文字変換 Web s a i t o

* (F9)キーは、押すたびに S A I T O、S a i t o に変わります。







句読点や記号を入力するには

キーを使う

キーを使って記号を入力することができます。

入力したい文字	日本語入力モード（日本語入力システムがオン）
、（読点）	「  」キーを押す
。（句点）	「  」キーを押す
・（中黒）	「  」キーを押す
ー（長音）	「  」キーを押す
？	「Shift」キーを押しながら「  」キーを押す

インターネットでよく使う記号は、このキーを使います。


入力したい文字	日本語入力モード（日本語入力システムがオフ）
@（アットマーク）	「  」キーを押す
：（コロン）	「  」キーを押す
/（スラッシュ）	「  」
（チルダ）	「Shift」キーを押しながら「  」キーを押す
_（アンダーバー）	「Shift」キーを押しながら「  」キーを押す
-（ハイフン）	「  」

読みを入力して変換する

漢字を入力するときと同じように、読みを入力して変換し、候補の中から選びます。

入力したい文字	読み
〒	まる
TEL	さんかく
	しかく
	ゆうびん
	でんわ
	やじるし / みぎや
	こめじるし

キーの表面に書かれた文字を入力するには

ここでは  キーを例にとります。

入力したい文字	日本語入力システムメニューの状態	キーの操作
](キー表面の左下 [の文字)		このまま 
}(左上の文字)		(Shift) キーを押しながら 
」(右上の文字)		このまま  を押してから (Enter) キーを押す

特殊文字の場合

キーに書かれた文字の中で、次のものについては上記の方法で入力できません。

() 内に示した読みを入力して変換キーを押すと、目的の文字を入力することができます。

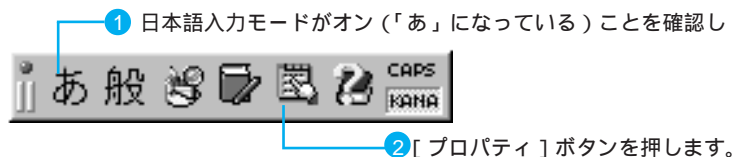
文字	読み
£	(ぼんど)または(たんい)
々	(きごう)
ㄣ	(きごう)
『』	(かっこ)
¢	(せんと)または(たんい)
ヶ	(け)
	(きごう)
~	(から)
	(きごう)

このような特殊文字を入力したいときは、一般に(きごう)と入力して(変換)キーを数回押すと、目的の文字が表示されます。

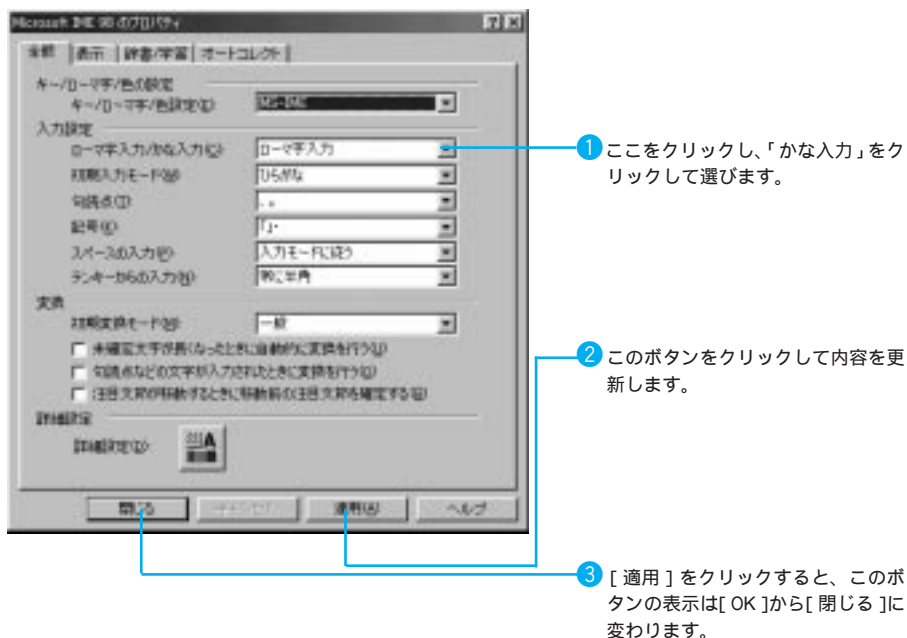
かな入力方式に変更するには

ThinkPadで使われている「MS-IME 98」という日本語入力システムでは、通常ローマ字で読みを入力するようになっています。かなキーを使用してかなを直接入力する「かな入力方式」に変更したい場合は、次の設定をします。

1 ツールバーの[プロパティ]ボタンをクリックします



2 入力設定の「ローマ字入力/かな入力」で「かな入力」を選び、「適用」をクリックします



3 [閉じる] をクリックします

4 [に] [ほ] [ん] [こ] [ろ] の順にキーを押します

5 ひらがなを入力したい場合は **[Enter]** キーを押し、漢字に変換したいときは **[変換]** キーを押します

ひらがなを入力したい場合は文字を変換する必要がないので、そのまま **[Enter]** キーを押して文字を確定します。

6 漢字が正しく変換されたら **[Enter]** キーを押して、文字を確定します

「メモ帳」を終了するには

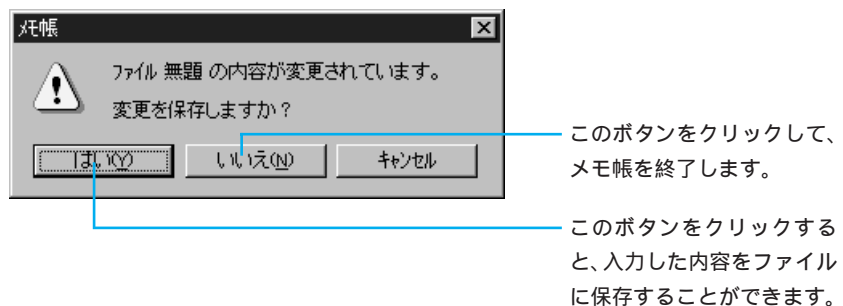
入力の練習が終わったら、メモ帳を終了しましょう。

1 メモ帳ウィンドウ右上の **[×]** (閉じる) をクリックします



2 「ドキュメントへの変更を保存しますか?」というメッセージボックスが表示されるので、**[いいえ]** をクリックします

ここでは、画面の内容を保存せずに「メモ帳」を終了します。



文字入力の方法がわからないときは

「ヘルプ」を起動する

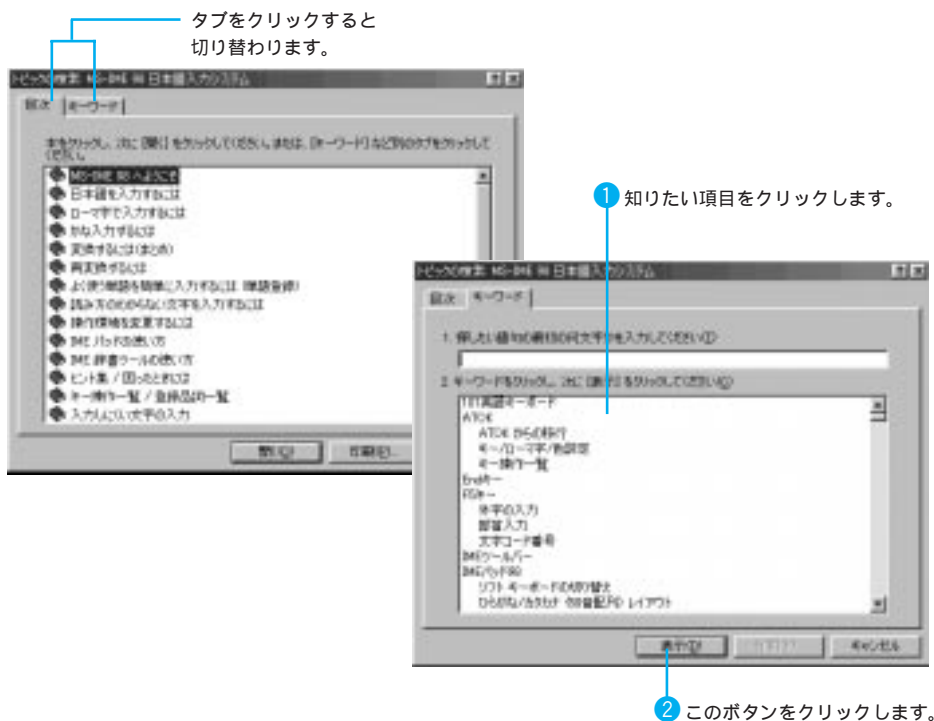
日本語入力システムには「ヘルプ」が用意されています。入力方法や変換の方法がわからなかったり、辞書を編集する方法を知りたいときは、ヘルプを見てください。

1 ツールバーの [ヘルプ] ボタンをクリックします



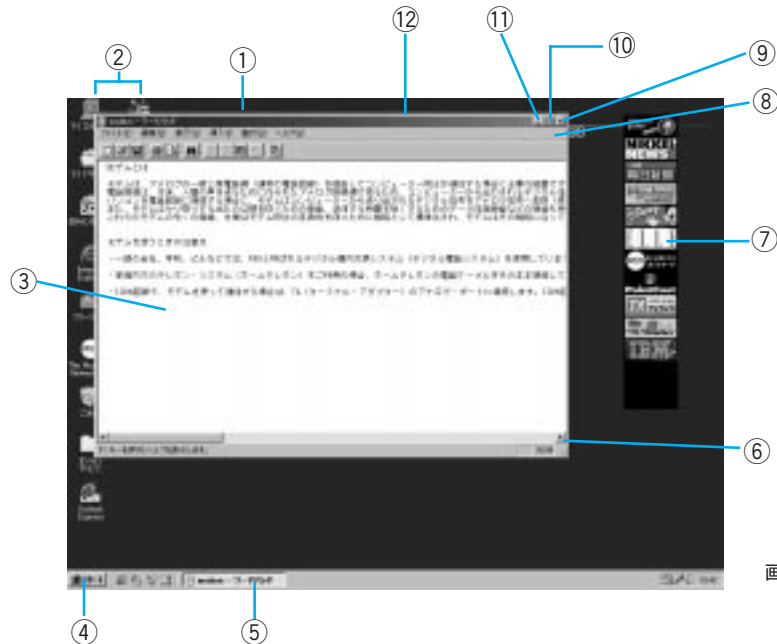
2 「目次とキーワード」をクリックします

3 「目次」または「キーワード」の中から、知りたい項目をクリックします



Windows98の画面はこうなっている

ここではWindows98の画面について簡単に紹介します。



画面は一例です。

① デスクトップ

Windows 98を起動したときに画面全体に表示される領域(背景の部分全部)をデスクトップと呼びます。

② アイコン

アプリケーションなどを小さく図形化(絵)したものをアイコンと呼びます。

③ ウィンドウ

プログラムを起動するとデスクトップ上に表示される枠のことをウィンドウと呼びます。

④ スタート・ボタン

Windows 98のすべてのメニューが入っています。アプリケーションを起動したり、Windows 98を終了させたり、すべてをこのボタンから行うことができます。

⑤ タスクバー

起動中のアプリケーションが表示されます。ボタンをクリックするとそのプログラムがすぐに切り替わり、表示されます。

ヒント



デスクトップ・コンポーネントとは、デスクトップ上に置かれたWebページのことです。

⑥ スクロール・ボタン

ボタンをクリックすると、その方向にウィンドウの内容が動いて隠れているところ(そのウィンドウ内に表示されていなかったところ)を見ることができます。

⑦ チャンネルバー

Windows98のデスクトップに標準で置かれているデスクトップ・コンポーネントです。あらかじめ登録されているチャンネルのアイコンをクリックするだけで、そのチャンネルの最新情報をすぐに表示することができます。(最初の登録するためのWebページが表示されます。)

⑧ メニューバー

各ウィンドウで使うことができる機能をメニュー化したものです。使用しているアプリケーションでわからないことがあるときや困ったときなどは、「ヘルプ」メニューを活用しましょう。

⑨ 閉じるボタン

このボタンをクリックするとウィンドウを閉じて、アプリケーションを終了します。

⑩ 最大化ボタン

このボタンをクリックするとウィンドウが最大になり、画面いっぱいに表示されます。最大化したウィンドウの☒(元に戻すボタン)をクリックすると、元の大きさに戻ります。

⑪ 最小化ボタン

このボタンをクリックするとウィンドウが最小になり、タスクバーの上に表示されます。タスクバー上のそのボタンをクリックすれば、元に戻ってデスクトップ上にウィンドウが表示されます。

⑫ タイトルバー

アプリケーションやプログラムの名前が表示されます。この部分をマウスでドラッグすると、ウィンドウを移動することができます。

補足

Windows 98について詳しくは、「Windows 98 ファーストステップガイド」をお読みください。

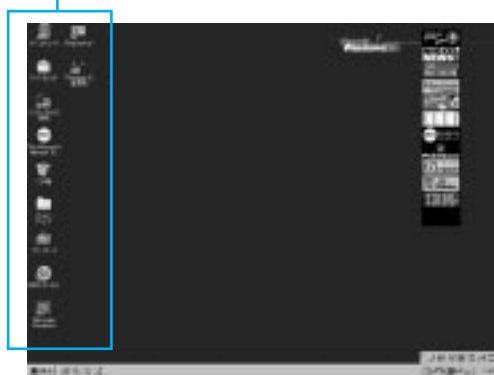
アプリケーション・ソフトウェアを使うには

アプリケーションの起動のしかたには次の方法があります。

デスクトップのアイコンから選ぶ

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックします

ここに並んでいる小さな絵のことを「アイコン」と呼んでいます。



2 使いたいアプリケーションを選んで、ダブルクリックします

[スタート] ボタンから選ぶ

1 デスクトップ左下の [スタート] ボタンをマウスでクリックします

2 スタートメニューから「プログラム」を選びます

インストールされているアプリケーションが表示されます。

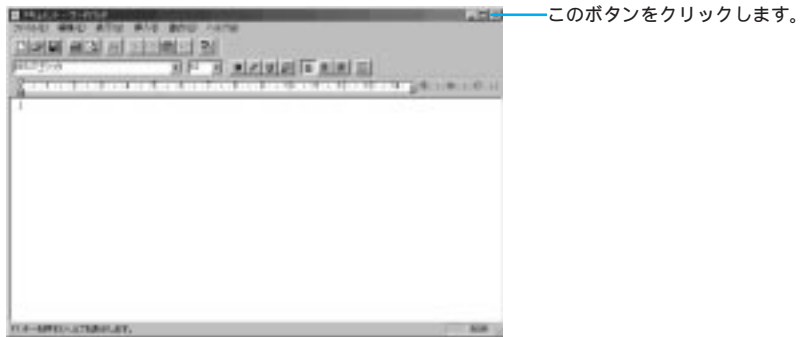
3 使いたいアプリケーションを選んでクリックします



画面は一例です。

アプリケーションを終わらせるには

- 1 アプリケーションのウィンドウ右上にある[X] (閉じる) をクリックします

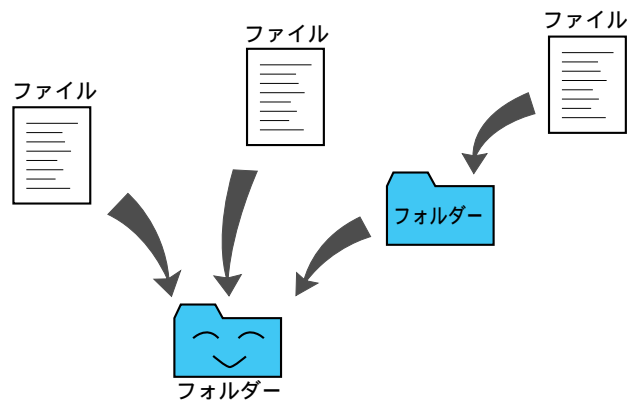


「ファイル」と「フォルダー」について

作成したファイルは、管理しやすいように分類してフォルダーに整理しておく
と便利です。

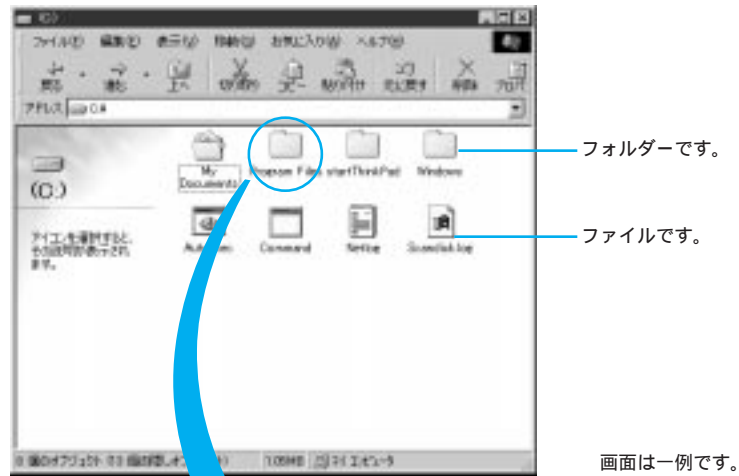
ハードディスクやディスクに記録されているアプリケーションのプログラムや、アプリケーションを使って作成した文書や表、絵などのデータのことを「ファイル」といいます。いくつかのファイルが集まって1つのアプリケーション・ソフトウェアになっていることもあります。ファイルの名前のことを「ファイル名」といいます。

また、ファイルを管理しやすいように分類してまとめるための入れ物を「フォルダー」といいます。フォルダーの中には、ファイルだけでなく、別のフォルダーを作って入れておくことができますが、ファイルの中にフォルダーを作ることはできません。フォルダーの名前のことを「フォルダー名」といいます。



ファイルのアイコンは、データの種類によっていろいろな形がありますが、
フォルダーのアイコンは黄色い書類入れの形をしています。

フォルダーのアイコンをダブルクリックするとウィンドウが開き、その中に収められているファイルの一覧を見ることができます。



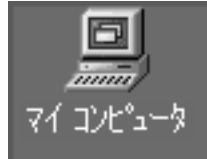
ダブルクリック



自分専用のフォルダーを作ろう

自分で作ったファイルを管理するために、自分専用のフォルダーを作りましょう。

1 デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックします



このアイコンをダブルクリックします。

2 「(C:)」をダブルクリックします



このアイコンをダブルクリックします。

ThinkPadに接続されているすべてのドライブが表示されます。

3 「ファイル」メニューをクリックし、「新規作成」から「フォルダ」を選んでクリックします



① ここをクリックします。

② ここをクリックします。

新しいフォルダーが作られます。

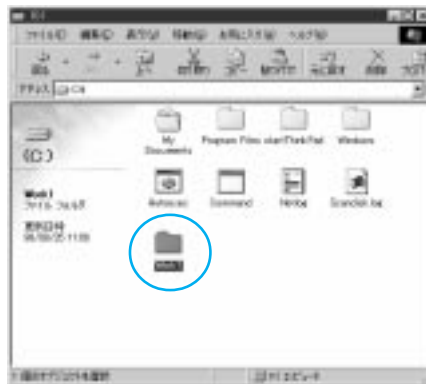
- 4 「新しいフォルダ」アイコンを右クリックし、表示されたリストから「名前の変更」を選んでクリックします



ここをクリックします。

- 5 フォルダーに付けたい名前を入力して、**Enter** キーを押します

ここでは、例として Work1 と入力したので、「新しいフォルダ」の名前が「Work1」という名前に変わりました。新しいフォルダーには、好きな名前を付けることができます。



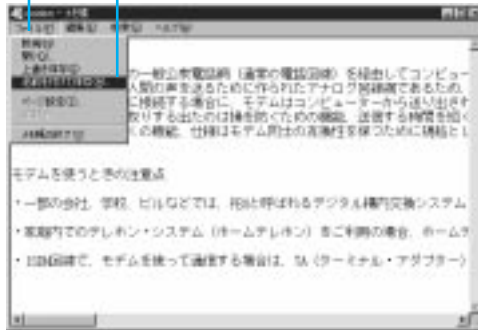
作ったファイルを保存しよう

作成した文章や絵などを保存してみましょう。ここでは、ワードパッドを例に説明していますが、基本的な操作はどのアプリケーションでも同じです。

- 1 ワードパッドを起動し、文章を入力します。
- 2 アプリケーションのメニューバーの「ファイル」をクリックし、「名前を付けて保存」をクリックします

① ここをクリックします。

② ここをクリックします。

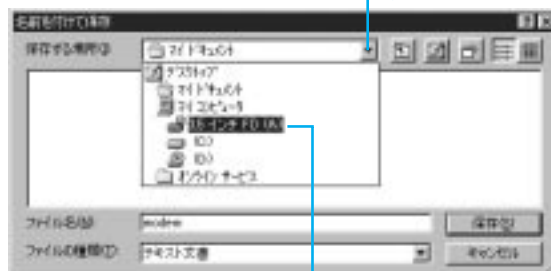


- 3 保存する場所を選びます

「名前を付けて保存」ウィンドウが開き、標準で「マイ ドキュメント」のフォルダーに保存できるようになっています。「マイ ドキュメント」フォルダーに保存する場合は、ファイル名を付けてから [保存] をクリックします。

ここでは、ディスク（フロッピーディスク）に保存してみましょう。「3.5 インチ FD (A:)」をクリックすると、保存場所がディスクとなります。ディスクの使い方がわからない場合は、「ディスクを使う」(P.76) をお読みください。

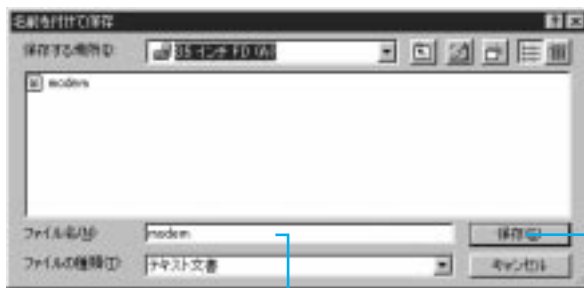
① ここをクリックします。



② ここをクリックします。

4 ファイル名を入力して [保存] をクリックします

ファイル名を入力するボックスにすでに文字が入っていたら、文字の最後をマウスでクリックしてカーソルを点滅させてからキーボードの **Back space** キーを押して文字を消し、保存するファイルの名前を入力します。



① ファイル名を入力します。

② このボタンをクリックします。

補足

「上書き保存」は、すでに作成しているデータを読み出し、それに修正を加えてまた同じ名前で保存するときに選べます。同じ名前で上書きするので、修正前のファイルは新しく書き換えられてしまいます。両方とも残しておきたいときは、修正済みのファイルを保存するときに「名前を付けて保存」を選び、別の名前を付けましょう。

ファイルを「コピー」したり「移動」するには

ファイルは全く同じ物を簡単にいくつも作ることができます。これを「ファイルをコピーする」といいます。ファイルを元の場所から他の場所へ移すことを「ファイルを移動する」といいます。

異なるドライブの場合

Windows 98 のデスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックし、Cドライブの中のファイルが入っているフォルダーをダブルクリックして、ウィンドウを開いておきます。再度「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックし、Aドライブのアイコンをダブルクリックして、ウィンドウを開きます。ウィンドウが重なっている場合は、タイトルバー(P.58)にマウスポインターを置き、ドラッグしてずらしてください。

ハードディスク (C:) からディスク (A:) へ

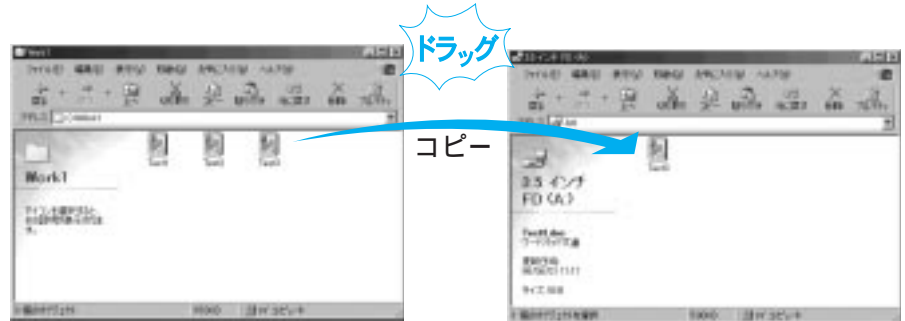
コピーするには

目的のファイルのアイコンを選んでドラッグすると、ファイルはコピーされます。

重要

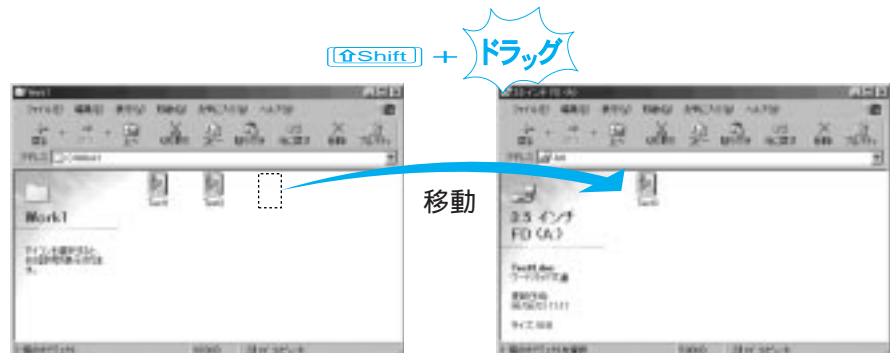


ディスクにコピーや移動する操作を行う前に、ディスク・ドライブにディスクを入れておいてください。ディスクが入っていないと、エラーになります。



移動するには

目的のファイルのアイコンを選んで (Shift) キーを押しながらドラッグすると、ファイルはコピーではなく、移動されます。



右クリックで確実にコピー

1. 目的のファイルのアイコンを選んでマウスの右ボタンをクリックします。メニューが表示されます。
2. 「送る」の中から「3.5 インチ FD (A)」を選んでクリックします。ファイルがコピーされます。



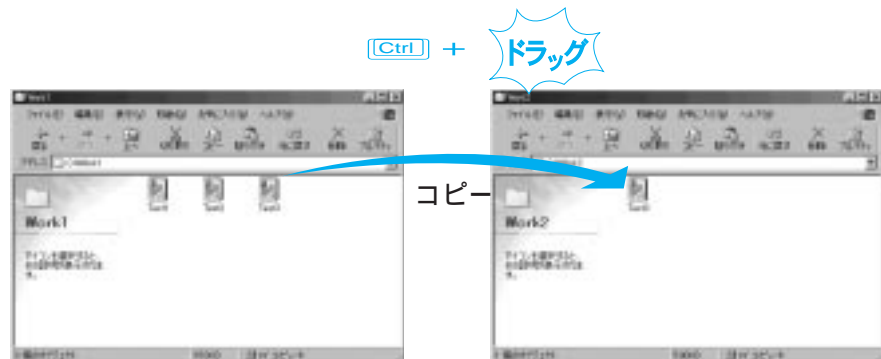
同じドライブの場合

Windows 98 のデスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックし、Cドライブの中のファイルが入っているフォルダーをダブルクリックして、ウィンドウを開いておきます。再度「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックし、Cドライブの中の移動またはコピー先のフォルダーをダブルクリックして、ウィンドウを開きます。ウィンドウが重なっている場合は、タイトルバー（ P.58 ）にマウスポインターを置き、ドラッグしてください。

ハードディスク (C:) の中で

コピーするには

目的のファイルのアイコンを選んで (Ctrl) キーを押しながらドラッグすると、ファイルはコピーされます。



ヒント



同じドライブ内でプログラムのファイルをドラッグすると、移動されずにドラッグした先にショートカットが作られます。プログラムのファイルを移動したいときは、(Shift) キーを押しながらドラッグします。

移動するには

目的のファイルのアイコンを選んでドラッグすると、ファイルはコピーではなく、移動されます。



ファイルのバックアップについて

ThinkPad のハードディスクには、OSをはじめ、アプリケーションやアプリケーションが扱う大量のデータが保存されています。

万一、この大事なデータが消えたときは、OSやアプリケーションなどはリカバリーCDを使ってハードディスクを出荷時の状態に戻すことができますが、自分で作成した文書やデータのファイルは消えてしまいます。自分で作成したファイルは、定期的にディスクにコピーしておきましょう。このことを「ファイルのバックアップを取る」といいます。

ファイルのバックアップを取るには

ファイルのバックアップを取る方法として、「コピー」の他にWindows98の「バックアップユーティリティ」を利用する方法があります。

このユーティリティは、「ディスク1枚に収まらない大きなサイズのファイルのバックアップを取りたい」という場合や、「ファイルだけではなくフォルダーも収められているようなフォルダーを階層構造も含めてすべてバックアップを取りたい」というような場合に使います。

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「システム ツール」「バックアップ」の順にクリックします



「Microsoft Backup」ウィンドウが表示されます。

バックアップの使い方については、「バックアップ」の ヘルプを参照してください。

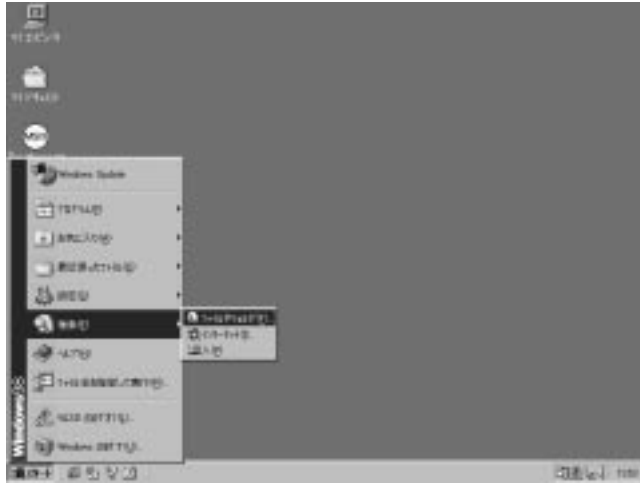
ヘルプは、起動時に表示される「Microsoft Backupへようこそ」ウィンドウで、[ヘルプ]ボタンをクリックすると表示されます。

ファイルの保存場所がわからなくなったら

ファイルを間違えて他の場所に移動したり、保存した場所を忘れてしまったり、ファイルがどこにいったかわからなくなってしまうことがあります。そんなときは、ファイルを検索して探してみましよう。

ここでは例として、「Test1」というファイルを探してみます。

- 1 デスクトップ左下の [スタート] ボタンをマウスでクリックします
- 2 スタートメニューから「検索」を選び、表示された一覧から「ファイルやフォルダ (F)」をクリックします



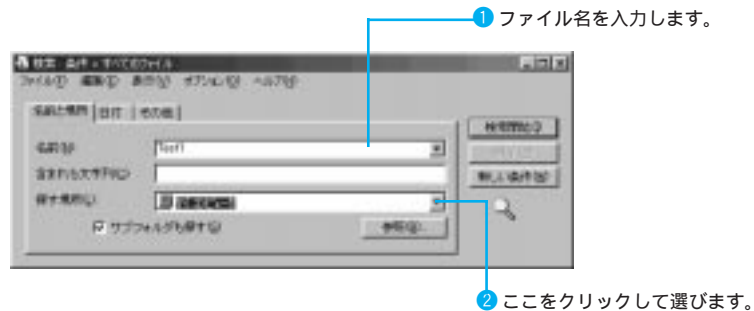
「検索：条件 = すべてのファイル」ウィンドウが表示されます。

3 名前の入力欄に探すファイル名を入力します

ここでは、Test1 と入力してみます。

4 探す場所を選びます

すべてのドライブを検索する場合は「マイ コンピュータ」を選びます。



5 「サブフォルダも探す」にチェックが付いていることを確認し、[検索開始] ボタンをクリックします

「サブフォルダ」とは、ドライブやフォルダーの中にあるフォルダーのことを言います。

検索作業が終わると、検索結果が一覧表示されます。



ショートカットを作ってみよう

よく使うアプリケーション・ソフトウェアなどは、Windows 98 のデスクトップに「ショートカット」を作っておくと便利です。

ショートカットとは、そのアプリケーションをすぐに使えるようにデスクトップにアイコンとして表示しておくためのものです。ショートカットのアイコンをダブルクリックすると、元のアイコンをダブルクリックしたのと同じ働きをし、アプリケーション・ソフトウェアが起動します。

補足

ショートカットを削除しても、元のアプリケーション・ソフトウェアが削除されるわけではなく、何も影響ありません。

ここでは例として、電卓のショートカットを作ってみましょう。

方法1

- 1 デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックします
- 2 「(C:)」アイコンをダブルクリックします
- 3 「Windows」アイコン（フォルダー）をダブルクリックします
- 4 「ファイルの表示」をクリックします



ここをクリックします。

ファイルが表示されたら、スクロール・ボタンを使って、「Calc」アイコンが見つかるまでスクロールしていきます。



5 「Calc」アイコンを右クリックし、「送る」の中から「デスクトップ（ショートカットとして）」を選んでクリックします



デスクトップにショートカットが作られます。

方法2

1 「方法1」の1 2 3 を行います

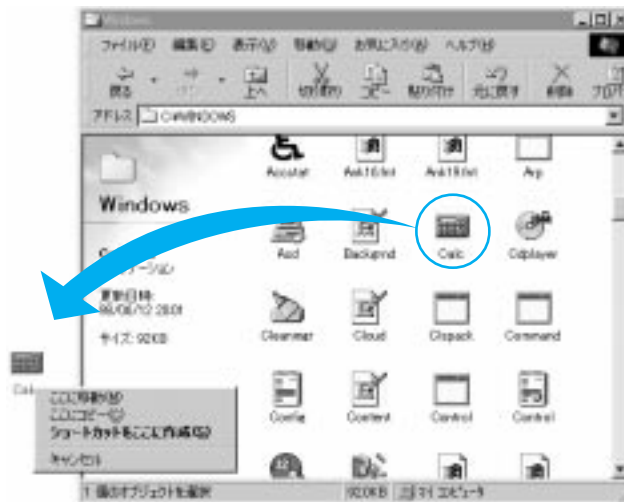
2 「Calc」アイコンをクリックして反転させ、**Shift** キーと **Ctrl** キーを押しながら「Calc」アイコンをデスクトップにドラッグ&ドロップします

ドロップすると、メニューが表示されます。

ヒント



右クリックでドラッグ&ドロップすれば、**Shift** キーと **Ctrl** キーを押す必要はありません。



3 「ショートカットをここに作成」をクリックします
デスクトップにショートカットが作成されます。

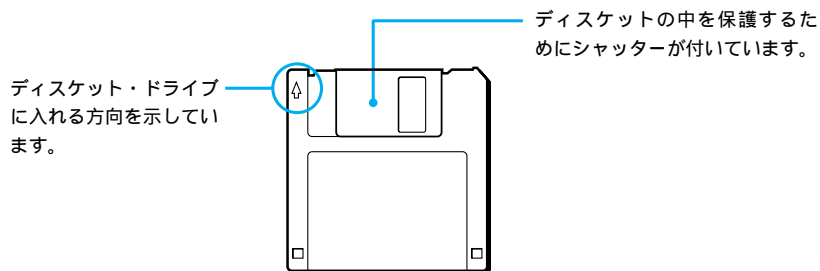
ディスクを使う

ディスクは「フロッピーディスク」ともいいます。ハードディスクほど大量のデータを入れることはできませんが、いくつかのファイルを記録して、簡単に持ち運べるのがディスクのよいところです。

ディスクについて

ThinkPad では 3.5 インチのディスクを使います。

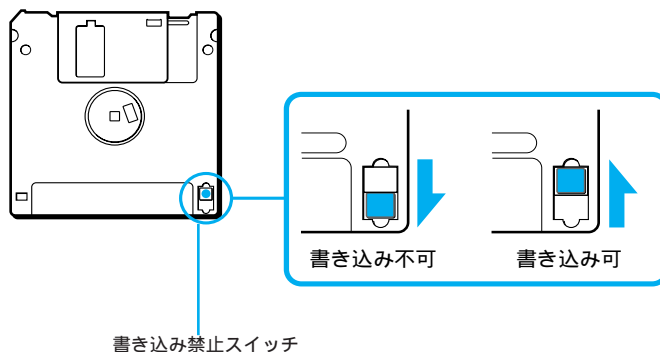
ディスクの表側



ディスクの裏側

書き込み禁止スイッチ

誤ってディスクのデータを削除したり、書き換えたりできないようにすることができます。書き込み禁止の状態になっているときは、データを読み取ることだけができます。



ディスクの種類について

現在パソコン用には「2DD」と「2HD」という2つの規格の3.5インチのディスクが販売されています。

ディスクの種類によって、保持できる情報の量(記憶容量という)はさまざまです。

サイズ	タイプ	フォーマット後の記憶容量
3.5インチ	2DD	720KB
	2HD	1.44MB
		1.2MB*

* 他社製パソコンの1.2MBのフォーマットは、形式がIBM製パソコンでフォーマットしたものと異なります。そのため、他社製パソコンでフォーマットした1.2MBのディスクをIBM製パソコンで読み込むためには、1.2MB用のドライバーが必要となります。

ドライバーのインストール方法については、「ステップ・アップ・ガイド」の『ソフトウェアのインストール』をお読みください。(ただし、1.2MBフォーマットをすることはできません。)

ディスク・ドライブの使い方

ディスクを入れて、ファイルを読み取ったり書き込んだりするための装置を「ディスク・ドライブ」(フロッピーディスク・ドライブ)と呼んでいます。

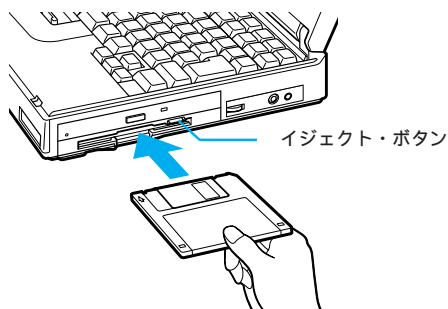
ディスク・ドライブには、ThinkPadの機種によって、本体組み込み型タイプと外付けタイプがあります。

ディスクットを入れるときは

ディスクットのラベルが貼ってある面を上向きにして、ディスクット・ドライブに差し込みます。ディスクットが完全に入ると、カシャッと音がして、ディスクット・ドライブのイジェクト・ボタンが手前に出ます。

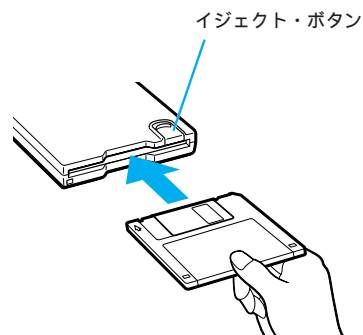
本体組み込み型の場合

(ディスクット・ドライブの場所は機種によって異なります。)




外付けの場合

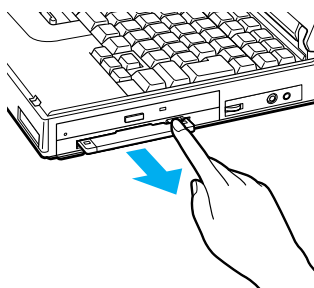
(イジェクト・ボタンの位置や形状は機種によって異なります。)



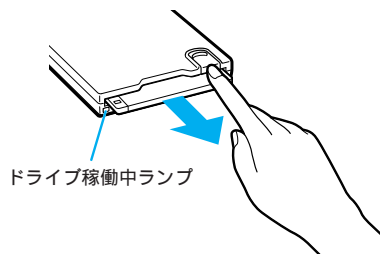
ディスクットを取り出すときは

ディスクット・ドライブ稼働中は、ディスクット差し込み口のそばにあるオレンジ色のランプ、またはキーボードの奥にある  のランプが点灯しています。ランプが消えてから、イジェクト・ボタンを押して、ディスクットを取り出します。

本体組み込み型の場合



外付けの場合



ディスクを使うときは

ディスクを使うときは、そのディスクが「フォーマット(初期化)」されていることを確認してください。フォーマットされていないディスクには、コピーなど書き込み作業ができません。フォーマットとは、まっさらな状態のディスクに番地を付けて、情報を書き込める状態にすることです。フォーマット済みのディスクを購入することをお勧めしますが、購入するときは必ずDOS/V用を選んでください。ディスクのフォーマットと、ファイルのコピーについては「Windows 98 ファーストステップガイド」をお読みください。

補足

汚れたディスクは、本体の故障の原因となるため、使用しないでください。保存しておいたデータが使えなくなってしまった場合に備えて、バックアップを取っておくようにしましょう。

ディスクをフォーマットするには

フォーマット(初期化)されていないディスクを使う場合は、使う前にディスクのタイプに合わせて「フォーマット」することが必要です。

- 1 ディスケット・ドライブにディスクを入れ、「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックします
「マイ コンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「3.5 インチ FD (A:)」アイコンを右ボタンでクリックし、「フォーマット」を選んでクリックします

重要

ディスクの状態によっては、最初のフォーマット時に限って非常に長い時間がかかる場合があります。



重要



1.2MBのフォーマットはサポートされていません。1.2MBディスクを使用する場合は、市販のフォーマット済みディスクをお使いください。

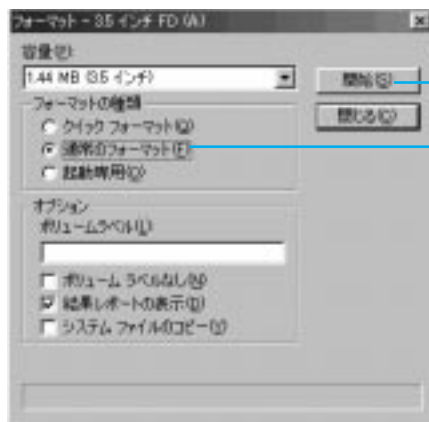
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。

3 フォーマットするディスクの種類に合わせて「容量(P)」を選びます
2HD ディスクの場合は「1.44 MB (3.5 インチ)」、2DD ディスクの場合は「720KB (3.5 インチ)」を選んでください。

4 「フォーマットの種類」のところで「通常のフォーマット(F)」をクリックします

5 [開始]をクリックします

フォーマットが開始されます。



2 このボタンをクリックします。

1 ここをクリックします。

補足

フォーマットを実行すると、フォーマットしたドライブにデータがある場合はすべて削除されます。フォーマットは、ハードディスクにも有効です。誤ってハードディスクのドライブを選んで[開始]をクリックすると、ハードディスクがフォーマットされてしまいます。

[開始]をクリックする前に、「フォーマット」ウィンドウのタイトルバーに「フォーマット - 3.5 インチ FD (A:)」と表示されていることを必ず確認してください。

CD-ROM をセットする

現在、市販のソフトウェアの多くが、CD-ROM の形で販売されています。CD-ROM のデータを読み取る装置が「CD-ROM ドライブ」です。CD-ROM ドライブには、ThinkPad の機種によって本体組み込み型のタイプと外付けタイプがあります。

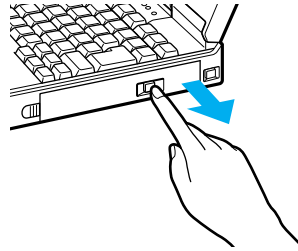
本体組み込み型 CD-ROM ドライブの使いかた

CD-ROM ドライブの場所は機種によって異なります。

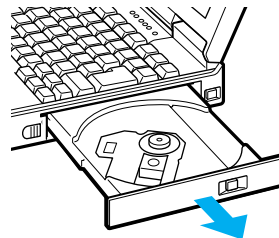
CD-ROM を入れるときは

ThinkPad の電源が入っていることを確認しましょう。電源が入っていないときは CD-ROM ドライブのイジェクト・ボタンは使えません。

1 CD-ROM イジェクト・ボタンを押します



CD-ROM のトレイ (受け皿) が出てきます。少ししか出てこない場合はトレイの前面部分を持ってゆっくりと引き出します。



1

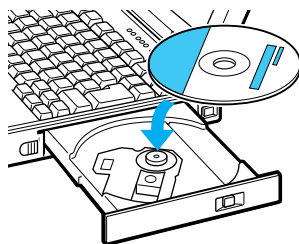
重要



CD-ROMの裏面（タイトル文字が書かれていない面）にはさわらないでください。

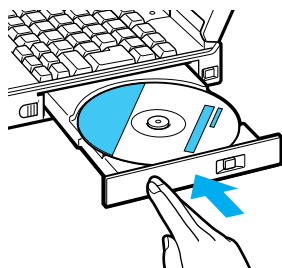
2 CD-ROM をトレイの上に置きます

CD-ROMのタイトル文字が書かれている面を上にして、CD-ROMの縁を持ってトレイに置きます。



3 CD-ROM の中心付近を指で押して、CD-ROM を固定します

4 CD-ROM のトレイ（受け皿）を本体に押し込んで、閉じます

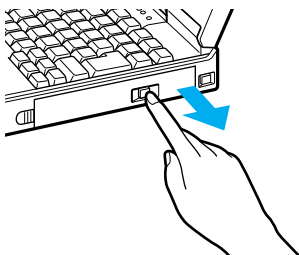


CD-ROM を取り出すときは

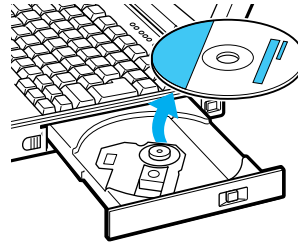
CD-ROMドライブ稼働中は、CD-ROMトレイのランプが点灯しています。ランプが消えてからCD-ROMを取り出しましょう。

1 CD-ROM イジェクトボタンを押します

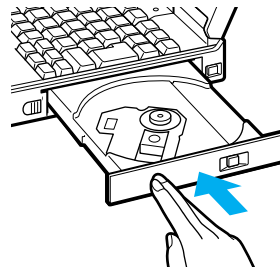
CD-ROMのトレイ（受け皿）が出てきます。



2 CD-ROM をトレイから取り出します



3 CD-ROM のトレイ (受け皿) を本体に押し込んで、閉じます



補足

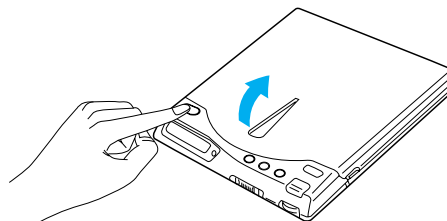
イジェクト・ボタンを押してもCD-ROMトレイが出てこない場合は、イジェクト・ボタンの右にある小さな穴(非常用CD-ROM取り出し穴)に、細い針金を差し込み、強く押します。CD-ROMトレイが出てきます。

外付け CD-ROM ドライブの使いかた

外付けCD-ROMドライブのタイプは、ThinkPadの機種によって異なります。ここでは、例を挙げて説明します。

CD-ROM を入れるときは

1 オープン・ボタンを押してカバーを開きます



重要

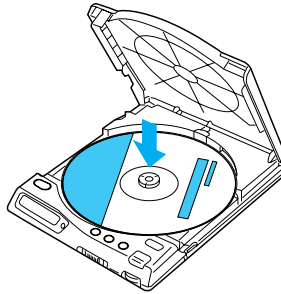


CD-ROMの裏面（タイトル文字が書かれていない面）にはさわらないでください。

2 CD-ROM をトレイの上に置きます

CD-ROMのタイトル文字が書かれている面を上にして、CD-ROMの縁を持ってトレイに置きます。

3 CD-ROM の中心付近を指で押して、CD-ROM を固定します

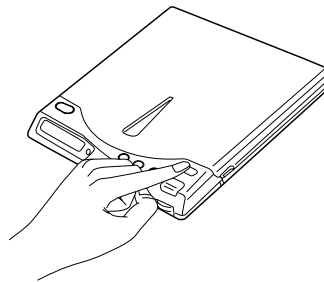


4 カバーを閉じます

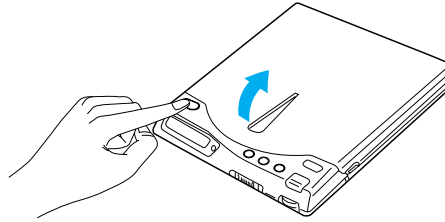
CD-ROM を取り出すときは

1 CD-ROM ドライブの停止（ ）ボタンを押します

CD-ROM の回転が完全に止まったことを確認します。

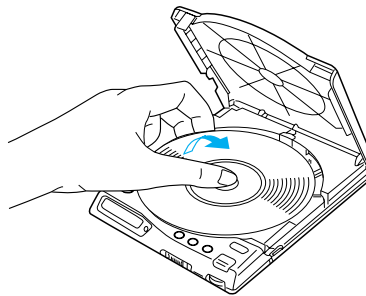


2 オープン・ボタンを押してカバーを開きます



3 CD-ROM をトレイから取り出します

中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。



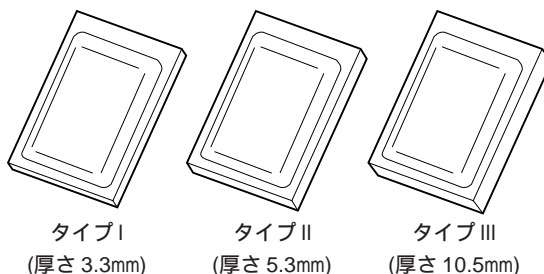
4 カバーを閉じます

PC カードを使う

デスクトップ型パソコンに比べて、ノートブック型パソコンは拡張性が低いと言われた時代がありました。今では、PCカードを使えば、ThinkPadでデスクトップ型パソコンと変わらない機能を実現できます。

PC カードについて

ThinkPadで使えるPCカードは、タイプI、タイプII、タイプIIIの3種類です。



ThinkPadのPCカード・スロットには、タイプIかIIなら2枚、タイプIIIなら下段スロットに1枚のみ入ります。

PC カードの種類は

PCカードにはさまざまな種類があります。代表的なものをご紹介します。

データ / FAX モデムカード

インターネット、電話、ファックス通信などを可能にします。

LANカード

オフィスなどでネットワークに接続します。

フラッシュメモリー ATA カード

ハードディスクと同様に使えるメモリーカードです。

SCSI (スカジー) カード

外付け CD-ROM ドライブや外付けハードディスクなどを接続します。

ISDN カード

ISDN (サービス統合デジタル網) に接続します。

重要



PCカードを購入するときは、Windows98用で、ThinkPadに対応しているか販売店で確認してください。

このほかにも、サウンドカードやビデオキャプチャー(画像取り込み)カードなどマルチメディアに対応したカードも数多く販売されています。

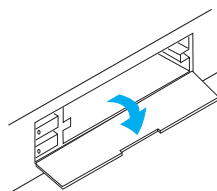
PCカードを使うときは

PCカード・スロットは、通常 ThinkPad の左側面か右側面に 2 個付いています。

PC カードを入れるときは

PCカードの種類にもよりますが、電源オンの状態で挿入できるものがほとんどです。

1 PCカード・スロットにふたが付いているときは開きます



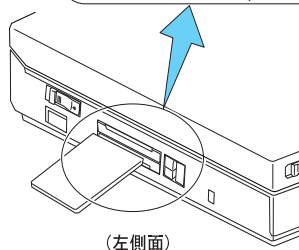
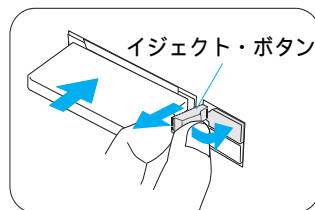
2 PCカードの名称などが書かれている面を上向きにして、スロットの奥まで差し込みます。

矢印()の方向にゆっくりと差し込んでください。イジェクト・ボタンが少し飛び出すので手前に引き出し、横に倒します。

ヒント



ThinkPadの機種によっては、イジェクト・ボタンは飛び出しません。この場合は倒す必要はありません。



はじめてそのPCカードを差し込んだときに限り、画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。PCカードに付属のマニュアルを参照し、画面の指示に従ってデバイス・ドライバーの設定を行ってください。

PCカードを取り出すときは

PCカードは、使わないときもスロットに差し込んだままでかまいません。しかし、PCカードは差し込まれているだけで電力を消費するので、ThinkPadを持ち歩いて使うときなどは次の手順で抜いておくといよいでしょう。

重要



電源オンの状態でPCカードを抜くときは、必ずこの中止の操作を行ってください。

- 1 Windows 98の右下隅のタスクバーにあるPCカードのアイコンをクリックし、「カードの中止」メニューが表示されたらクリックします



このアイコンをクリックして、表示された「・・・の中止」をクリックします。

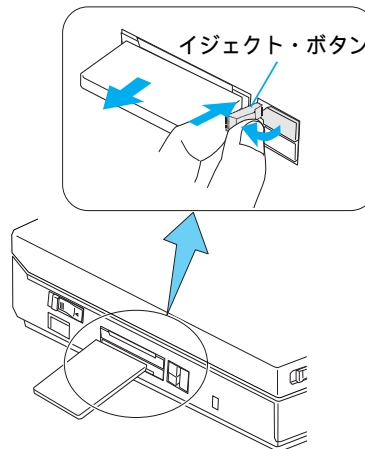
「このデバイスは安全に取りはずせます」というメッセージが表示されます。

- 2 PCカード・スロットのイジェクト・ボタンを起こし、押し込みます
PCカードが少し飛び出すので、ゆっくりと引き抜きます。

ヒント



ThinkPadの機種によっては、ペン先などでイジェクト・ボタンを押し、飛び出したボタンを指で押すタイプのももあります。



プリンターを接続して印刷する

ThinkPadにプリンターを接続し、ワープロで作成した文書や絵などを印刷してみましょ。カラー・プリンターを接続すれば、年賀状や暑中見舞を自分でデザインしてカラー印刷することもできます。

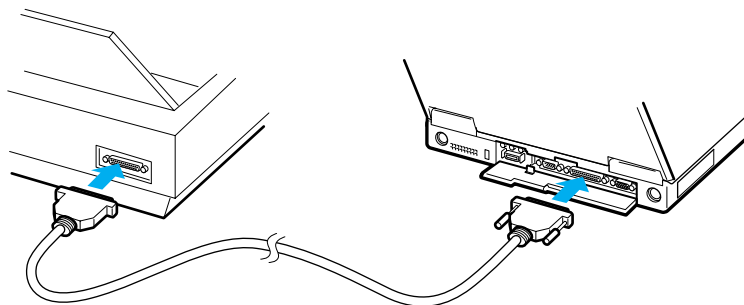
プリンターは、お店で売られている Windows98 用のものをお選びください。

プリンターの接続方法については、お持ちのプリンターのマニュアルをお読みください。プリンターの接続が完了したら、「アプリケーションから印刷するには」(P.92)に進みます。

ここでは、一般的なプリンターの接続方法の例を説明します。

プリンターを ThinkPad に接続するには

- 1 プリンターと ThinkPad の電源がオフになっていることを確認します
- 2 プリンター・ケーブルを、ThinkPad の背面の平行ル・コネクターとプリンター側のコネクターに接続します



- 3 プリンターの電源を入れてから、ThinkPad の電源を入れます

接続しただけでは使えません。プリンターを動かすためのソフトウェア(プリンター・ドライバー)が必要です。以下の手順でプリンター・ドライバーをインストールしましょう。

プリンター・ドライバーをインストールするには

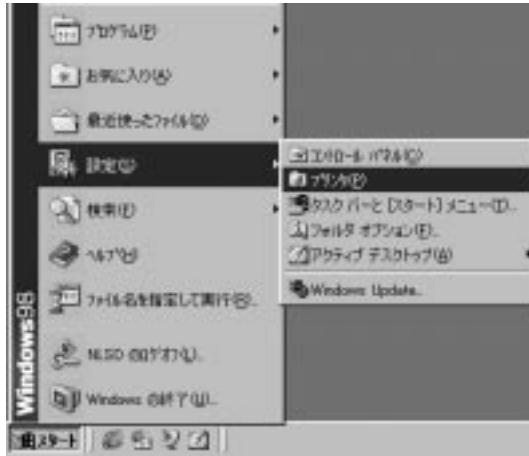
重要



接続したプリンターの機種によっては、Windows 98の起動時に「新しいハードウェア」ウィンドウが表示されて、プリンターが自動認識されたことを示します。この場合、画面の指示に従ってプリンター・ドライバーをインストールしたほうがよい場合がありますので、プリンターに付属のマニュアルを必ずお読みください。

ここでは、プリンター・ドライバーのインストールのしかたについて、一般的な手順を説明します。接続するプリンターの機種によっては、ここで説明している手順とは異なる場合がありますので、詳しくは、プリンターに付属のマニュアルをお読みください。

1 デスクトップ左下の [スタート] ボタンをクリックし、「設定」から「プリンタ」を選んでクリックします



2 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします

3 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されるので、[次へ] をクリックします

プリンターの接続先を選択するウィンドウが表示された場合で、ThinkPad に直接接続しているプリンターを使うときは、「ローカルプリンタ」を選び、[次へ] をクリックします。

それ以外の場合は、次のステップへ進みます。

ヒント



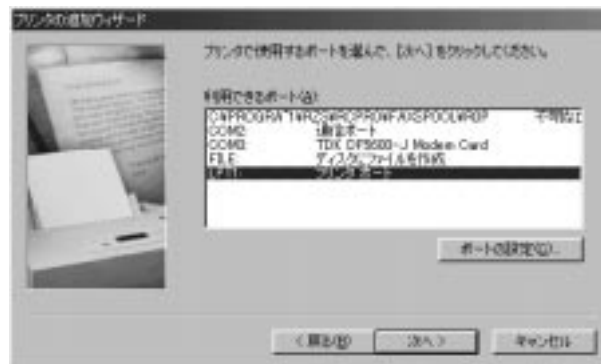
お使いのThinkPad 以外のコンピュータに接続されているプリンターを、通信機能を利用して使用する場合は「ネットワークプリンタ」を選びます。

- 4 プリンターのメーカー名（製造元）と製品名（プリンタ）が表示されたウィンドウでは、自分が使うプリンターのメーカー名とプリンターの製品名をクリックして反転表示させ、[次へ]をクリックします



表示されているリストはWindows 98 にあらかじめインストールされているプリンター・ドライバーです。リストにない場合は、プリンターに付属のディスク（フロッピーディスク）をディスク・ドライブに入れ、[ディスク使用]をクリックして、ドライバーをインストールしてください。

- 5 プリンターのポートを選択するウィンドウでは、「LPT1」が選ばれていることを確認し、[次へ]をクリックします



- 6 通常のプリンターとして使うかどうかを聞かれたら、「はい」をクリックし、[次へ]をクリックします

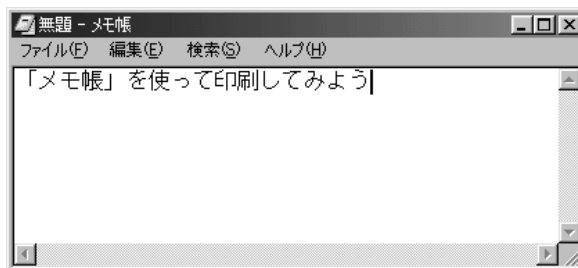


- 7 テストページを印刷する場合は「はい」を、今すぐに印刷しない場合は「いいえ」を選び、[完了]をクリックします

アプリケーションから印刷するには

次に、「メモ帳」を起動して（ P.43 ）プリンターで印刷してみましょう。

- 1 デスクトップ左下の[スタート]ボタンをクリックし、「プログラム」から「アクセサリ」 「メモ帳」を選んでクリックします
- 2 「無題 - メモ帳」ウィンドウが表示されたら、キーボードで1、2行の文章を入力してみます



3 「ファイル」から「ページ設定」を選んでクリックします



「ページ設定」ウィンドウでは、用紙サイズや印刷の向きなどを選択することができます。



4 「OK」をクリックして「ページ設定」ウィンドウを終了し、メモ帳ウィンドウに戻ります

5 「ファイル」から「印刷」を選んでクリックします



「印刷中」のメッセージが表示されて、入力した文章がプリンターに印刷されます。

バッテリーをうまく使うには

外出時に持ち歩いて、どこでも使えるのがThinkPadの最大の魅力。だからこそ、バッテリー・パックの限られた電力を上手に使うことはとても重要です。ここではバッテリーの電力を長持ちさせるコツを説明します。

バッテリー残量をチェックするには

バッテリーの電力があとどれくらい残っているかをチェックするには、「バッテリーメーター」というプログラムを使うと便利です。(ThinkPadの機種によってバッテリーメーターの開始のしかたや画面は異なります。)

下記の「バッテリーメーター」画面の例では、「スタート」をクリックし、「プログラム」から「ThinkPad」にマウス・ポインターを移動し、「バッテリーメーター」をクリックして開始します。



重要



ThinkPadの機種によって画面は異なります。詳しくは付属の「ユーザーズ・ガイド」または「ユーザーズ・リファレンス」をお読みください。



バッテリー残量を示します。

Windows 98付属の「バッテリーメーター」プログラムを使ってバッテリー残量をチェックすることもできます。画面右下隅の  または  アイコンをダブルクリックすると画面が表示されます。



サスペンド機能を使う

サスペンド機能とは

「サスペンド」には「一時停止」という意味があります。ThinkPad 操作中に席を立つときなどにThinkPadの働きを一時停止させて、使用しない間の電力を節約するのがサスペンド機能です。

サスペンド機能を使うには

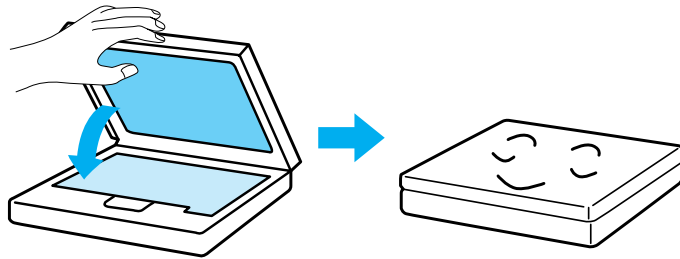
サスペンドの方法はとても簡単。ふたを閉じればよいのです。これでThinkPadはサスペンド状態になります。

操作を再開するには、ふたを開きます。1～2秒後にはふたを閉じる前の状態に戻ります（この機能を「レジューム機能」と呼びます）。

重要



ThinkPadは、バッテリー電源のみで操作している場合、一定時間何も操作が行われないと自動的に画面の電源をオフするように購入時に設定されています。



ヒント

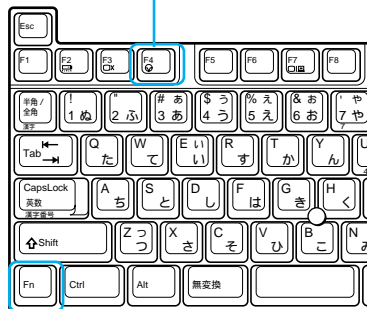


ThinkPadの省電力機能には、サスペンド機能のほかに「スタンバイ機能」や「ハイバネーション機能」があります。詳しくは付属の「ユーザーズ・ガイド」または「ユーザーズ・リファレンス」をお読みください。

サスペンド機能を使うもうひとつの方法は

キーボードの(Fn)キーを押しながら(F4)キーを押すと、ディスプレイの表示が1～2秒後にオフになり、ThinPadはサスペンド状態になります。操作を再開するには、(Fn)キーを押します。

② (F4) キーを押します。



① (Fn) キーを押しながら

画面の明るさを調節する

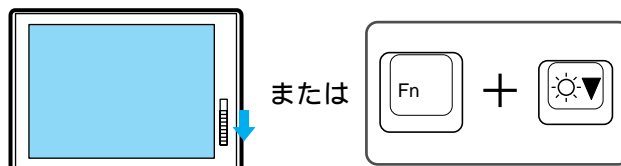
ThinkPadの液晶ディスプレイは、たくさんの電力を消費しています。画面の明るさをできるだけおさえると、そのぶんバッテリーで使える時間が長くなります。

ヒント



ThinkPadの機能によって画面の明るさの調節のしかたは異なります。詳しくは付属の「ユーザーズ・ガイド」または「ユーザーズ・リファレンス」をお読みください。

画面の横や下にある「輝度つまみ (☀)」または、**[Fn]** キーを押しながら **[☀▼]** キーなどを押して、画面の明るさをできるだけおさえましょう。



使っていないオプションを取り外す

外付けディスク・ドライブやPCカードなどの外付け装置は、ThinkPadからの電源供給で動いています。使っていない装置やPCカードは取り外しましょう。そのぶんバッテリーで使える時間が長くなります。

第2章

通信機能を使ってみよう

通信機能を使う前に	98
まず、確認しよう	98
モデムをセットアップしよう	98
インターネットにつないでみよう	102
インターネットって何だろう？	102
インターネットでどんなことができるの？	103
プロバイダーとブラウザについて	105
「はじめよう ThinkPad でインターネット」を見よう	105
インターネットにつなぐ準備をしよう	107
IBM のプロバイダーにユーザー登録するには	107
電子メール (E-mail) を使えるように設定しよう	114
インターネットに接続するには	122
接続を終了するには	124
インターネットを楽しもう	126
電子メール (E-mail) を送ってみよう	131
ファックス、電話機能を使ってみよう	135
初めて使うときは	135
ファックスを送信してみよう	145
ファックスを受信しよう	150
電話機能を使ってみよう (RingCentral)	155
赤外線通信を試してみよう	161
赤外線通信用アプリケーションを起動する	161
相手 ThinkPad との接続を確認する	161
ThinkPad 間でファイルを転送してみる	164

通信機能を使う前に

ThinkPadが一台あれば、インターネットを介して世界の最新情報を入手したり、世界中の人と電子メールをやりとりしたりできます。また、ThinkPadは、ファックスの代わりにもなります。さあ、ThinkPadのさまざまな通信機能を使ってみましょう。

補足

ThinkPadには、モデムが付いていない機種もあります。後からモデムを購入するときは、Windows 98用で、ThinkPadに対応しているか販売店で確認してください。購入後、そのモデムに付属のマニュアルをよくお読みください。

まず、確認しよう

重要



ThinkPadのモデムは、日本国内の公衆アナログ電話回線網へのみ接続できます。デジタル電話回線には接続しないでください。たとえば、オフィス・ビルの事務所等の独自の電話回線はデジタル電話回線の場合が多いので、接続前に必ずご確認ください。(不明の場合は、電話会社にお問い合わせください。)

ThinkPadの通信機能を使うために、ご自宅で次のことを確認しましょう。

電話回線がつけられるか

ThinkPadをファクシミリや電話として使ったり、インターネットに接続して使うには、付属している電話ケーブルでThinkPadをNTTなどのアナログ公衆電話回線に接続します。現在、ご自宅の電話機のケーブルが壁にある電話ジャック(モジュラー・ジャック)に接続している場合は、付属の電話ケーブルをそのジャックに接続すれば使えるようになります。接続のしかたは、ThinkPadに付属のマニュアルをご覧ください。

電話機のケーブルが直接壁に付いている場合は、電話工事を行ってもらってモジュラー・ジャックに取り換える必要があります。工事を行うには、電話会社にご相談ください。

ヒント



トーンなのか、パルスなのか、どちらの種類の回線なのか分からないときは、電話料金の請求書を見て確認しましょう。

電話回線の種類は何か

電話回線にはトーン回線(プッシュホン回線)とパルス回線(ダイヤル回線)があります。トーン回線の場合は、電話をかけたときに呼び出し音が鳴る前に「ピッ、ポッ、パッ」という音がします。パルス回線の場合は、「カタカタカタ...」という音がします。ThinkPadの初期設定は「トーン回線」ですので、「パルス回線」をご使用の場合は、モデムをセットアップするときに、設定を「トーン」から「パルス」に変えてください。

モデムをセットアップしよう

内蔵 ThinkPad モデムをセットアップします。

- 1 ThinkPadの電源がオフになっている場合は、オンにします
Windows98 デスクトップが画面に表示されます。

**危険**

感電を防止するため、ケーブルを電話回線に接続する作業や電話回線からケーブルを抜く作業は、雷雨時を避けてください。

重要

セットアップ中に、より詳しい情報が必要になった場合は、「ステップ・アップ・ガイド」の『モデム機能の使用』または「ユーザーズ・リファレンス」の『問題判別表』をお読みください。

重要

表示されるモデムの名前は、ThinkPad の機種によって異なります。

2 デスクトップ左下の [スタート] ボタンをクリックし、「設定」から「コントロール パネル」を選んでクリックします

「コントロール パネル」ウィンドウが表示されます。

3 「モデム」アイコンをダブルクリックします

「所在地情報」ウィンドウが表示されます。

4 市外局番などを入力し、[閉じる] をクリックします

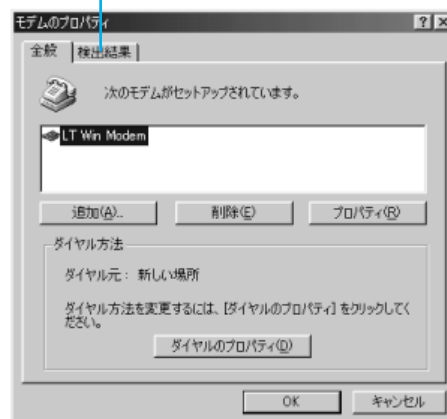
現在の場所の市外局番と、外線発信番号がある場合は、その番号を入力します。ダイヤル方法は「トーン」または「パルス」を選びます。



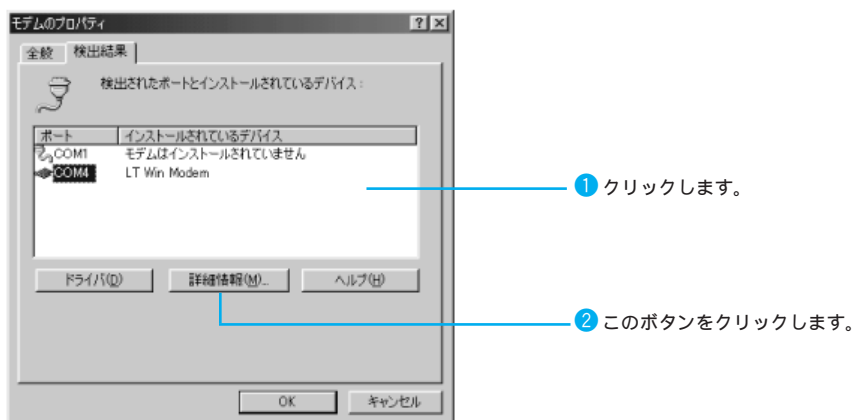
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

5 「検出結果」タブをクリックします

ここをクリックします。



6 設定したモデムのCOMポートの部分をクリックし反転表示させてから、[詳細情報] をクリックします



7 「コマンド」と「応答」の欄に、情報が表示されているか確認し、「OK」をクリックします

何も表示されていない場合は、セットアップは正常に完了していません。ユーザズ・リファレンスの問題判別表の「モデムの問題」をお読みください。



8 続けて「モデムのプロパティ」ウィンドウも「OK」をクリックして終了します

以上で、内蔵 ThinkPad モデムのセットアップは終了しました。

補足

モデムとは

モデムは、アナログの一般公衆電話網(通常の電話回線)を経由してコンピュータどうしが通信する場合に必要な装置です。

電話回線は、本来、人間の声を送るために作られたアナログ回線網であるため、コンピュータから出力されるデジタル信号はそのままでは送信(受信)できません。

パソコンを電話回線に接続する場合に、モデムはコンピュータから送り出されるデジタル信号をアナログ信号へ変換(送信時)して回線に送り出し、また送られてきたアナログ信号をデジタル信号へ変換(受信時)します。このモデムの働きによって、電話回線を通じて遠方にあるコンピュータと通信することができるのです。

また、モデムはやり取りするデータの破損を防ぐための機能、送信する時間を短くするためのデータ圧縮機能などの機能ももっています。

これらのモデムの多くの機能、仕様はモデム同士の互換性を保つために規格として標準化され、モデムはその規格に沿って開発されています。

モデムを使うときの注意点

一部の会社、学校、ビルなどでは、PBXと呼ばれるデジタル構内交換システム(デジタル電話システム)を使用しています。モデムは、アナログの公衆電話網へパソコンを接続することを目的とした装置で、またそのための規格に沿って設計されている機器のため、モデムをPBXに接続すると「通信ができない」「モデムやPBXのデジタル交換機が破損する」ということがあります。PBXシステムには絶対に接続しないでください。

家庭内でのテレホン・システム(ホームテレホン)をご利用の場合、ホームテレホンの電話ケーブルをそのまま接続しても、モデムが使用できない場合があります。これは、ホームテレホンでしか利用されない電気信号などがある場合に、モデムはこの信号を出したり受け取ったりすることができないためです。ホームテレホンをご利用の場合は、モデムを接続する前にホームテレホンのメーカーにご相談ください。

ISDN回線で、モデムを使って通信する場合は、TA(ターミナル・アダプター)のアナログ・ポートに接続します。ISDN回線をご利用の場合でも、モデムを使用してインターネットなどに接続する場合は、アクセスポイントは従来どおり、モデムを接続するためのアクセスポイントを使用します。一般的に、「ISDN同期64K(128K)専用」というアクセスポイントは、TAのデジタル通信用のポートを使用して接続するためのアクセスポイントなので、モデムでは接続できません。

インターネットにつないでみよう

ThinkPadでインターネットにつないでみましょう。

インターネットは、日本を含めた世界中にあるコンピューターどうしをつないでいるコンピューター・ネットワークのことです。インターネットを通じて、世界中のコンピューターと情報を交換することができます。

インターネットって何だろう？

インターネットのはじまり

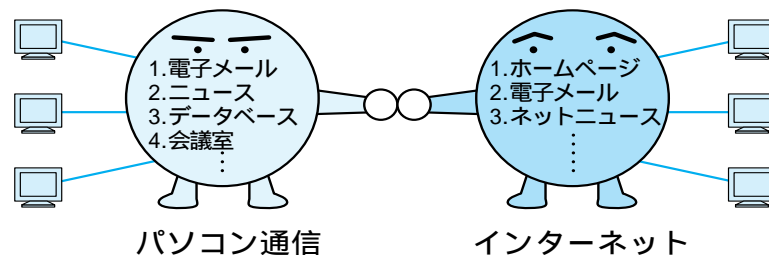
インターネットが普及する以前では、企業や学校などで、業務の電子処理や連絡のために個々のコンピューターのネットワーク(通信網)を作り、そのネットワークの中で情報のやり取りが行われていました。しかし、そのネットワーク以外の外部のネットワークとも通信ができれば便利です。そこで、この個々にあるネットワークどうしをつなげて、「ネットワークのネットワーク」をつくり、これを世界的な規模に広げたのがインターネットです。

インターネットとパソコン通信との違い

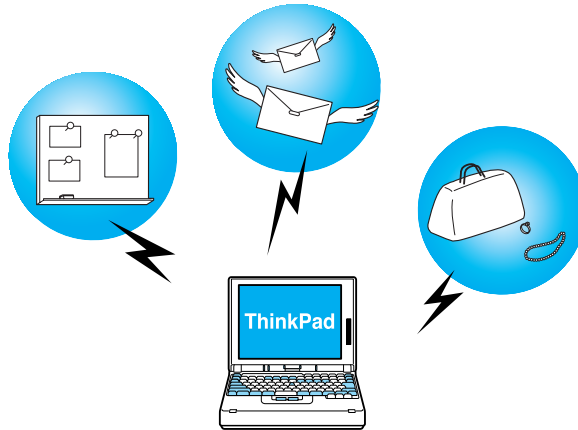
パソコンを使って利用できるネットワーク・サービスには、インターネットのほかに、「パソコン通信」というサービスもあります。インターネットでは、プロバイダーを経由してインターネット上にある世界中の情報を利用できますが、パソコン通信では、基本的にパソコン通信事業者が用意しているネットワーク内の情報のみが利用できます。

パソコン通信では、パソコン通信の会員同士が特定の話題について会話ができるフォーラムや会議室などコミュニティ・サービスが充実していることや、ニュースや経済統計のようなデータベース検索サービスなど有料の情報に対するしきりがしっかりしているが特徴です。

ただし、現在では、パソコン通信事業者もインターネットへの接続サービスを行ったり、インターネットからパソコン通信のサービスを利用できるなど、パソコン通信とインターネットの垣根があいまいになってきています。



インターネットでどんなことができるの？



ネットサーフィン

ネットサーフィンとは、インターネットを海にたとえて、サーフィンするようにいろいろなホームページを見て回るインターネットの代表的な機能のひとつです。ホームページには、URL (Uniform Resource Locator) というネット上の住所のようなものがあり、通常、「アドレス」と呼ばれています。このアドレスを指定することによって、そのホームページに簡単にたどり着くことができます。ネットサーフィンをするためには「ブラウザ」と呼ばれるソフトウェアを使います。

データベース検索

インターネットでは、データベース検索サービスというものがあり、世界中のデータベースの中から欲しい情報を見つけることができます。有名なものに「Yahoo(ヤフー)」というものがあります。

ホームページの公開(情報通信)

インターネットでは情報を収集するだけでなく、自分が興味を持っている事柄のホームページを作って情報を発信することができます。ホームページのネットワークのことをWWW(World Wide Web)といい、この情報のネットワークは世界中にクモの巣をはるように作られています。

補 足

インターネットとは、世界中のコンピューターどうしをつなぐ「コンピューター・ネットワーク」のことで、WWWは、インターネットを利用して作られた「情報ネットワーク」のことで、

電子メールの送受信

電子メールとは、インターネット上でのメール（手紙）のことで、通常、「E-mail」と呼ばれています。安い電話料金で世界中のどこにでもあつという間にメールを送ることができます。電話のように相手の都合に左右されず、手紙のように時間がかかることがなく、送りたいときに送って、読みたいときに読むことができます。また、同じメールを複数の人に同時に送ることもできます。

ネットニュース/ニュース・グループの送受信

インターネット上の電子掲示板のことで、意見の交換が自由にできます。通常、ネットニュースは、テーマ別や分野別のグループになっています。このグループのことを「ニュース・グループ」と呼びます。

ファイルの転送

インターネット上の他のコンピューターにあるファイルを自分のコンピューターに転送（これをダウンロードといいます）したり、逆に自分のコンピューターから他のコンピューターに転送（これをアップロードといいます）したりできます。このことをFTP（エフ・ティー・ピー）と呼びます。"File Transfer Protocol" の略称で「ファイル転送プロトコル」などと訳されています。

オンライン・ショッピング

インターネットで世界中のいろいろな買い物を楽しむことができます。料金の支払方法はいろいろありますが、クレジットカードでの支払いが主流になっています。

その他にできること

インターネットでは、上記のほかに、インターネット電話、チャット（文字によるおしゃべり）、最新のヒット曲を楽しむカラオケや、複数の人達とゲームで対戦したりすることもできます。

プロバイダーとブラウザについて

プロバイダー

プロバイダーとは、「インターネット・サービス・プロバイダー (ISP)」のことで、インターネットへの接続を提供する業者のことを言います。一般に、個人がインターネットを利用する場合、このプロバイダーを経由しなければなりません。どこかのプロバイダーにユーザー登録(加入契約)してプロバイダーが指定した設定をパソコンで行い、指定されている電話番号に電話をかけることでインターネットに接続します。

この電話番号のことを「アクセスポイント」、電話をかけることを「ダイヤルアップ接続する」といいます。プロバイダーによって、利用料金の違いや、アクセスポイントの場所が電話料金に関係してきますので、どのプロバイダーを選ぶかは重要です。

ThinkPad では、「IBM インターネット接続サービス」(IBM ネットパスポート)にオンライン登録できるソフトウェアがプリインストールされています。(P.107)

ヒント



電話回線を使ってインターネットにアクセスした場合、プロバイダーから請求されるサービス料金のほかに使った時間分の電話料金がかかります。

ブラウザ

ブラウザとは、ホームページをパソコンの画面上に表示するためのアプリケーション・ソフトウェアです。「www ブラウザー」と呼ばれることもあります。ブラウザにはいくつか種類がありますが、代表的なものに、Internet Explorer (インターネット・エクスプローラー) と Netscape Navigator (ネットスケープ・ナビゲーター) があります。

ThinkPad には「Internet Explorer」(P.126) がプリインストールされています。

「はじめよう ThinkPad でインターネット」を見てみよう

重要



「はじめよう ThinkPad でインターネット」は、ThinkPad の機種によっては提供されていません。

インターネットの疑似体験をしてみよう

ThinkPad では、インターネットの雰囲気を味わっていただくために、IBM の運営している「ThinkPad らんど」のホームページの一部を見ることができます。これは、プロバイダーへの加入や電話をかけることなく、擬似的に体験できますので、ぜひお試しください。

また、インターネットの疑似体験だけではなく、インターネットに関する基本的な事柄、ちょっと進んだ使い方、トラブルが起きたときの対処のしかたや用語集なども見ることができます。実際にインターネットに接続する前に、一度ご覧ください。

- 1 デスクトップの「ThinkPadの工具箱」アイコンをダブルクリックします
- 2 「はじめようThinkPadでインターネット！」アイコンをダブルクリックします

メイン画面が表示されます。

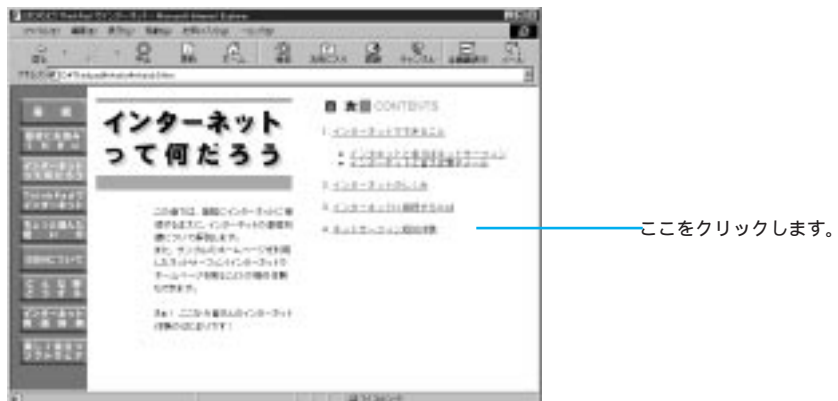
- 3 「最初にお読みください」をクリックします

ここでは、オンライン・マニュアルの使い方や内容などを紹介しています。



- 4 「インターネットってなんだろう？」をクリックします

- 5 「ネットサーフィン疑似体験」をクリックします



インターネットにつなぐ準備をしよう

インターネットにつなぐ前に次の準備をしましょう。

1 電話回線を接続する

ThinkPad に電話回線を接続します。

電話回線を接続していない場合は、「セットアップ・ガイド」を読みながら正しく接続し、回線の種類などを正しく設定してください。(P.98)

2 プロバイダーにユーザー登録する

インターネットにつなぐには、ユーザー ID とパスワードが必要です。プロバイダーにユーザー登録（加入契約）して、ユーザー ID とパスワードを入手してください。

ThinkPad には、IBM のプロバイダー「IBM インターネット接続サービス」にオンライン登録するためのアプリケーションがプリインストールされています。すでに IBM のプロバイダーや別のプロバイダーに登録してユーザー ID を持っている場合は、新しく登録をする必要はありません。

IBM のプロバイダーにユーザー登録するには

ここでは、「IBM インターネット接続サービス」(IBM ネットパスポート) へのオンライン登録のしかたを説明します。

重要



以下のオンライン登録のしかたは、「IBM インターネット接続サービス」の拡充、改変に伴って、表示される画面が一部変更される場合があります。

1 デスクトップの「IBM インターネット」アイコンをダブルクリックします



このアイコンをダブルクリックします。

「ダイヤラーのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 [次へ] をクリックします



3 「これから個人用のアカウントを登録します」を選び、[次へ] をクリックします



① ここをクリックします。

② このボタンをクリックします。

4 登録のステップの説明を読み、[次へ] をクリックします



5 ThinkPadのモデムが表示されたら [次へ] をクリックします

重要



表示されるモデムの名前は、ThinkPadの機種によって異なります。



6 [ダイヤルのプロパティ] をクリックします



このボタンをクリックします。

7 市外局番を入力し、ダイヤル方法を確認したら [OK] をクリックします

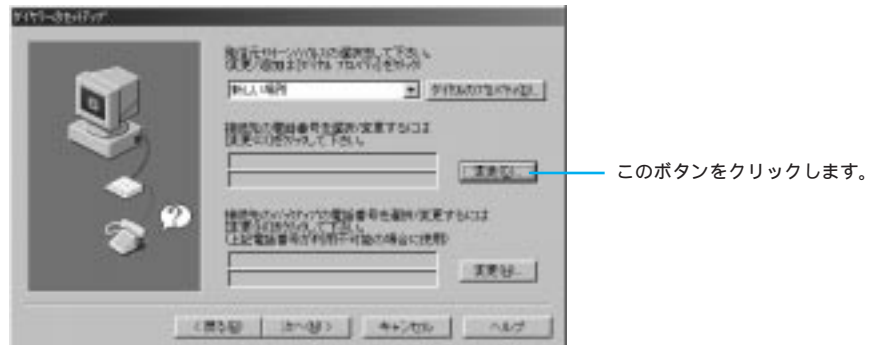


ここに市外局番を入れます。

ここでいうキャッチホンは、日本国内で使われているものとは異なります。チェックマーク(V)が付いている場合は、ここをマウスでクリックして、チェックマークを外してください。

ダイヤル方法(電話回線の種類)を確認します。

8 アクセスポイントの電話番号を指定するために[変更]をクリックします



9 最も近いアクセスポイントをクリックして選んだら、[OK]をクリックします



10 すべての指定が終わったら [次へ] をクリックします



15 「サービス規約」が表示されるので、よく読んだ後、同意する場合は「はい、サービス規約に同意します。」をクリックし、[次へ]をクリックします

16 クレジットカード番号などを入力し、[次へ]をクリックします



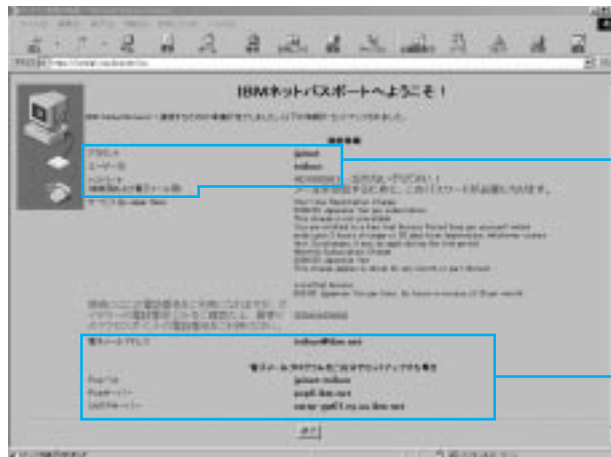
17 内容を確認したら [実行] をクリックし、登録情報を送信します
登録情報をIBMインターネット接続サービスに送信します。登録情報の内容が確認されると、ユーザーIDとパスワードを取得できます。(数分後に画面に表示されます。)



18 数分後に画面が表示されたら、内容をメモします

ここに書かれている情報は、メールの設定をするときに必要です。必ず内容をメモしてください。

プリンターを接続している場合は、ツールボタンの[印刷]をクリックし、この画面を印刷してください。(印刷された内容を必ず確認してください。)



重要です。必ず内容をメモしてください。

重要です。必ず内容をメモしてください。

19 [終了]をクリックしてInternet Explorerを終了し、IBM Global Network Dialerを終了します

これで、IBMインターネット接続サービスへの登録(加入契約)が完了しました。

「IBM Global Network - ログイン」ウィンドウが表示されるので、インターネットにすぐに接続したい場合は[接続]をクリックし、それ以外の場合は[キャンセル]をクリックします。

補足

「IBMインターネット接続サービス」の登録を解約するには

現在使用している「IBMインターネット接続サービス」のアカウント(ユーザーID)は、次のホームページから解約できます。

<http://www.ibm.net/japan/actctr/index.html>

アカウントを解約すると「IBMインターネット接続サービス」の一切のサービスが受けられなくなります。

解約するときの注意点がいくつかありますので、解約を実行する前に必ずホームページの内容を最後までよく読んでから、確実に手続きを行ってください。

電子メール (E-mail) を使えるように設定しよう

インターネットといえば電子メール (E-mail) と言われるほど、インターネットを使う人同士の連絡に非常に便利なのが「電子メール」です。電話やFAXに次ぐ新しい連絡手段として、今世界的な規模で爆発的に普及しています。では、なぜこんなにも普及が進んでいるのでしょうか？それには普通の郵便にはない利点があるからです。

ほとんどすぐに届く

たとえば、郵便では速達を利用してもいくら早くても翌日にしか届きませんが、電子メールならば世界中のどこでもほとんど数分以内に届きます。

いろいろなファイルを添付できる

ワープロや表計算ソフトで作ったファイルとか、デジタルカメラで撮った写真データなどをメールに添付して送ることができます。最近のメールソフトでは、写真などの画像をそのまま見られる形で添付できるものもあります。

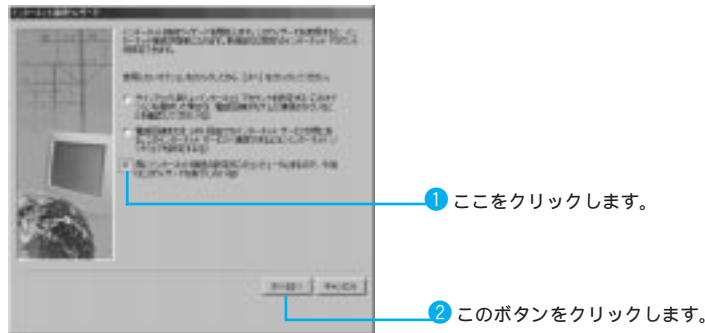
複数の人に一度に送れる

郵便と同様に送りたい人のアドレス (宛先) を指定して送信しますが、ここに複数の人々のアドレスを指定できます。パーティーのお知らせなど同じ情報を複数の人に一度に送りたい場合に便利です。

電子メールを利用するためのアプリケーションは

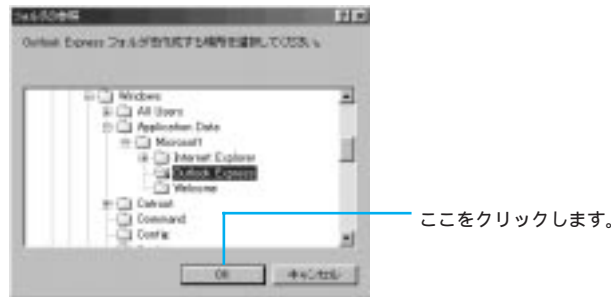
電子メールを利用するには、電子メールソフトが必要です。代表的なメールソフトとして、Internet Explorerに付属の「Outlook Express」、Netscape Communicatorに付属の「Netscape Messenger」などがあります。ThinkPadにはOutlook Expressがプリインストールされています。

- 1 タスクバーの「Outlook Express」アイコンをクリックします
- 2 「既にインターネット接続の設定がこのコンピューターにあるので、今後はこのウィザードを表示しない」を選び、[次へ]をクリックします
はじめて Outlook Express を起動したときは、この画面が表示されます



2 データを保存するフォルダーを指定し、[OK]をクリックします

通常は、標準で指定されている「Outlook Express」フォルダーのままでかまいません。

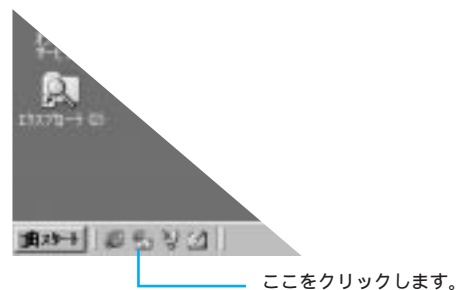


Outlook Express が起動します。

メール・アカウントを設定するには

1 タスクバーの「Outlook Express」アイコンをクリックします

Outlook Express が起動している場合は、そのまま次に進んでください。



2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「アカウント」を選んでクリックします

① ここをクリックします。



② ここをクリックします。

3 「インターネット アカウント」ウィンドウで「メール」タブをクリックします

ここをクリックします。



4 [追加] をクリックし、「メール」をクリックします



インターネット接続ウィザードが表示されます。

5 自分の名前を入力し、[次へ]をクリックします



インターネット接続のセットアップ

名前

電子メールを送信するとき、名前と「姓」との組み合わせが必要です。新しい名前を入力してください。

表示名

姓

6 取得した電子メール(E-mail)アドレスを入力し、[次へ]をクリックします



インターネット接続のセットアップ

電子メール アドレス

電子メールのアドレスは、自分のユーザー名と電子メール宛先を結合して入力します。このアドレスは、インターネット サービスによって割り当てられます。

電子メール アドレス

姓

7 POP (受信メール) サーバー、SMTP (送信メール) サーバーのアドレスを入力し、[次へ]をクリックします



インターネット接続のセットアップ

電子メール サーバー名

受信メールサーバーの種類

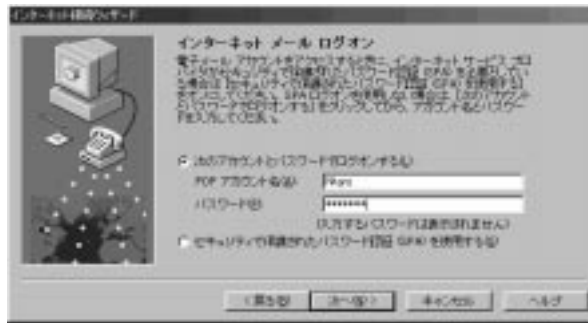
受信メールサーバー名を入力してください。

受信メール POP または IMAP のサーバー名

SMTP サーバーは、電子メールを送信するときに使用するサーバーです。SMTP サーバー名を入力してください。

送信メール SMTP サーバー名

8 POPアカウント名(ユーザーID)とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします



9 メールアカウントの名前を入力し、[次へ]をクリックします ここで入力した名前がOutlook Expressで表示されます。



注：SPAは選ばないようにしてください。

10 「電話回線を使って接続する」をクリックし、[次へ]をクリックします



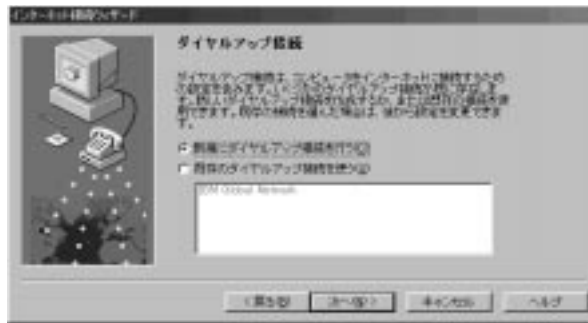
11

IBM インターネット接続サービスに加入した場合

「既存のダイヤルアップ接続を使う」をクリックし、下の表で「IBM Global Network」を選択します。

[次へ]をクリックすると 16 に進みます。

IBMインターネット接続サービス以外のプロバイダーに加入している場合
「新規にダイヤルアップ接続を行う」をクリックし、[次へ]をクリックします。



重要



国名と国番号が「日本(81)」
になっていることを必ず確
認してください。

12 市外局番、電話番号を入力し、[次へ]をクリックします



13 ユーザー名(ユーザーID)とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします



14 「いいえ」をクリックし、[次へ]をクリックします



15 ダイヤルアップ接続名を入力し、[次へ]をクリックします



16 [完了]をクリックします



「インターネット アカウント」ウィンドウの「メール」タブの中に、設定したアカウントが追加されます。

[プロパティ]をクリックすると、設定の確認、修正ができます。

[閉じる]をクリックすると、ウィンドウが閉じます。

「IBM インターネット接続サービス」の場合は、以下の設定を行ってください。

17 メールアカウントを選択し、[プロパティ]をクリックします

① ここを選びます。

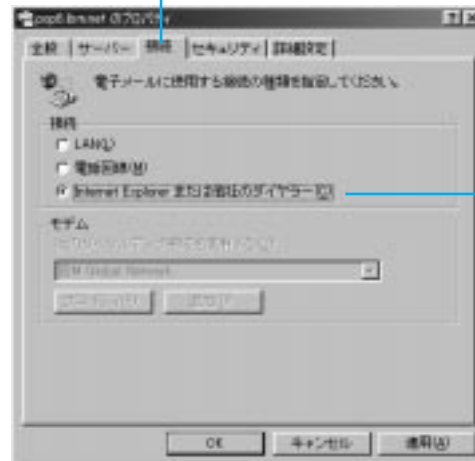


② このボタンをクリックします。

18 「接続」タブをクリックし、「接続」のところの「Internet Explorer または他社のダイヤラー」をクリックします

「IBM インターネット接続サービス」の場合、この設定は必ず行ってください。

① このタブをクリックします。



② ここをクリックします。

19 [適用]をクリックし、[OK]をクリックします

インターネットに接続するには

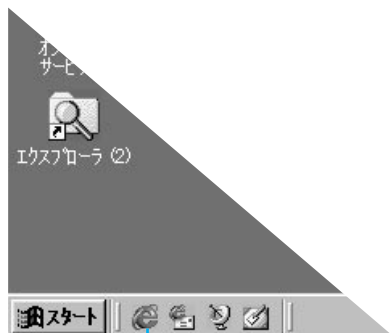
重要



「IBM インターネット接続サービス」の拡充、改変に伴って、表示される画面が一部変更される場合があります。

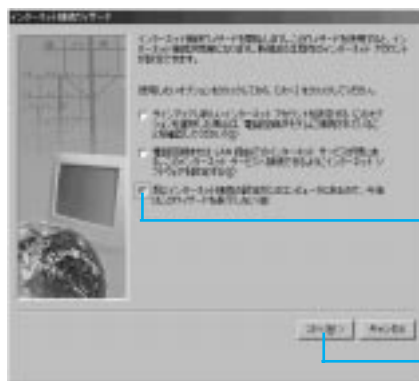
ユーザーIDとパスワードを取得したら、いよいよインターネットに接続です。インターネットの情報を見るためには、ブラウザと呼ばれるソフトウェアが必要です。ThinkPadには「Internet Explorer」がプリインストールされています。

1 タスクバーの「Internet Explorer」アイコンをクリックします



2 「既にインターネット接続の設定がこのコンピューターにあり、設定を変更しない」をクリックし、[次へ]をクリックします

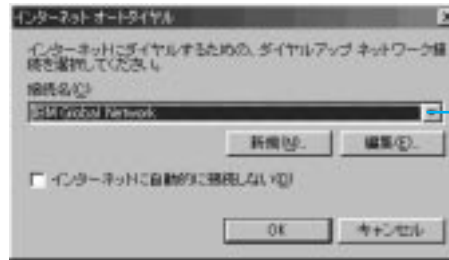
この画面は表示されない場合があります。



メッセージが表示され、ウィザードが終了します。

3 「インターネット オートダイヤル」の画面が表示されたら、接続名を「IBM Global Network」に設定し、[OK]をクリックします

この画面は、最初に起動したときのみ表示されます。



ここをクリックして、接続名を選びます。

4 ユーザー名（ユーザー ID）とパスワードを入力し、[接続]をクリックします



このボタンをクリックします。

インターネット接続サービスにつながると、ユーザー ID とパスワードが確認された後に接続のメッセージが表示されます。接続のメッセージが表示された後は Internet Explorer が使えるようになります。

ヒント



地球の形の「インターネット」アイコンをクリックすると、「IBM インターネット サイト」ウィンドウが表示されます。

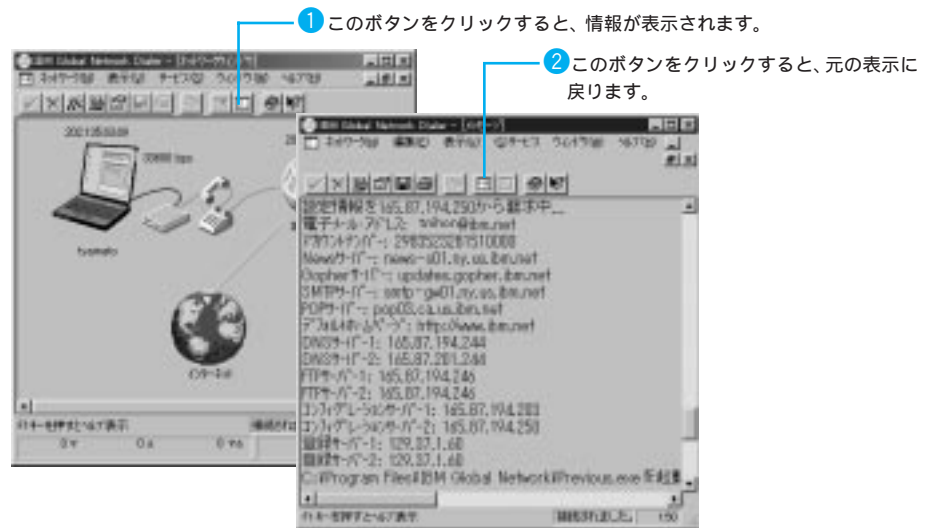


このまま、インターネットでネットサーフィンをする場合は、「インターネットを楽しもう」(P.126)に進んでください。

情報を表示するときは

接続後、「News サーバー」のアドレスなどの情報を表示するときは、「IBM Global Network Dialer」のツールバーにある右から3つ目のボタンをクリックします。

右から4つ目のボタンをクリックすると、元の表示に戻ります。



接続を終了するには

Internet Explorer を使い終わったら、接続を終了します。
終了のしかたは、次の手順で行います。

1 Internet Explorer を終了します

Internet Explorer のウィンドウ右上の [×] (閉じる) をクリックして、Internet Explorer を終了します。



重要



「IBM インターネット接続サービス」の拡充、改変に伴って、表示される画面が一部変更される場合があります。

2 「インターネット接続サービス」への接続を終了します

インターネット接続サービスへの接続を終了するには、ネットワークウィンドウにある **X** (切断) ボタンをクリックします。



このボタンをクリックします。

3 [はい] をクリックします



4 IBM Global Network Dialer ウィンドウ右上の[X] (閉じる) をクリックして終了します

インターネットを楽しもう

ここでは、Internet Explorer を使ってネットサーフィンをしてみましょう。

Internet Explorerはこうなっている

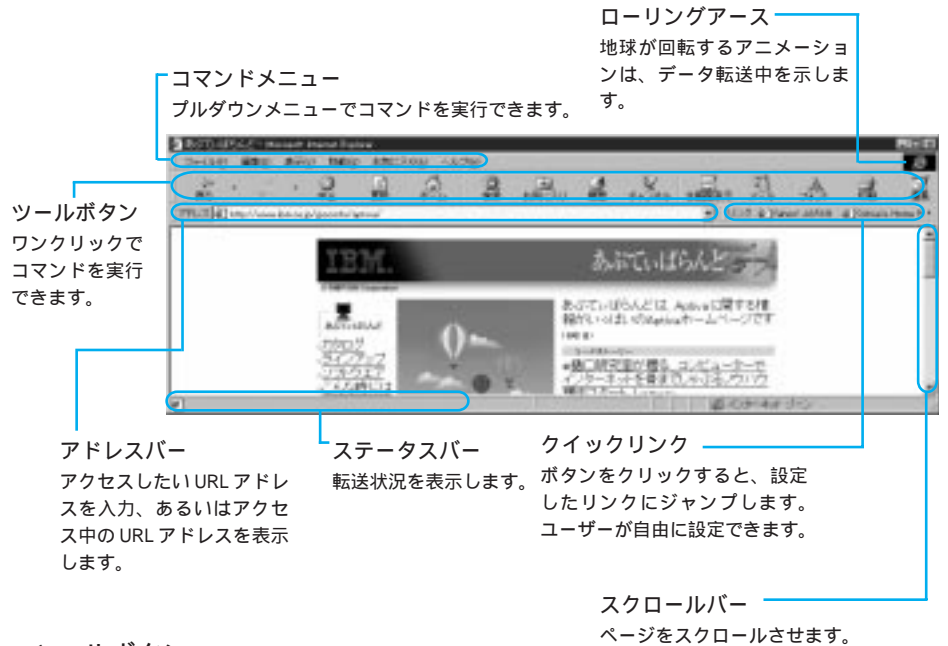
よく使う機能について簡単に説明します。

ヒント

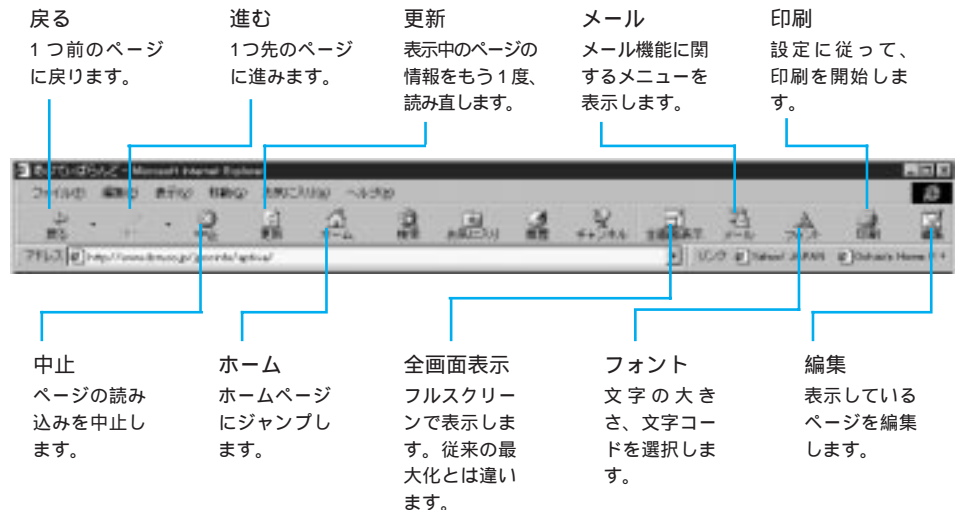


ThinkPadの機種や画面の設定によっては、右の方のツールボタンは表示されない場合があります。表示されていないツールボタンの表示は、コマンドメニューから実行することができます。

ウィンドウの各機能



ツールボタン



アドレスを指定してホームページを見るには

インターネット上のさまざまなホームページにアクセスするには、次のように行います。

- 1 マウスポインターを「アドレス」の欄に置いてクリックします
現在のアドレスが反転表示します。



ここをクリックすると、アドレスが反転表示になり、新しいアドレスを入力できる状態になります。

- 2 アクセスしたいホームページのアドレスを入力します

ここでは、「ThinkPad」のホームページ・アドレス
<http://www.ibm.co.jp/pc/thinkPad/> を入力してみましょう。
アドレスは必ず、半角文字で入力してください。

- 3 **(Enter)**キーを押します

ThinkPad のホームページ「ThinkPad らんど」が表示されます。



青い文字で書かれた部分や下線が入っている部分、絵の部分などは、他の情報にリンクしている可能性があります。マウス・ポインターをその部分に移動してみましょう。マウス・ポインターが手のマークに変わったら、そこからほかの情報へ飛ぶことができます。関連情報に次々にジャンプできるのは、ホームページの面白さの一つです。クリックしてほかの情報にジャンプしてみてください。

補 足

アドレス（URL）についてのヒント
おおよそのルールは、次のようになっています。

日本の企業・・・・・・・・・・・・ http://www. 企業名 .co.jp
（例： http://www.ibm.co.jp）

米国の企業・・・・・・・・・・・・ http://www. 企業名 .com
（例： http://www.ibm.com）

日本の団体・組織・・・・・・・・ http://www. 組織・団体名 .or.jp
（例： http://www.nhk.or.jp）

http://www. 組織・団体名 .ne.jp*

日本の大学、教育機関・・ http://www. 大学名 .ac.jp
（例： http://www.u-tokyo.ac.jp）

学校・・・・・・・・・・・・ http://www. 学校名 .edu
（例： http://www.stanford.edu）

* 従来、インターネット・プロバイダーやパソコン通信サービスのアドレスには、「or.jp」が割り当てられていましたが、新たに「ne.jp」が割り当てられるように変更されました。

「日本アイ・ビー・エム」のホームページ

Internet Explorerの「アドレス」のところに <http://www.ibm.co.jp/> と入力し、**(Enter)**キーを押すと、日本アイ・ビー・エムのホームページが表示されます。英字は必ず半角文字で入力してください。



「ThinkPadらんど」のホームページにある「日本IBM」をクリックしても、日本アイ・ビー・エムのホームページが表示されます。

検索サービスを使うには

膨大なインターネット情報の中から欲しい情報が掲載されているページを探し出す「検索ページ」を利用してみましょう。ここでは、代表的な「Yahoo(ヤフー)」を使って情報検索をしてみます。

1 Yahoo! のアドレス <http://www.yahoo.co.jp/> を入力し、**(Enter)**キーを押します

Yahoo! のメイン・ウィンドウが表示されます。



2 検索のためのキーワードを入力して、[検索] ボタンをクリックします

「Yahoo!」では、このようにキーワードで検索するほかに、画面の青字の項目を次々にクリックしながら、興味のある情報に近づいていくこともできます。「Yahoo!」以外にもいろいろな検索ページがあり、それぞれに特長があります。検索ページを上手に使うと、必要な情報を素早くたくさん集めることができるようになります。いろいろと試してみてください。

「お気に入り」に追加するには

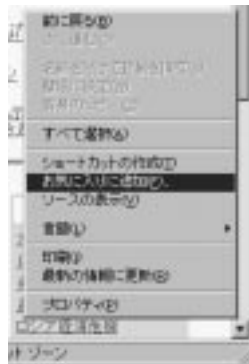
一度読み込んだページを「お気に入り」に追加することで、次回からはアドレスを指定しなくても、「お気に入り」リストからそのページを選ぶだけで読み込むことができます。

ページを「お気に入り」に追加すると、「お気に入り」リストにページの名前が登録されます。

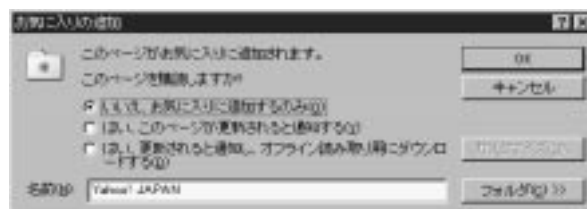
1 「お気に入り」に追加したいページを表示させます

2 ウィンドウのどこかで右クリックをし、表示されたメニューの中から「お気に入りに追加」を選んでクリックします

「お気に入り」リストに、現在表示されているページの名前が追加されます。



3 「お気に入りの追加」ウィンドウで [OK] をクリックします



電子メール (E-mail) を送ってみよう

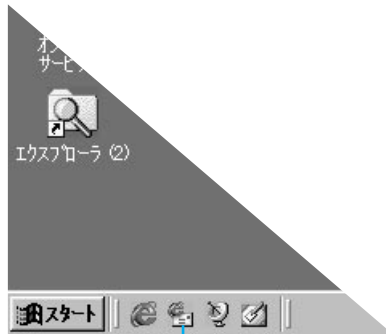
重要



電子メールには、いくつかのルールがあります。実際にメールを使用する前に、「はじめようThinkPadでインターネット」の中の『電子メールでコミュニケーション』を一度お読みください。

新規電子メールを送るには

1 タスクバーの「Outlook Express」アイコンをクリックします



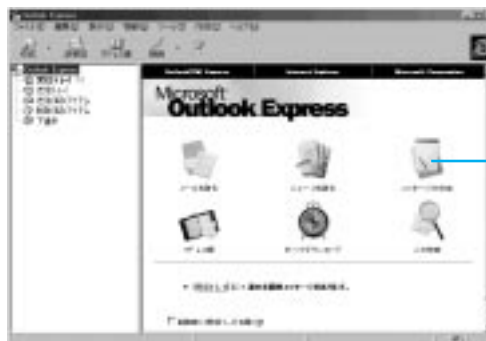
ここをクリックします。

2 「接続」ウィンドウが表示されたら、[キャンセル]をクリックします



このボタンをクリックします

3 スタート・ページの「メッセージの作成」をクリックします または、ツールボタンの [作成] をクリックします。



ここをクリックします。

重要



「IBM インターネット接続サービス」の拡充、改変に伴って、表示される画面が一部変更される場合があります。

4 メール宛先（アドレス）と件名を入力します



ここに宛先を入力します。

ここに件名を入力します。

補足

CCはカーボン・コピーの略で、参考として同じメールを別の人にも送りたいときに、ここにそのアドレスを入力します。

BCCはブラインド・カーボン・コピーの略で、CCと同じように参考コピーを送りますが、アドレスを表示しないで送信するため、他の誰に送信したのか明記されません。

5 本文を入力し、[送信]をクリックします

送信したメールは、[送受信]をクリックするまで「送信トレイ」に一時保存されます。

ここをクリックします。



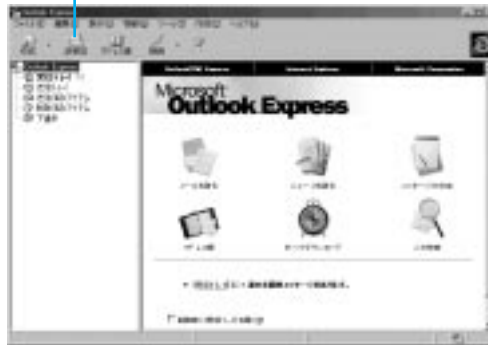
補足

複数のメールを作成した場合、あとでまとめて送ることができます。「ファイル」メニューから「後で送信する」を選んでクリックすると、メールが「送信トレイ」に保存されます。「送信トレイ」に保存されたメールを送信するには、[送受信]ボタンをクリックします。

電子メールを送受信するには

1 ツールボタンの [送受信] をクリックします

ここをクリックします。



重要



「IBM インターネット接続サービス」の拡充、改変に伴って、表示される画面が一部変更される場合があります。

2 「接続」ウィンドウが表示されたら、[接続] ボタンをクリックします

「IBM Global Network ダイアラー」が Outlook Express のウィンドウの後ろに隠れている場合は、タスクバーから選択して前面に表示させます。ダイヤルアップ接続が始まります。



接続後、メールの送信、受信が自動で行われます。

3 [切断] ボタンをクリックします

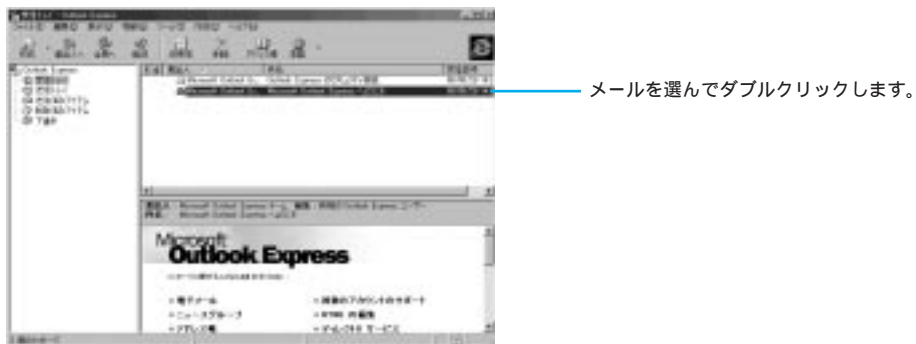
「IBM インターネット接続サービス」を利用している場合は、「IBM Global Network」で切断してください。(P.124)

受信した電子メールを読むには

- 1 スタート・ページの「メールを読む」をクリックします
または、フォルダー一覧から「受信トレイ」をクリックします。



- 2 読みたいメールを選んでダブルクリックします



ファックス、電話機能を使ってみよう

重要



ThinkPadには、「RingCentral Fax」が使える機種、「RingCentral」が使える機種、そしてそれ以外のファックス・ソフトウェアが使える機種があります。ご自分の機種に準備されているアプリケーションに合わせて、必要なところをお読みください。

ThinkPadを自宅の電話回線につなぐと、ThinkPadでファックスを送ったり、ファックスを受信したりできます。

家にファクシミリがなくても、ThinkPadを電話回線につなぐだけで、「RingCentral Fax(リングセントラル ファックス)」または「RingCentral(リングセントラル)」というアプリケーションがファックスの送受信を行ってくれます。

パソコンのファクシミリってどんなことができるの？

普通のファクシミリでは、紙に書いたものを送信して、受信するときもファクシミリ用紙に出力されます。「RingCentral Fax」および「RingCentral」は、ThinkPadのアプリケーションで作成した絵や文書のデータ・ファイルをそのままファクシミリのデータとして送ります。手紙や地図など、いったん作成したデータを保存しておけば、同じものを別の人に送ったり、また、ほかの人から受信したデータを保存して別の人に送ったりすることもできます。ThinkPadはペーパーレスのファクシミリといえるでしょう。



初めて使うときは

ファックス、電話機能を初めて使うときは、まずセットアップ(設定)を行います。一度セットアップを行えば、後は何もする必要はありません。設定した内容は、後で変更することもできます。

ファックス、電話機能を使うときは、まずセットアップ(設定)を行います。一度セットアップを行えば、後は何もする必要はありません。設定した内容は、後で変更することもできます。

RingCentral Faxの場合

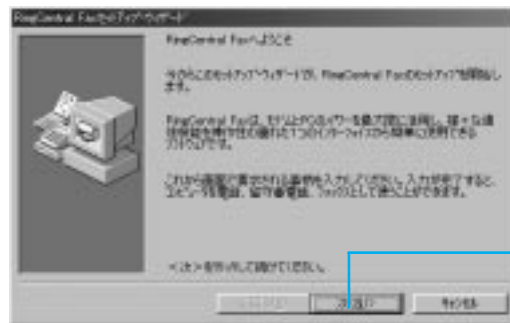
RingCentralをお使いの場合は、140ページをお読みください。

1 デスクトップの「RingCentral Fax」アイコンをダブルクリックします

「RingCentral Fax セットアップ・ウィザード」が表示されます。

2 [次]をクリックします

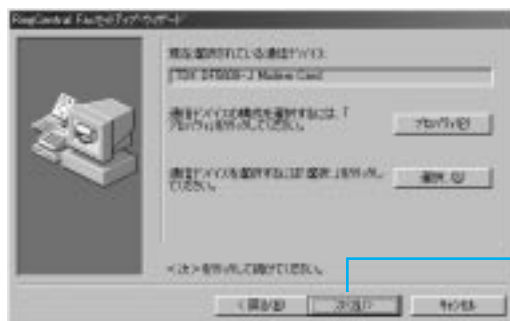
RingCentralがモデムの情報を取り込み、モデムを検出します。



3 現在ThinkPadにセットアップしてあるモデム名が表示されていることを確認し、[OK]をクリックします



4 [次]をクリックします



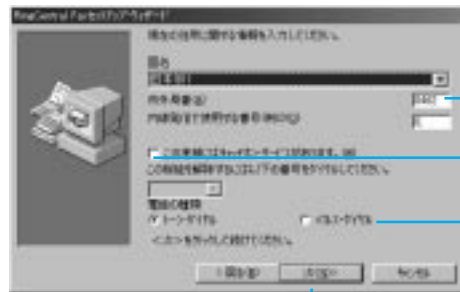
5 ファックス送信シートに表示する情報を入力し、[次]をクリックします
 ここで入力した情報は、ファックス送信シート(ファックス用の表紙)に表示されます。英数字は半角文字で入力してください。



画面は一例です。

入力後、このボタンをクリックします。

6 住所に関する情報を入力し、[次]をクリックします



英数半角文字で入力してください。

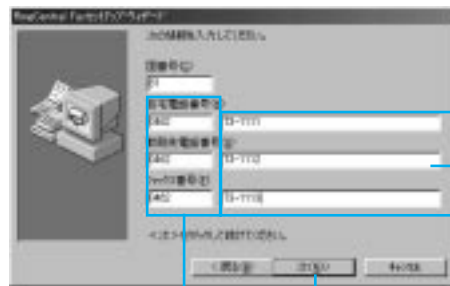
ここでいうキャッチホンは、日本国内で使われているものとは異なります。チェックマーク(v)が付いている場合は、ここをマウスでクリックして、チェックマークを外してください。

「トーン・ダイヤル」または「パルス・ダイヤル」を正しく設定してください。(回線については、P.98を参照してください。)

入力後、このボタンをクリックします。

7 電話番号などを入力し、[次]をクリックします

番号は、英数半角文字で入力してください。

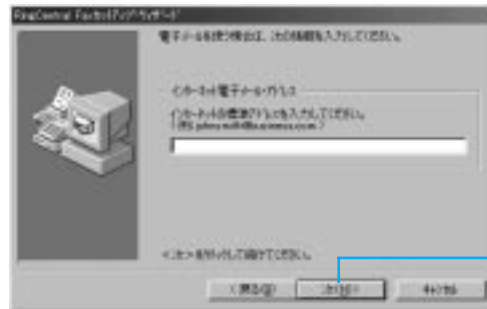


電話番号やファックス番号を入力します。

市外局番を入力します。

8 このまま [次] をクリックします

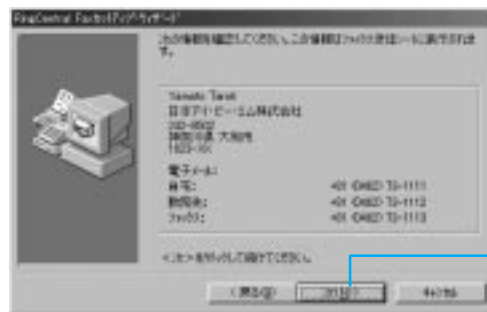
ここでは何も入力しないでください。



このボタンをクリックします。

9 今まで入力してきた情報を確認し、[次] をクリックします

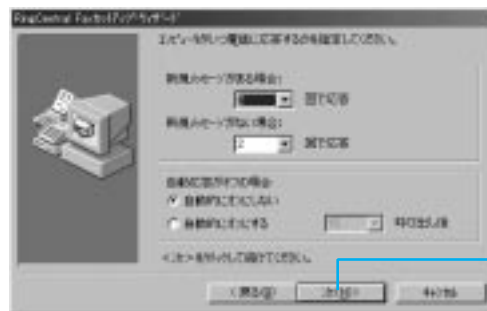
情報を修正する場合は [戻る] をクリックし、前の画面に戻して修正します。



このボタンをクリックします。

10 [次] をクリックします

設定は後で変更できます。



このボタンをクリックします。

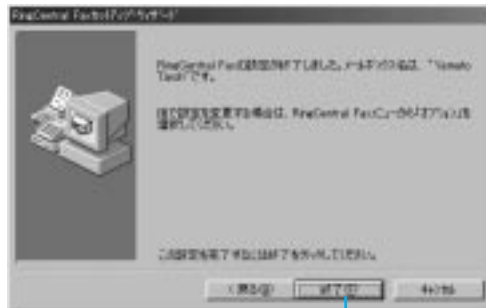
11 [次]をクリックします

スタートアップのフォルダーに追加すると、Windows 98を始動したときにリングセントラルが起動し、すぐに使うことができます。
設定は後でもできます。



必要なら「はい」をクリックします。

12 [終了]をクリックします



このボタンをクリックします。

重要



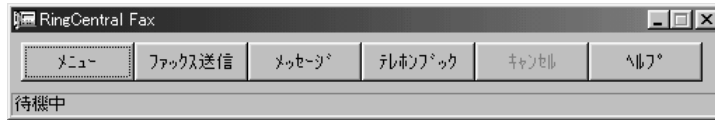
リングセントラル登録ウィザードは日本国内では使用できません。なお「キャンセル」しても10日後に再度表示されますので、もう一度「キャンセル」してください。

13 このウィンドウが表示された場合は、[キャンセル]をクリックします

RingCentral Faxのバージョンによっては、表示されない場合があります。



RingCentral Fax が起動し、メイン・ウィンドウが表示されます。



実際にファックスを送受信するためには、ここでいったん[メニュー]から「終了」をクリックして、RingCentral Fax を終了する必要があります。

次にRingCentral Faxを使うときは、デスクトップ上のRingCentral Faxアイコンをダブルクリックすると、このメイン・ウィンドウが表示されます。

以上で、はじめて使うときのセットアップはすべて完了しました。

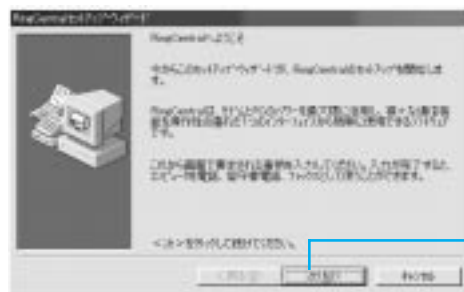
RingCentral の場合

RingCentral Fax をお使いの場合は、136 ページをお読みください。

1 デスクトップの「RingCentral」アイコンをダブルクリックします
「RingCentral セットアップ・ウィザード」が表示されます。

2 [次] をクリックします

RingCentral がモデムの情報を取り込み、モデムを検出します。



このボタンをクリックします。

重要



表示されるモデム名は、ThinkPadの機種によって異なります。

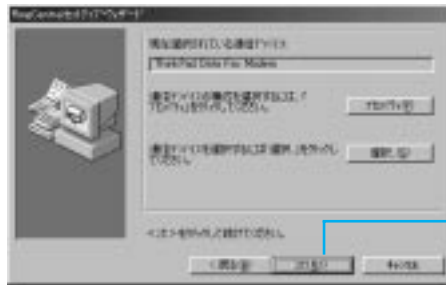
3 現在ThinkPadにセットアップしてあるモデム名が表示されていることを確認し、[OK]をクリックします



このボタンをクリックします。

4 [次]をクリックします

5 ファックス送信シートに表示する情報を入力し、[次]をクリックします
ここで入力した情報は、ファックス送信シート(ファックス用の表紙)に表示されます。英数字は半角文字で入力してください。



このボタンをクリックします。

ヒント



次の欄にカーソルを移すには、[Tab]キーを押します。少なくとも「姓」と「名」を入力しなければ、次へ進めません。



画面は一例です。

入力後、このボタンをクリックします。

6 住所に関する情報を入力し、[次]をクリックします

英数半角文字で入力してください。

ここでいうキャッチホンは、日本国内で使われているものとは異なります。チェックマーク(v)が付いている場合は、ここをマウスでクリックして、チェックマークを外してください。

「トーン・ダイヤル」または「パルス・ダイヤル」を正しく設定してください。(回線については、P.98を参照してください。)

入力後、このボタンをクリックします。

ヒント



空欄があっても構いませんが、少なくともいずれか一つの電話番号を入力しなければ、次へ進めません。

7 電話番号などを入力し、[次]をクリックします

番号は、英数半角文字で入力してください。

市外局番を入力します。

電話番号やファックス番号を入力します。

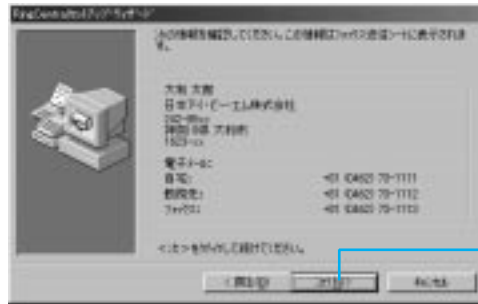
番号を入力すると[次]ボタンが表示されます。

8 このまま[次]をクリックします

ここでは何も入力しないでください。

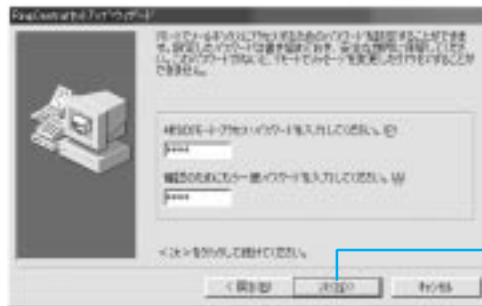
このボタンをクリックします。

- 9** 今まで入力してきた情報を確認し、[次]をクリックします
内容を訂正したい場合は[戻る]をクリックし、前の画面に戻します。



このボタンをクリックします。

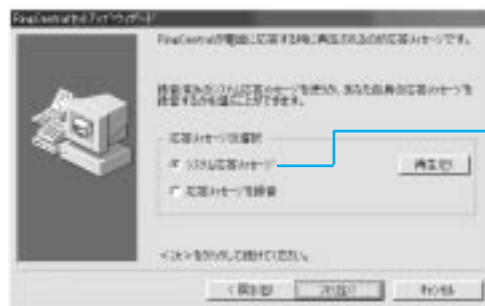
- 10** 外から操作したい場合は、数字で4桁のパスワードを2か所に入力して[次]をクリックし、外から操作する予定がない場合はそのまま[次]をクリックします



4桁のパスワードは英数半角文字で入力してください。
4桁のパスワードは、“0”からはじまるパスワードにしないでください。
また、パスワードは、生年月日や電話番号など、他人が簡単に推測できるようなものにならないでください。

このボタンをクリックします。

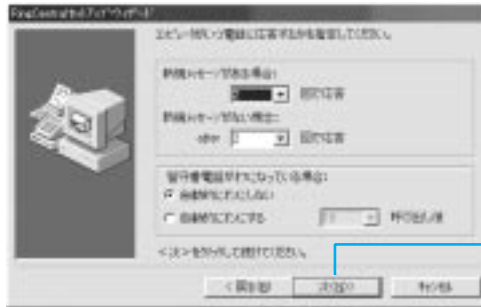
- 11** 「システム応答メッセージ」が選択されていることを確認して「次」をクリックします



この項目に黒丸印が付いています。付いていない場合は、クリックして黒丸印を付けてください。

12 [次]をクリックします

設定は後で変更できます。



このボタンをクリックします。

重要



スタートアップのフォルダーに追加すると、ThinkPadを電源オンするごとに自動的にRingCentralがスタートします。

13 [次]をクリックします

スタートアップのフォルダーに追加すると、Windows 98を起動したときにリングセントラルが起動し、すぐに使うことができます。

設定は後でもできます。



必要なら「はい」をクリックします。

14 [終了]をクリックします



このボタンをクリックします。

ヒント



アナログの内線にモデムを接続していて、「ダイヤル・トーンなし」のエラーになってしまう場合は、「メニュー」「設定」「オプション」「モデム」タブを順にクリックし、「ブランド・ダイヤリング」をクリックして、チェックマークを付けます。

RingCentral が起動し、メイン・ウィンドウが表示されます。



以上で、はじめて使うときのセットアップはすべて完了しました。

ファックスを送信してみよう

RingCentral Faxの場合

RingCentral をお使いの場合は、148 ページをお読みください。

RingCentral Fax のファックス送信機能を使ってファックスを送信してみましょう。通常は、送信する文書をワープロソフトなどで作成し、そのままワープロソフトの印刷機能を使ってファックスを送信します。

ここでは、Windows アプリケーションの「ワードパッド」を使って簡単な文書を作成し、ファックスを送信します。

1 「ワードパッド」を起動します

デスクトップ左下の [スタート] ボタンをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」にマウス・ポインターを置きます。続いて「ワードパッド」をクリックします。

2 送信する文書を入力します



ヒント



必要なら、「ファックス送信」ウィンドウを「キャンセル」ボタンをクリックしていったん終了し、ワードパッドの画面に戻って送信文書を修正することができます。

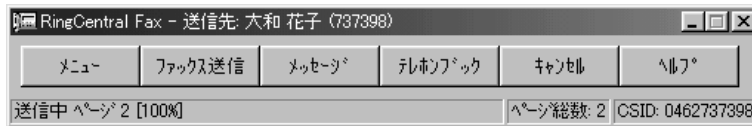
6 内容を確認し、[終了] ボタン をクリックして閉じます

このボタンをクリックします。



7 「ファックス送信」ウィンドウに戻ったら[ファックス送信] をクリックして、ファックスを送信します

しばらくすると、RingCentral Faxのメイン・ウィンドウが表示され、ファックスが無事に送信されたことを示します。



「送信中」の表示

ヒント



「はい」をクリックすると、作成した文書を「ファイル」として保存することもできます。

8 ワードパッドを終了します

「ワードパッド」ウィンドウの右上の[×]をクリックします。「・・・変更を保存しますか？」と表示されますので、ここで「いいえ」をクリックしてワードパッドを終了します。

補足

RingCentral Faxのメイン・ウィンドウで[メッセージ] をクリックし、「送信済み」タブをクリックすると、送信済みのファックスを一覧することができます。

RingCentralの場合

RingCentral Faxをお使いの場合は、145ページをお読みください。

RingCentralの「クイック・ファックス」を使ってファックスを送信してみましょう。クイック・ファックスとは、ファックス送信シート（ファックス用の表紙）1枚だけの簡単なファックスです。あらかじめ登録されているファックス送信シートのコメント欄に、送りたいコメントを入力して送信します。

1 メイン・ウィンドウで[クイック・ファックス]をクリックします



ここをクリックします。

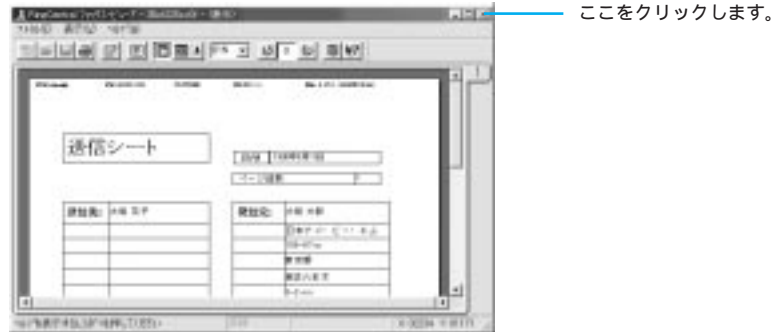
2 宛先名、FAX番号、ファックスの送信メッセージを入力し、[編集]をクリックします



入力後、ここをクリックします。

3 内容を確認したら [X] をクリックしてウィンドウを閉じます

内容を変更したい場合は、「ファックス送信」ウィンドウに戻ってから手直します。



4 [ファックス送信] をクリックします

送信中の画面が表示され、ファックスが送信されます。

ヒント



RingCentralの使い方について詳しくは「ヘルプ」を参照してください。ヘルプを表示するには、「メニュー」ボタンをクリックし、プルダウンメニューの「RingCentral」から「RingCentralヘルプ」をクリックします。



5 RingCentralを終了するには、右上の[X]をクリックし、「終了してよろしいですか」という質問に[はい]をクリックします

ファックスを受信しよう

RingCentral Faxの場合

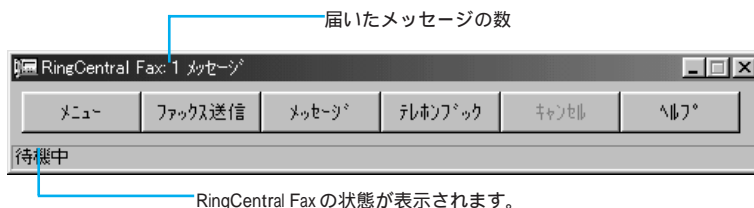
RingCentral をお使いの場合は、151 ページをお読みください。

RingCentral Faxが起動されていると、相手から送られてきたファックスを自動的に受信します。

ファックスを受信すると、RingCentral Faxのメイン・ウィンドウの下部に「受信中」と表示されて、ファックスが届いたことを知らせます。受信後は次のようにウィンドウの上部に、届いたメッセージの数が表示されます。

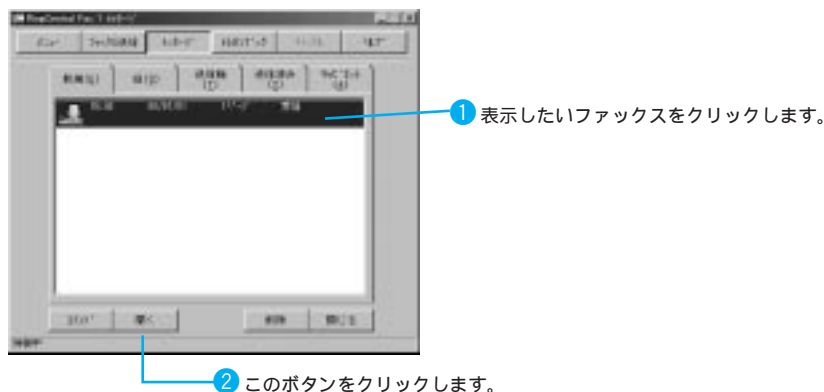
重要

「RingCentral Fax」を使ってFAXサービスなどの情報を手動受信することはできません。



届いたファックスを表示し、保存してみましょう。

- 1 メイン・ウィンドウで [メッセージ] をクリックします
- 2 複数届いている場合は表示したいファックスをクリックして選択し、[開く] をクリックします



3 読み終わったら、[終了] ボタンをクリックして閉じます

このボタンをクリックします。



読み終わったファックスは、「旧」タブをクリックするといつでも再表示することができます。メイン・ウィンドウのみの表示に戻るには[閉じる]をクリックします。

RingCentral の場合

RingCentral Fax をお使いの場合は、150 ページをお読みください。

ファックスの受信には、通常受信と手動受信があります。通常、RingCentral を起動していれば、相手から送られてきたものを自動的に受信します。手動受信では、自分でダイヤルして一般のファックス情報などを取り寄せることができます。

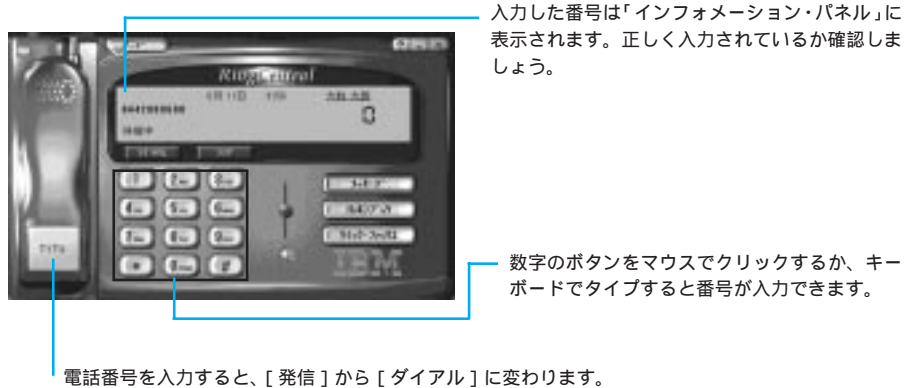
ここでは、IBM の FAX サービスに電話をして、ファックス情報を取り寄せてみましょう。

補 足

IBM FAX サービスは、IBM 製品の情報をファックスで提供しています。ファクシミリから IBM FAX サービスの電話番号 (044-200-8600) に電話し、コード番号を入力すればファックスを受信して情報を取り出せます。

1 メイン・ウィンドウで「0」「4」「4」「2」「0」「0」「8」「6」「0」「0」の順に、数字のボタンをクリックします

IBM FAXサービスの電話番号を、数字のボタンをマウスでクリックするか、またはキーボードでタイプして入力します。



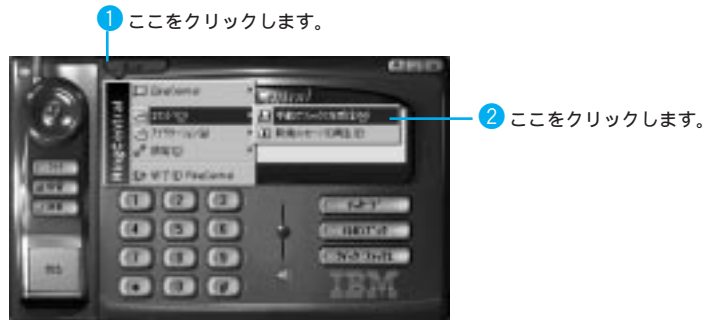
2 入力が終わったら、[ダイヤル]をクリックして電話をかけます

電話がつながると、「ご利用ありがとうございます...」というメッセージが聞こえてきます。

3 「操作方法がお分かりになる方は、...（中略）...ではどうぞ」というメッセージのあとに「ピッ」という発信音が聞こえたら、「1」「2」「#」をクリックします

4 次の「2つ目のコード番号と...（中略）...ではどうぞ」というメッセージのあとに「ピッ」という発信音が聞こえたら、「9」「#」をクリックします

5 「FAX送信を始めます。スタート・ボタンを押してください」というメッセージのあとに「ピッ」という発信音が聞こえたら、[メニュー]をクリックし、「コマンド」から「手動でファックスを受信」をクリックします



「受信中」の画面が表示され、「受信中ページ 1」に変わります。



受信が完了するとこの画面は消え、メイン・ウィンドウに戻ります。

受信したファックスを表示するには
 受信が終了したら、受信内容を確認しましょう。

1 メイン・ウィンドウの [メッセージ] ボタンをクリックします



2

2 受信したファックスにマウスポインターを合わせ、ダブルクリックします



ここをダブルクリックします。

「RingCentralファックス・エディター」が起動し、受信した内容を画面に表示します。

印刷する場合は、このボタンをクリックします。(プリンターが接続されている必要があります。)

画面いっぱい大きくして見ることができます。元に戻すときは、画面右上に表示されているこのアイコンと同じボタンをクリックします。



受信したファックスを回転させて表示します。

受信したファックスの表示を終了します。

受信したファックスを拡大/縮小して表示します。

表示される情報の内容は異なる場合があります。

3 右上の[×](閉じる)をクリックし、ファックス・エディターを終了します

一度画面に表示した受信ファックスは、「旧」フォルダーに入ります。再び内容を表示したいときは、「旧」フォルダーのタブをクリックし、表示したいものを選んでダブルクリックしてください。

4 ウィンドウ右下にある[閉じる]ボタンをクリックします

電話機能を使ってみよう（RingCentral）

注：この機能は、RingCentralのみでご使用いただけます。RingCentral Faxには、電話機能はありません。

電話をかける

ThinkPad で通常の電話のように、ダイヤルして通話することができます。

- 1 デスクトップの「RingCentral」アイコンをダブルクリックします
- 2 「待機中」のメッセージが表示されていることを確認し、RingCentralのダイヤルパッドの数字ボタンで相手の電話番号を順にクリックしていきます

ここでは、「1」「1」「7」に電話して時報を聞いてみましょう。

補足

間違えてダイヤルした場合は、[クリア]をクリックします。電話番号の一行を削除するときは[クリア]をクリックし、すべて削除するときはダブルクリックします。

ヒント



ThinkPad の内蔵マイクの位置は、機種によって異なります。詳しくは、「ユーザーズ・リファレンス」をお読みください。

- 3 入力が終わったら [ダイヤル] をクリックします

電話がつながると、マイクを使って通常の電話と同じように話することができます。ここでは、117の時報にダイヤルしたので、時報が聞こえます。



ここをクリックします。

補足

RingCentralの受話器のボタンは、電話がつながると[ダイヤル]から[切る]に変わります。

4 終了するときは、[切る]をクリックします

電話をうける

携帯電話など、別の番号から ThinkPad に電話をかけて応答してみましょう。

1 ThinkPadの電話番号に電話をかけます

電話がかかってくると、呼び出し音が鳴ります。

2 RingCentralの受話器のボタンが[応答]に変わるので、ここをクリックして会話を始めます

補足

このボタンは、待機中のときは[発信]、電話番号をダイヤルしているときは[ダイヤル]、電話が鳴っているときは[応答]に変わります。

3 終了するときは、[切る]をクリックします

留守番電話を使う

ThinkPad を留守番電話として使うことができます。留守録に残されたメッセージは保管しておくこともできます。

応答メッセージを設定するには

ThinkPad を留守番電話として使うには、まず応答メッセージを設定します。応答メッセージは初期設定としてすでに RingCentral に用意されているもの(システム応答メッセージ)がありますが、お客さまご自身の声を録音して独自のものを設定することもできます。

- 1 メイン・ウィンドウで[メニュー]をクリックし、「設定」から「応答メッセージ」をクリックします



- 2 [再生]をクリックし、現在選択されているシステム応答メッセージを聞いてみます

- 3 次のどちらかを選びます

A) このシステム応答メッセージを使う場合
ウィンドウ右下の [閉じる] をクリックします。

これで、応答メッセージの設定は完了です。

B) 応答メッセージを自分用のものに変える場合
[録音] をクリックし、キーボード右奥の内蔵マイクに向かって留守電の応答メッセージを録音します。



このボタンをクリックします。

メッセージの録音を終了したら [停止] をクリックします。
再生してメッセージを確認します。
[コマンド] から「デフォルト」をクリックし、録音したメッセージを留守電の応答メッセージとして設定します。



[閉じる] をクリックします。

これで、応答メッセージの設定は完了です。

留守番電話にセットするには

かかってきた電話に留守電が応答するように設定するには、次の手順で行います。

- 1 メイン・メニューで [メニュー] をクリックし、「設定」から「オプション」をクリックします
- 2 「応答」タブをクリックします
- 3 「応答オプション」欄から「留守番電話」を選び、[OK] をクリックします

これで留守番電話がセットされました。

留守番電話のメッセージを聞くには

留守中に録音されたメッセージを聞くには、次の手順で行います。

1 まず、別の電話(携帯電話など)からThinkPadに電話をかけて留守番電話にメッセージを録音します

メッセージが残されると、「待機中」の表示の右端にメッセージの数が点滅します。

2 メイン・メニューで[メッセージ]をクリックします



ここをクリックします。

3 「新規」タブのメッセージの中から再生したいメッセージをクリックして選び、[再生]をクリックします



1 ここをクリックします。いくつかメッセージが入っているときは、再生したいメッセージを選んでクリックします。

2 ここをクリックします。

メッセージの再生が終了すると、次のウィンドウが表示されます。必要なら相手の名前などをタイプして保存したり、保存する必要がないのなら[削除]をクリックして削除することもできます。



補足

RingCentralには、ほかにも便利な機能があります。詳しくは、[メニュー]をクリックして「RingCentral」から「RingCentralヘルプ」をクリックしてください。

4 終了したら [閉じる] をクリックします

赤外線通信を試してみよう

重要



ThinkPadの機種によっては、赤外線通信機能がない場合があります。

一般に、パソコン間でのデータのやり取りは、ディスクやMO(光磁気ディスク)、PCカードなどのメディア(媒体)を使うか、またはケーブルを使ってネットワーク経由で行います。そのようなメディアやケーブルを使わなくても無線でデータのやり取りができる画期的な通信方法、それが赤外線通信です。

全体の手順

ThinkPadには、赤外線ポートと赤外線通信用のソフトウェア「IntelliSync」(インテリシンク)がついています。ここでは、「IntelliSync」をインストールした2台のThinkPadを用意して、簡単な赤外線通信を試してみます。

全体の手順は、3つのパートに分かれます。

IntelliSyncを起動する (ステップ1～ステップ2)

相手ThinkPadとの接続を確認する (ステップ3～ステップ9)

簡単なファイル転送を行ってみる (ステップ10～ステップ8)


赤外線通信用アプリケーションを起動する

重要



ThinkPadの機種によっては、IntelliSyncの画面や操作が若干異なる場合があります。

まず、IntelliSyncを起動しましょう。

- 1 赤外線ポートが使える状態になっていることを次の手順で確認します
「スタート」「プログラム」「ThinkPad」「ThinkPad機能設定」を順に選択して、「ThinkPad機能設定」プログラムを開始します。
「赤外線ポート」アイコン()をクリックします。
「使用する」を選択してから、「設定」をクリックします。
必要があれば、画面の指示に従ってThinkPadを再起動します。
- 2 「スタート」「プログラム」「IntelliSync 97 for Windows」「IntelliSync 97 エージェント」を順次選択します。

相手 ThinkPad との接続を確認する

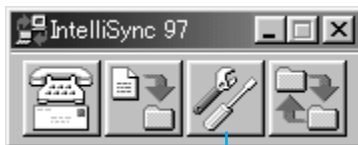
次に、相手 ThinkPad との接続を確認します。

- 3 [OK] をクリックします



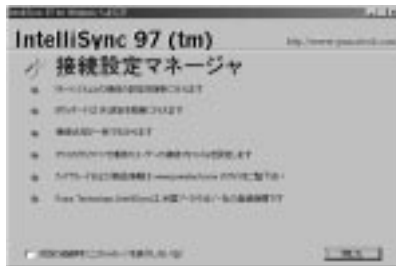
ランチャーウィンドウが表示されます

4 [接続設定マネージャー] ボタンをクリックします



このボタンをクリックします。

5 「閉じる」をクリックします



6 「リモート接続」タブをクリックします

このタブをクリックします。



重要

赤外線ポートの位置は、ThinkPadの機種により異なります。「ユーザーズ・ガイド」または「ユーザーズ・リファレンス」でご確認ください。

重要

2台のThinkPadの間に物を置かないでください。

7 相手 ThinkPad でも、同様にステップ **1** ~ **6** の操作を行います

8 2台の ThinkPad を、赤外線ポートが向き合った状態で置きます
正しく並ぶと、相手 ThinkPad の「コンピュータ名」や「接続状態」などが次のように表示されます。

自分の ThinkPad (ローカルシステムと呼ぶ) での表示



相手 ThinkPad (リモートシステムと呼ぶ) での表示

**補足**

表示されている「コンピュータ名」は、変更することができます。「接続設定マネージャ」ウィンドウの「識別」タブをクリックし、「コンピュータ名」欄を書き換えてください。



9 接続が確認されたら、[OK] をクリックして終了します

ThinkPad 間でファイルを転送してみる

いよいよ、データを転送してみましょう。

ここでは、自分の ThinkPad の Windows フォルダにある、「しゃぼん玉」という名前のビットマップファイルを、相手 ThinkPad の「My Document」フォルダにコピーしてみます。

10 IntelliSync のランチャーウィンドウを確認し、[ファイル転送] ボタンをクリックします



このボタンをクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



11 同様に、相手 ThinkPad でもステップ 10 の操作を行います

2 台が赤外線接続されると、次のようなウィンドウが両方に表示されます。



12 ウィンドウが自動的に消えるのを待つか、[OK]をクリックして閉じます

13 「ファイル転送ウィンドウ」の左側のフレーム上部の「リモートマシーン」の下の「アウトボックス」の **+** マークをクリックします

ここをクリックすると、**+** から **-** に表示が変わります

ヒント



このアウトボックスは相手 ThinkPadに通じる郵便ポストのような役目をもっています。



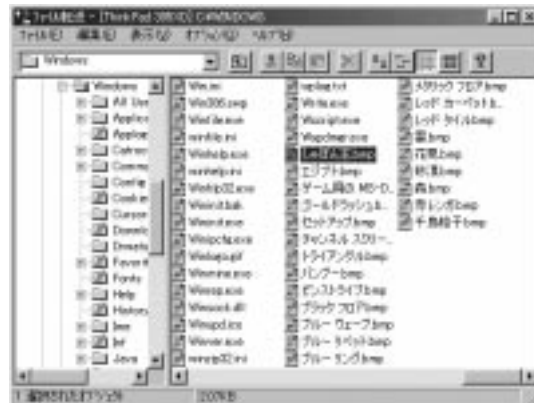
14 自分の ThinkPad のハードディスクにある任意のファイルやフォルダーをクリックして選択します

下の例では、「Windows」フォルダーにある「しゃぼん玉.bmp」というファイルを選択しています。(方法は、左側のフレームで「Windows」フォルダーをクリックし、右のフレーム右下の **▶** をクリックしたままにして「しゃぼん玉.bmp」を表示させ、これをクリックして反転表示させます。)

ヒント



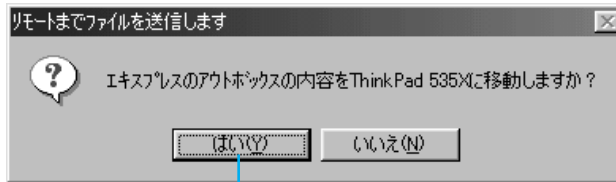
トラックポイントやマウスの操作に慣れていない方は、選択したファイルやフォルダーを、ステップ14で展開した相手 ThinkPadに通じるアウトボックス・フォルダーにドラッグ&ドロップします。



15 選択したファイルやフォルダーを「右」クリックし、「送る」「相手先パソコン名(ここでは、ThinkPad 535X)」をクリックします



16 「移動しますか?」という質問に、[はい]をクリックします コピーが開始されます。



このボタンをクリックします。

重要



この「ファイル転送」ウィンドウでは、Windowsの「エクスプローラ」などと似た操作が可能です。この画面からアプリケーションを開くことはできません。

17 相手ThinkPadで、左側フレームのリモートマシンのインボックスをクリックします

「しゃぼん玉.bmp」が表示され、ファイル転送が正しく行われたことを示します。



18 「しゃぼん玉.bmp」を左フレームの「My Document」フォルダーにドラッグ&ドロップでコピーします。



以上で、ファイル転送が終了しました。

補足

上記の操作では、アウトボックスとインボックスを使う手順を説明しましたが、「セキュリティ」設定機能を使用すると、お互いのパソコン内のすべてのフォルダやファイルを、「ファイル転送」ウィンドウで一覧することができます。まるで自分のパソコンのデータであるかのように自由自在に操作することができます。「セキュリティ」設定を変更するには、メニューバーの「オプション」「設定」をクリックし、表示された「設定」ウィンドウで「セキュリティ」タブをクリックします。「リソースアクセス」で「ドライブの詳細」を選択し、「ドライブ」と各ドライブの「アクセス権」を設定できます。「R/W」は読み書き可能、「R/O」は参照のみ可能を示します。



第 3 章

ThinkPad を管理しよう

起動ディスクを作っておこう	170
システム構成を保護しよう	173
システム構成を保護するプログラムをインストールするには	173
システム情報を管理するには	174
システム障害を回復させるには	175
ウイルスから ThinkPad を守ろう	176
ウイルス検知プログラムをインストールするには	176
ウイルスが見つかったときは	179
最新のウイルス情報を取得するには	180
IBM にお客様名を登録（ユーザー登録）しよう ...	181
修正プログラムを入手するには	186

起動ディスクを作っておこう

ここでは、Windows 98用の起動ディスクを作成します。起動ディスクは、何らかのトラブルでWindows 98が起動しなくなったときに、問題に対処するためのものです。次の手順に従って万一のときのために作成しておきましょう。

用意するもの：
・新しい2HDのディスク（フロッピーディスク） 2枚
・ディスク・ラベル 2枚

- 1 ディスケットラベルに「Windows 98 起動ディスク 1」、「Windows 98 起動ディスク 2」と書き、それぞれディスクに貼ります
- 2 デスクトップ左下の[スタート]ボタンをクリックし、表示されたメニューから「設定」「コントロールパネル」をクリックします



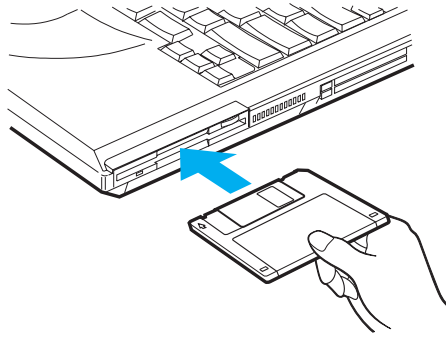
- 3 表示された「コントロールパネル」ウィンドウで、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします
- 4 「起動ディスク」タブをクリックします



このタブをクリックします。

5 「起動ディスク 1」のディスクレットをThinkPadのディスクレット・ドライブに差しこみます

奥まで入れると、カチッと音がします。



6 ウィンドウ内の「ディスク作成」をクリックします

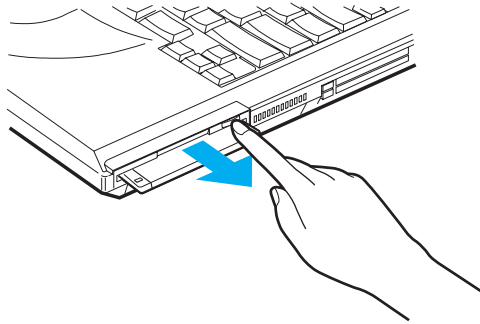
ディスクの作成が始まります。画面の指示に従って2枚のディスクを作成してください。



このボタンをクリックします。

7 ディスクの作成が完了し、完了を知らせる画面が表示されたら [OK] をクリックします

8 イジェクト・ボタンを押し、ディスクを取り出します
作成したディスクは大切に保管してください。



システム構成を保護しよう

ThinkPadに新しくアプリケーション・ソフトウェアをインストールしたり、ThinkPadに元から入っているソフトウェアを新しくしたことが原因で、ThinkPadがうまく動作しなくなる、または起動しないなどの問題が起きることがあります。「ConfigSafe」は、そのようなパソコンのシステム変更を追跡し、問題を解決するためのソフトウェアです。

システム構成を保護するプログラムをインストールするには

ThinkPadには、「ConfigSafe」のインストールプログラムが用意されています。次の手順に従ってインストールしましょう。

- 1 デスクトップの「ThinkPadの工具箱」アイコンをダブルクリックします
「Toolbox」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ConfigSafe インストール」アイコンをダブルクリックします
- 3 画面の指示に従います

いくつか画面表示されますので、内容を読みながら [OK] をクリックしてインストール作業を進めます。(基本的に、画面の指示通りにインストールします。) 最後に、次の画面で [完了] をクリックします。



- 4 [OK] をクリックします



システム情報を管理するには

プログラムのインストールで不具合が生じた場合など、オペレーション・システムに障害が起こることがあります。日頃から ConfigSafe を使って定期的にシステムの情報を保管しておくこと、過去の正常時にさかのぼって回復させることができます。

1 ConfigSafe を起動します

2 [管理] をクリックします

ヒント



ConfigSafe について詳しくは、[ヘルプ] をクリックしてください。



3 保存のスケジュールを設定したら、[OK] をクリックします

補足

保存のタイミングはコンピューターの使用頻度などで決めます。また [スナップショット] ボタンをクリックすると、管理の設定に関わらず、システム情報を保存します。アプリケーションをインストールする前に、システム情報を保存しておくことをお勧めします。

システム障害を回復させるには

- 1 ConfigSafe を起動します
- 2 [リストア] をクリックします



- 3 「スナップショット」から回復させたい日時のスナップショットを選び、[リストア] をクリックします



Windows で何らかの障害が発生すると、Windows は「Safe モード」で起動する場合があります。その場合は、Windows をそのまま Safe モードで起動させ、ConfigSafe を使ってシステム障害から回復させます。

- 4 Windows を再起動します

ウイルスから ThinkPad を守ろう

コンピューター・ウイルスとは、コンピューター内のファイルやプログラムに悪影響を及ぼすプログラムのことです。ウイルスのほとんどはいたずら半分で作成されたものですが、知らないうちにファイルが消去されたり、コンピューターの情報が書き換えられたりすることがあります。また、ウイルスは、ほかのプログラムとは異なり、ディスクなどのデータを自分のパソコンにコピーしたりするだけで、自分でも気付かないうちに感染してしまうものもあります。

ウイルス検知プログラムをインストールするには

重要



このプログラムを使用するうえでの注意事項については、ThinkPadに付属の「補足情報」を必ずお読みください。

機種によっては、「Norton AntiVirus」のバージョンが異なることがあります。その場合、表示される画面や操作手順は一部異なります。

ThinkPadにはウイルス検知プログラム「Norton AntiVirus」のインストールプログラムが用意されています。次の手順に従ってインストールしましょう。

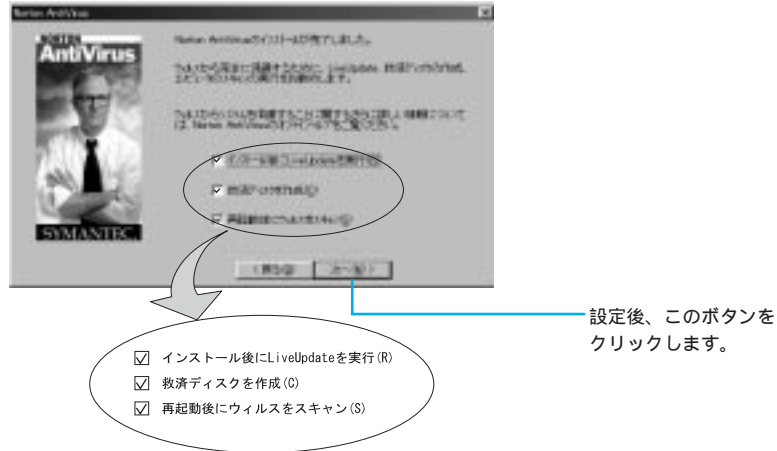
- 1 デスクトップの「ThinkPadの工具箱」アイコンをダブルクリックします
- 2 「Norton AntiVirus」アイコンをダブルクリックします
- 3 [次へ]をクリックします



- 4 いくつかのウィンドウが表示されますので、内容を読みながら [次へ] や [はい] をクリックしてインストール作業を進めます

基本的に、画面に表示される設定を変更する必要はありません。

5 このウィンドウで 、 の設定を行い、[次へ]をクリックします



「インストール後に LiveUpdate を実行」のチェック・ボックスをクリックして、チェック・マークを外します。

「LiveUpdate」とは、新しいウイルスを発見するために、モデムやインターネット経由で新しいウイルス情報を得る手段です。この機能を使うには、オンライン・マニュアルを参照してください。

オンライン・マニュアルを表示するには、デスクトップの[スタート]ボタン 「プログラム」 「Norton AntiVirus」 「Norton AntiVirus マニュアル」 「Norton AntiVirus ユーザーズ・リファレンス」をクリックします。

「救済ディスク」を作ります。

「救済ディスク」とは、ThinkPadがウイルスに感染して動作しなくなった場合に、ThinkPadを修復するためのディスクです。万一の場合に備えて、ここで作成しておくことをお勧めします。新しいディスクが3枚必要となります。

ここで作成しない場合は、「救済ディスクを作成」のチェック・ボックスをクリックしてチェック・マークを外します。

インストール完了後に改めて「救済ディスク」を作成するには、デスクトップの「スタート」ボタン 「プログラム」 「Norton AntiVirus」 「Rescue Disk」をクリックします。

6 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選ばれていることを確認し、[完了]をクリックします

7 内容を読み [OK] をクリックし、確認のウィンドウで再度 [OK] をクリックします



ウィルスのチェックが始まり、結果が表示されます。

8 [閉じる] をクリックします

9 [終了] をクリックし、AntiVirus を終了します

ヒント



この「Norton AntiVirus」のメインウィンドウで、今後ウィルスのスキャンなどを行うことができます。



ウィルス検知プログラムのインストールが完了しました。詳しい使いかたについては、Norton AntiVirus のオンライン・マニュアルを参照してください。

ウイルスが見つかったときは

Norton AntiVirus は、インストール時の設定のままで、ThinkPad 起動時に自動的に常駐し、ハードディスクやディスク内のウイルスのチェックを行います。

Norton AntiVirus がウイルスを発見したときは、次のようなウィンドウを表示します。ウィンドウの内容を確認し、修復する場合は、[R] キーを入力するとウイルスが取り除かれます。



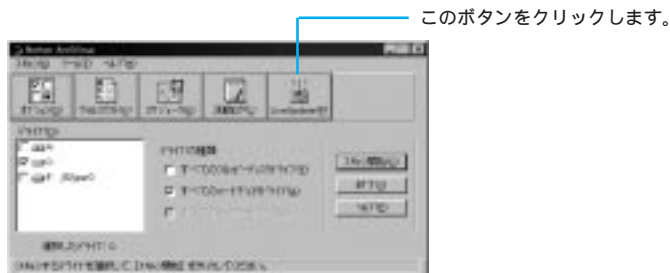
補足

「修復」は、ウイルスに感染しているファイルのウイルス部分を取り除きます。「削除」は、ウイルスに感染しているファイルのウイルス部分と正常部分の両方を取り除きます。普通は「修復」を選び、修復がうまく行かない場合は「削除」を選んでください。

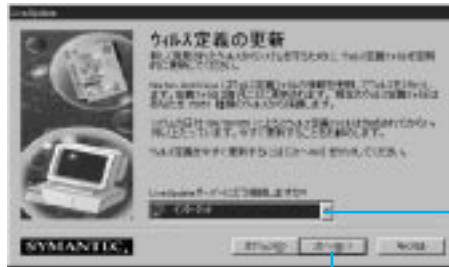
最新のウイルス情報を取得するには

ウイルスは新種のものが現れたり、進化したりします。これらに対応するために定期的に最新のウイルス情報を取得する必要があります。

1 Norton AntiVirus のメイン画面で [LiveUpdate] をクリックします



2 「LiveUpdate」ウィンドウのサーバーの接続のしかたで「インターネット」を選び、[次へ]をクリックします



① ここをクリックして「インターネット」を選びます。

② このボタンをクリックします。

インターネットに接続され、ウイルス定義の情報を入手し、更新されます。

3 [完了]をクリックします



4 インターネットの接続を終了させます

補足

この機能を利用するためには、既にインターネットの接続設定を完了している必要があります。

IBM にお客様名を登録（ユーザー登録）しよう

IBMでは、ThinkPadをお買い上げいただいたお客様にさまざまな情報やサービスをご提供するために、お客様名の登録をお願いしています。ここでは、お客様登録をオンラインで行う方法について説明します。

オンラインでお客様登録を始める前に、あらかじめインターネット接続サービスを行っているプロバイダーに登録（加入契約）して電子メール（E-mail）アドレスを取得されていることをお勧めします。

重要



オンラインで登録を行うには、セットアップしたモデムと電話回線（フリーダイヤル）を使います。（オンライン登録といえます。）

ThinkPadにモデムがセットアップされていないと、オンライン登録はできません。「モデムをセットアップしよう」（P.98）の手順に従ってモデムのセットアップを終了してください。

1 電話回線がつながっていることを確認します

2 デスクトップの「ThinkPadの工具箱」アイコンをダブルクリックします



Think Padの
工具箱

このアイコンをダブルクリックします。

3 「IBM お客様登録」アイコンをダブルクリックします



IBM お客様
登録

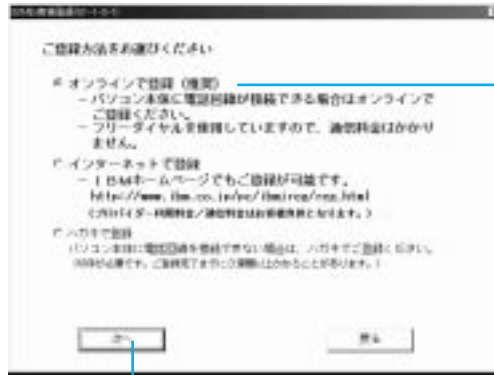
このアイコンをダブルクリックします。

4 [登録を行う] をクリックします



このボタンをクリックします。

5 「オンラインで登録」が選ばれていることを確認し、[次へ]をクリックします



この項目に黒丸印が付いています。

ここをクリックします。

ヒント



[後で行う]をクリックすると登録が中断され、Windows デスクトップに「IBM お客様登録」アイコンができます。そのアイコンをダブルクリックすると、中断したところから登録を再開することができます。

6 [次へ]をクリックします



このボタンをクリックします。

7 「今すぐお客様登録を行う」をクリックして選び、[次へ]をクリックします

8 数画面表示されるので、画面に従って進めていきます

9 必要な情報を入力し、[次へ]をクリックします

各項目に移るときは、キーボードのタブキーを押します。
英数字はすべて半角で入力してください。（番地は除く）

法人・団体名義の場合は管理番号をお知らせください。

姓(漢字) 大和 名(漢字) 大和
 姓(カナ) 大和 名(カナ) タロウ
 姓(ローマ字) YAMATO 名(ローマ字) TAROU
 性別 男性 女性 生年月日(西暦) 1990 年 5 月 11 日
 郵便番号 162-8502 (例: 303-8211) 郵便局名 中野郵便局
 住所 大和市中野町 番地 162-3-XX (例: 1-2-3)
 建物・部屋名
 電話番号 042-11-1111 (例: 03-3333-1234)
 FAX番号 042-11-1111 (例: 03-3333-5678)
 電子メール
 (追加のあもういちどご入力ください)
 電子メール
 今後IBMより種々の情報をお送りしてもよろしいですか? はい いいえ
 お客様番号 IBM PC製品のお客様登録番号(8桁の数字)です。 弊にお持ちの方のみご入力ください。

次へ 戻る 後で行う

ここは、例にならって全角で入力してください。
その他の英数字はすべて半角で入力してください。

10 続けて必要な情報を入力し、[次へ]をクリックします

英数字はすべて半角で入力してください。
機種名および機械番号は、ハイフン(-)なしの7桁で入力してください。

システム種類 (パソコンまたは周辺機器をご記入ください。)

機種名 C8050X (ハイフンなしの7桁 例: 2181101)
 機械番号 070000 (ハイフンなしの7桁 例: 971240)
 ディスプレイ (ディスプレイまたは周辺機器をご記入ください。)

*ディスプレイあるいはモデルをお買い上げの場合は必要ありません。
 機種名 (ハイフンなしの7桁 例: 09000H)
 機械番号 (ハイフンなしの7桁 例: 978101)
 購入年月日 1990 年 5 月 11 日
 購入店名 大和XXX 購入店所在地 大和町

次へ 戻る 2台以上購入 後で行う

11 情報が正しく入力されていることを確認したら、[次へ]をクリックします

内容を訂正したい場合は[戻る]をクリックし、前の画面に戻って訂正します。

IBMお客様登録画面1-1-1

下記の内容でお客様データを送信します。内容を修正したい場合は「戻る」をクリックして修正箇所を修正してください。

【姓漢字】	大和	【名漢字】	太郎
【姓カナ】	ヤマト	【名カナ】	タロウ
【姓ローマ字】	YAMATO	【名ローマ字】	TARO
【性別】	男性	【生年月日】	1985 年 1 月 1 日
【郵便番号】	242-0502	【郵便庁名】	神戸市東
【住所】	大和町下藤岡		
【番地】	1 5 2 3 - 1 1		
【建物名・部屋名】			
【電話番号】	0462-11-1111	【FAX番号】	0462-11-1111

[次へ] [戻る] [法人名確認] [終了]

12 情報が正しく入力されていることを確認したら、[送信]をクリックします

IBMお客様登録画面2-1-1-1

【電子メール】

【情報送信】

はい

【購入年月日】

1985 年 7 月 1 日

【購入店名】

IBM

【購入店所在地】

大和町

【システム設置】

【機種名】

2625M

【機種番号】

0712345

【ディスプレイ】

【機種名】

【機種番号】

【お客番号】

お使いの回線をお選びください

トーン パルス

外線接続にのみ利用を使う

社内などで登録・接続する際、必要に応じて必ずこの画面のみチェックしてください

[送信] [戻る] [2位以上の確認] [終了]

IBMのサーバーに接続してデータを送信し、登録します。フリーダイヤルで接続しているため電話料金はかかりません。

内線電話に接続する場合、「外線接続に 0 発信を使う」にチェック・マークをつけていても[送信]ボタンを押すと「電話回線が接続されているか確認してください」というメッセージが表示されることがあります。この場合、[後で行う]をクリックして登録をいったん終了し、次の設定を行ってください。

デスクトップの[スタート]ボタンから、「設定」「コントロールパネル」の順にクリックします。

「モデム」アイコンをダブルクリックし、「プロパティ」ボタン（「ダイヤルのプロパティ」ではありません）をクリックします。

「接続」タブをクリックし、「トーンを待ってからダイヤルする」をクリックしてチェック・マークを外します。

[OK]をクリックし、[閉じる]をクリックします。

もう一度、デスクトップの「IBM お客様登録」アイコンをダブルクリックして、[再開]をクリックします。

もし、上記の設定を行っても送信に失敗した場合は、外線に直接接続している電話回線につなぐか、またはハガキでご登録ください。

13 登録が完了し、「登録完了メッセージ表示画面」が表示されたら[終了]をクリックします



修正プログラムを入手するには

ソフトウェアやハードウェアの機能に修正や変更があったときなどは、「修正プログラム」として提供される場合があります。

修正プログラムは、インターネットやパソコン通信からダウンロードして入手することができます。

インターネットからダウンロードする場合

PC 関連のダウンロード

<http://www.ibm.co.jp/pc/home/download.html>

ハードウェア製品の修正およびサポート・プログラム (ThinkPad 用)

<http://www.ibm.co.jp/pccsvc/thinkpad.html>

ソフトウェア製品に対する修正プログラム(フィックスパック・ライブラリー)

<http://www.ibm.co.jp/aspc/fixpak.html>

パソコン通信からダウンロードする場合

NIFTY-Serve

「FIBMFEEL」 「データライブラリー」 7「日本IBM製品情報ライブラリー」

または 10「IBM PC SW 修正情報 日本語版 : DOS/Windows」

People

「IBM」 「PCSW 保守修正情報」 「日本語版修正情報ライブラリー」

または

「IBM」 「PC 修正プログラム」

IBM PC DOCK をご利用の場合

デバイス・ドライバーの提供 / インストール・サービスなどを有償にて行います。ご来店のうえ、ご相談ください。詳しくは、IBM FAX サービスの「コード番号 10024#」をお取り寄せのうえ、確認してください。

IBM PC ソフトウェア・サービスセンターをご利用の場合

一部の機種を除き、入手することができます。詳しくは、IBM FAX サービスの「コード番号 44#」をお取り寄せのうえ、確認してください。

第4章

故障かな?と思ったら

章目次 (トラブル一覧)	188
重大なトラブルとその対処について	191
トラブルの予防とウィルスについて	192
トラブルを解決するためのヒント	194
「困ったな」「どうしよう」の事例紹介	195
1. 起動時または終了時のトラブル	196
2. ディスプレイ関連のトラブル	198
3. キーボード関連のトラブル	199
4. トラックポイント (マウス) 関連のトラブル	201
5. スピーカー関連のトラブル	202
6. CD-ROM 関連のトラブル	203
7. ディスケット (フロッピーディスク) 関連のトラブル ...	205
8. ハードディスク関連のトラブル	207
9. プリンター関連のトラブル	208
10. PC カード / オプション関連のトラブル	209
11. Windows 98 関連のトラブル	210
12. アプリケーション関連のトラブル	214
13. 通信機能関連のトラブル	216
14. バッテリー関連のトラブル	226
15. その他のトラブル	227
トラブルが解決しないときは	230
トラブル・チェックシートについて	230
サポート体制について	230

章目次 (トラブル一覧)

重大なトラブルとその対処について	191
トラブルの予防とウイルスについて	192
トラブルを解決するためのヒント	194
「困ったな」「どうしよう」の事例紹介	195
1 . 起動時または終了時のトラブル	196
Q 1-1 電源スイッチを入れても起動しない	196
Q 1-2 いつもの Windows 98 の画面にならない	196
Q 1-3 省電力タイマーが機能しない	196
Q 1-4 [スタート] ボタンが表示されない	197
2 . ディスプレイ関連のトラブル	198
Q 2-1 電源スイッチを入れても画面が真っ暗のまま	198
Q 2-2 画面の色がにじんだようになる	198
Q 2-3 ちょっと席を外しているうちに画面が消えてしまった	198
3 . キーボード関連のトラブル	199
Q 3-1 キーボードのキーを押しても文字が表示されない	199
Q 3-2 日本語入力ができない	199
Q 3-3 押したキーと表示される文字が違う	199
Q 3-4 キーを 1 回しか押していないのに連続して文字が表示される	200
Q 3-5 日本語入力システムの切り替えと設定方法はどこで行うのか	200
4 . トラックポイント (マウス) 関連のトラブル	201
Q 4-1 トラックポイントを動かしても反応しない	201
Q 4-2 マウスが思うように動いてくれない (マウスを外付けしている場合)	201
Q 4-3 ダブルクリックがうまくできない	201
5 . スピーカー関連のトラブル	202
Q 5-1 スピーカーから音が出ない	202
Q 5-2 マイクロホンの音がスピーカーから出ない	202
Q 5-3 音の種類(WAV, MIDI)によって出る音と出ない音がある	202
Q 5-4 テレビやラジオの音が聞こえてくる	202
6 . CD-ROM 関連のトラブル	203
Q 6-1 CD-ROM が取り出せない (本体組み込み型の CD-ROM ドライブの場合)	203
Q 6-2 音や画像が再生されない	203
Q 6-3 動画データの再生がなめらかでない	204

7 . ディスケット (フロッピーディスク) 関連のトラブル	205
Q 7-1 ディスケットの内容が読めない	205
Q 7-2 大事なデータが入ったディスクをフォーマットしてしまった	205
Q 7-3 ディスケットに書き込めない	205
Q 7-4 ディスケットに飲み物をこぼしてしまった	206
8 . ハードディスク関連のトラブル	207
Q 8-1 ハードディスクを取り付けたが、認識されない	207
Q 8-2 領域確保できる容量がカタログに記載の値と違う	207
9 . プリンター関連のトラブル	208
Q 9-1 印刷できない	208
10 . PCカード / オプション関連のトラブル	209
Q 10-1 増設したがうまく動いてくれない	209
Q 10-2 どの製造元の機器が問題なのかわからない	209
11 . Windows 98 関連のトラブル	210
Q 11-1 Windows 98 の基本的な操作について知りたい	210
Q 11-2 うしろに隠れて見えなくなったウィンドウを表示するには	210
Q 11-3 ファイルが見つからない	210
Q 11-4 ファイルの拡張子が表示できない	210
Q 11-5 必要なファイルを消してしまった	210
Q 11-6 C:¥WINDOWS > _と表示される	211
Q 11-7 Windows パスワードを忘れてしまった	211
Q 11-8 「入力されたパスワードが間違っています」と表示される	211
Q 11-9 電源を入れると、「Safe モード」で起動する	212
Q 11-10 Windows 98 のセットアップ中に電源を切ってしまった	212
Q 11-11 Windows 98 のセットアップ中に ThinkPad が応答しなくなった	213
Q 11-12 名前や会社名の入力を間違えた	213
12 . アプリケーション関連のトラブル	214
Q 12-1 アプリケーションをインストールできない	214
Q 12-2 アプリケーションを削除したい	214
Q 12-3 電源を切ると先程まで入力していた文章がなくなる	214
Q 12-4 ThinkPad が応答しなくなったので強制終了したい	215
Q 12-5 DOS ゲームの画面から抜けられない	215
13 . 通信機能関連のトラブル	216
Q 13-1 ダイヤルできない	216
Q 13-2 モデム接続できない、またはスピードが上がらない	216
Q 13-3 「モデムを初期化できません」「モデムからの応答がありません」 などのエラーが表示される	217
Q 13-4 「モデムが使用中」「COM ポートは既に開かれています」 などのメッセージが表示される	219

Q 13-5	ダイヤルトーン（受話器を上げた時のプーっという音） が聞こえない、または「発信音が聞こえませんでしたというメッセージが表示される」	219
Q 13-6	モデムが電話をかけていない （プルルルルという電話をしている音が聞こえない）	220
Q 13-7	正しい番号に電話がかからない	221
Q 13-8	電話はかかっているが、プロバイダーの アクセスポイントが応答しない	221
Q 13-9	プロバイダーへ接続したが、すぐに切断される	222
Q 13-10	接続が突然切れてしまう	223
Q 13-11	接続速度が遅い、33.6Kbps 以下でしか接続できない	223
Q 13-12	「インターネットサイト XXXX を開けません。サーバーに接続できませんでした」というメッセージが表示されてホームページが表示されない	224
Q 13-13	「Not Found」「Error404」と書かれたホームページが表示される	225
Q 13-14	電子メールが送信できない / 受信できない	225
14.	バッテリー関連のトラブル	226
Q 14-1	フル充電したバッテリー・パックで ThinkPad が作動しない	226
15.	その他のトラブル	227
Q 15-1	停電になった	227
Q 15-2	キーボードに飲み物をこぼしてしまった	227
Q 15-3	海外で使用したい	227
Q 15-4	英語版のオペレーティング・システムを使いたい	228
Q 15-5	付属品の確認のしかた	228
Q 15-6	安全に使うために注意しなければならないこと	228
Q 15-7	付属品の接続方法が分からない	228
Q 15-8	付属のマニュアルをなくしてしまった	228
Q 15-9	『アプリケーション CD』 / 『リカバリー CD』を傷つけた ので交換してほしい	228
Q 15-10	ThinkPad のバッテリー・パックを廃棄したい	229
Q 15-11	ThinkPad のパスワードを使用したい	229
Q 15-12	使用している ThinkPad のお客様登録（ユーザー登録） の住所変更をしたい	229
	トラブルが解決しないときは	230
	トラブル・チェックシートについて	230
	サポート体制について	230

重大なトラブルとその対処について

ご使用中の ThinkPad や周辺機器などに、次のような異状を感じた場合は、以下の手順で対応してください。

異臭がする
手で触れないくらい熱い
煙が出る
異常な音がする

1. すぐに電源を切り、電源ケーブルや AC アダプターなどのプラグを電源コンセントから抜いてください。
2. IBM サービスセンターまでご連絡ください。

IBM サービスセンターの電話番号： 0120 - 20 - 5550
(フリーダイヤル)

受付時間：9:00-18:00 (日、祝日、12月30日～1月3日を除く)

ThinkPad を安全に正しくお使いいただくための注意事項を、製品に付属の『セットアップ・ガイド』に記載しています。ThinkPad をご使用になるときは必ず注意事項をお守りください。

トラブルの予防とウイルスについて

トラブルを予防するためのヒントを説明します。

1．電源のオン/オフを正しく行う

ThinkPad本体の電源のオン/オフの正しい方法については、本書の「ThinkPadの電源を入れてみよう」、「ThinkPadの操作を終了しよう」をお読みください。また、ThinkPadに周辺機器を接続している場合は、先に周辺機器の電源を入れてから、ThinkPadの電源を入れてください。

2．ファイルのバックアップを取る

ハードディスクには、Windows 98をはじめ、アプリケーションやアプリケーションを使って作成したファイルなどの大切なデータが保存されています。

万一トラブルが発生した場合、ハードディスク内のファイルは壊れたり消えてしまうことがあります。ハードディスクにインストール済みのアプリケーションは、製品に付属の『リカバリー CD-ROM』を使って工場出荷時の状態に復元することが可能です。作成したファイルは、ご自分でディスクなどなどにコピーを作成されていないかぎり復元することができません。万一の場合に備え、自分で作成したファイルを定期的にディスクなどなどにコピーするように心がけてください。

3．コンピューター・ウイルスから ThinkPad を守る

コンピューター・ウイルスは、コンピューター内のファイルやプログラムなどに悪影響を及ぼすプログラムのことです。知らないうちにファイルが消去されていたり、ハードディスクの情報が書き換えられたりすることがあります。

ウイルスを侵入させないためには

- パソコン通信などで見知らぬ人から送られてきたファイルに注意する
- ファイルまたはプログラムのコピーを入手した場合は、ウイルスのチェックがされていることを必ず確認する

表計算ソフトウェアやマクロ・ファイルなどが送られてきたときは必ずウイルスのチェックがされているか確認するとともに、使用する前に自分でもチェックする習慣をつけましょう。

- パソコンのウイルス検査を定期的に行う
ThinkPadには、ウイルスを検知するアンチウイルス・プログラムが用意されています。ウイルスの侵入を予防するために、本プログラムをシステムから削除（アンインストール）しないようにしてください。

ウイルスに感染した場合は

ウイルスが侵入した場合、次のようなことが起こります。

- 意味不明なメッセージやウイルスが侵入したことを知らせるメッセージなどが表示される
- ファイルが突然消去される
- ハードディスク上の情報が意味のないもの書き換えられる
- 画面に意味のないものが表示される

このようなことが起こった場合は、次のように対処してください。

1. 感染したファイルを削除します。
2. アプリケーションをオリジナル（ご購入時のCD-ROMまたはディスク）から再インストールします。
3. Windows 98 のデスクトップの「ごみ箱」を空にします。

補 足

コンピューター・ウイルスの被害届出 / 相談窓口として、次の公共機関が設置されています。

情報処理振興事業協会（IPA）

IPA コンピューターウイルス対策室（コンピューターウイルス 110 番）

電話番号：03-3433-4844

FAX 番号：03-3437-2537

IPA コンピューターセキュリティ対策ホームページ

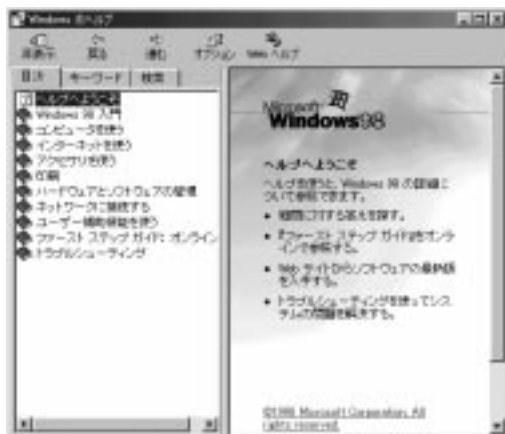
<http://www.ipa.go.jp/SECURITY/index-j.html>

トラブルを解決するためのヒント

Windows 98 のヘルプにはトラブル解決のためのツール「トラブルシューティング」が用意されています。トラブルが起きたら、「トラブルシューティング」を実行してみてください。

- 1 デスクトップ左下の[スタート]ボタンをクリックし、「ヘルプ」をクリックします

「Windows のヘルプ」ウィンドウが表示されます。



- 2 「目次」タブの中の「トラブルシューティング」をダブルクリックします

- 3 目的の項目をダブルクリックします



「困ったな」「どうしよう」の事例紹介

ここでは、弊社電話サポート窓口に寄せられた事例をもとに、トラブルが発生した場合の対応方法を、Q&A形式でまとめています。

また、インターネット上の弊社ホームページ (<http://www.ibm.co.jp/>) では、ここに紹介した事例のほかに、ダイヤルIBMやIBM PCヘルプセンターなどに比較的多く寄せられた質問と回答をまとめています。併せてご利用ください。

弊社ホームページ画面末尾の「お問い合わせ」をクリックして表示されるメニューから「お客様相談センターQ&A集へ」をクリックしてください。



1 . 起動時または終了時のトラブル

Q 1-1 電源スイッチを入れても起動しない

原因 1 輝度が暗くなりすぎています。

対処 輝度を調節してください。画面右の輝度つまみやキーボードの輝度調節キーで調節します。

原因 2 タコ足配線などにより電源の電圧が低くなっています。

対処 壁のコンセントに直接電源ケーブルを接続してください。

それでも画面に何も表示されない場合は、機器の故障が考えられます。購入元または IBM サービスセンターに相談してください。

Q 1-2 いつもの Windows 98 の画面にならない

症状 1 電源を入れると「Non System disk or disk error」と表示される。

原因 前回終了時に、ディスクをディスク・ドライブから抜くことを忘れて
います。

対処 ディスクを取り出して ThinkPad の電源を切り、しばらく待ってから電源
を入れ直してください。

症状 2 キーボード・エラーのエラーコードが表示される。

原因 キーボードのキーを押した状態で ThinkPad の電源を入れています。

対処 キーボードの上に本などがのっていないことを確認して電源スイッチを入れて
ください。

症状 3 メッセージコードが表示される。

原因 ThinkPad は電源を入れると自己診断機能が働きます。装置の追加変更を行った
ときや故障が見つかったときなどにメッセージやエラーコードを表示します。

対処 「Easy-Setup」などの自己診断プログラムを実行して故障があるかどうかを確認
してください。付属の「ユーザズ・ガイド」または「ユーザズ・リファ
レンス」をお読みください。

Q 1-3 省電力タイマーが機能しない

スクリーンセーバー、ディスプレイの省電力機能、CD-ROM の自動挿入、アプ
リケーションなどの自動保存の機能が働いています。これらの機能が働いてい
る場合は、省電力（サスペンドやスタンバイ）の状態が解除されます。

Q 1-4 [スタート] ボタンが表示されない

原因1 タスクバーの高さを低くしたために、表示されない状態になっています。

対処 次の手順でタスクバーの高さを広げて表示させてください。

1. マウス・ポインターを画面下に移動させます。
2. マウス・ポインターが上下の矢印(↓)に変わったら左ボタンで上方向にドラッグします。

原因2 タスクバーが「自動的に隠す」という設定に変更されています。

対処 常にタスクバーを表示させておきたい場合は、次のように行います。

1. マウス・ポインターをタスクバー上に移動し、マウスで右クリックします。
2. メニューの「プロパティ」をクリックします。
タスクバーのプロパティが表示されます。
3. 「自動的に隠す」のチェックボックスのチェックを外します。
4. [適用] をクリックし、[OK] をクリックしてウィンドウを閉じます。

2 . ディスプレイ関連のトラブル

Q 2-1 電源スイッチを入れても画面が真っ暗のまま

原因 ディスプレイの輝度が暗すぎます。

対処 輝度つまみ、またはキーボードの輝度調節キーで調節してください。

Q 2-2 画面の色がにじんだようになる

原因 強力な磁気を発生する電気製品が近くにあります。

対処 オーディオ機器のスピーカーなど強力な磁気を発生する電気製品からThinkPadを遠ざけてください。

Q 2-3 ちょっと席を外しているうちに画面が消えてしまった

原因 省電力機能によって画面の表示が一時停止しました。

対処 トラックポイントまたは(Fn)キーを操作すると、画面が再表示されます。

3 . キーボード関連のトラブル

Q 3-1 キーボードのキーを押しても文字が表示されない

原因 システムが処理中のため、キーボードまたはトラックポイントの操作を受け付けられません。

対処 処理が終わるまでしばらくお待ちください。

補 足


Windows 98がプログラムの処理をしているときは、マウス・ポインターが砂時計の形に変わっています。

Q 3-2 日本語入力ができない


原因 1 日本語入力システムが起動していません。

対処 次のどちらかの方法で、日本語入力システムを起動してください。

キーボードの (Alt) キーを押しながら (半角 / 全角) キーを押します。

タスクバーの「日本語入力インジケータ」アイコンをクリックして、「日本語入力 - オン」をクリックします。

原因 2 アプリケーションの機能的な制約があります。


対処 アプリケーションによっては、ウィンドウを切り替えるたびに、日本語入力システムを起動し直すように設計されているものがあります。日本語入力システムを起動させるには、キーボードの (Alt) キーを押しながら、(半角 / 全角) キーを押すか、タスクバーの「日本語入力インジケータ」アイコンをクリックして、「日本語入力 - オン」をクリックしてください。

Q 3-3 押したキーと表示される文字が違う

原因 1 日本語入力システムが起動していません。

対処 次のどちらかの方法で日本語入力システムを起動してください。

キーボードの (Alt) キーを押しながら (半角 / 全角) キーを押します。

タスクバーの「日本語入力インジケータ」アイコンをクリックして、「日本語入力 - オン」をクリックしてください。

原因2 日本語入力方式の設定と違った方法で文字入力をしようとしています。
対処 日本語の入力方式には「ローマ字」入力方式と「かな」入力方式の2種類があります。日本語入力システムが起動している状態で、キーボードの「A」を押して「あ」と表示されるのが「ローマ字」入力方式、「ち」と表示されるのが「かな」入力方式です。

デスクトップの[スタート]ボタンから「設定」「コントロールパネル」をクリックします。「キーボード」アイコンをダブルクリックし、「言語」タブから「プロパティ」をクリックして、日本語入力方式の設定を行います。なお、MS-IMEを使用している場合は(Alt)キーを押しながら(カタカナ/ひらがな)キーを押すと、「ローマ字」入力方式と「かな」入力方式を切り替えることができます。

原因3 MS-IMEの仕様によって、押したキーと表示されるものが異なる場合があります。
対処 日本語入力システムが起動している状態で、「きごう」と入力し、(変換)キーを数度押してください。記号の一覧が表示されます。「かっこ」と入力し変換することで、いろいろな種類のカッコを表示させることができます。「から」と入力し「変換」すると「~」(全角)を表示することができます。英数の半角文字を入力できる状態にして、(Shift)キーと(^)キーを同時に押すと、「」(チルダ)を表示することができます。

Q 3-4 キーを1回しか押していないのに連続して文字が表示される

原因 キーボードは一定時間押し続けると、そのキーの文字を連続して入力するようになっています。

対処 デスクトップの[スタート]ボタンから「設定」「コントロールパネル」をクリックします。「キーボード」アイコンをダブルクリックし、「速度」タブをクリックし、入力した文字を表示するまでの待ち時間や、表示の間隔などを変更します。ご自分のキータッチにあった設定に調節してください。

Q 3-5 日本語入力システムの切り替えと設定方法はどこで行うのか

対処 日本語入力システムの切り替えは、デスクトップの[スタート]ボタンから「設定」「コントロールパネル」をクリックします。「キーボード」アイコンをダブルクリックし、「言語」タブをクリックして設定します。

4 . トラックポイント（マウス）関連のトラブル

Q 4-1 トラックポイントを動かしても反応しない

原因 Windows 98がプログラムの処理をしているため、キー入力やマウスの操作を受け付けられません。

対処 処理が終わるまでしばらくお待ちください。

補 足

Windows 98がプログラムの処理を実行しているときは、マウス・ポインターが砂時計の形に変わっています。

Q 4-2 マウスが思うように動いてくれない（マウスを外付けしている場合）

原因 マウスの内部が汚れている可能性があります。

対処 マウス裏面の丸いボール（ローラー）が入っている部分の蓋を開け、内部にホコリがたまっていないか確認してください。ローラーを水または中性洗剤で洗うと効果があります。


Q 4-3 ダブルクリックがうまくできない

対処 デスクトップの[スタート]ボタンから「設定」「コントロールパネル」をクリックし、「マウス」アイコンをダブルクリックして「マウスのプロパティ」ウィンドウを表示します。「ボタン」のページでダブルクリックの速度を変更してください。ご自分のクリック速度に調節することで、ダブルクリックがしやすくなります。

5 . スピーカー関連のトラブル

Q 5-1 スピーカーから音が出ない


原因 1 音量調節のボリュームが最低のレベルになっています。

対処 ThinkPadの音量調節つまみやキーボードの音量調節キーを使って調節してください。または、タスクバーの「スピーカ」アイコンをダブルクリックし、表示されたウィンドウで音量を調節してください。


原因 2 外付けスピーカーの場合、スピーカーのケーブルが本体と接続されていません。製品またはスピーカーに付属のマニュアルを参照して接続を確認してください。

Q 5-2 マイクロホンの音がスピーカーから出ない

原因 ボリュームがしぼられている可能性があります。

対処 外付けスピーカーの音量調節つまみを回して適当な音量に調節してください。または、タスクバーの「スピーカ」アイコンをダブルクリックし、表示されたウィンドウで音量を調節してください。

Q 5-3 音の種類 (WAV , MIDI) によって出る音と出ない音がある

対処 タスクバーの「スピーカ」アイコンをダブルクリックし、表示されたウィンドウで各コントロールにあるミュートを確認してください。

Q 5-4 テレビやラジオの音が聞こえてくる

対処 電話線を接続したThinkPadからテレビやラジオの音が聞こえてくる現象は、電話ケーブルにノイズ除去用部品を取り付けると解決する場合があります。電話ケーブルを延長をしている場合は、付属の電話ケーブルのみを使用して確認してください。

それでも解決できない場合は、電話回線自体がノイズを拾っている可能性があります。NTTに相談してください。

補 足

テレビやラジオなどのオーディオ機器にノイズが入る場合は、ThinkPadをオーディオ機器から遠ざけてください。

6 . CD-ROM 関連のトラブル

Q 6-1 CD-ROM が取り出せない (本体組み込み型の CD-ROM ドライブの場合)

- 原因 本体の電源が切れています。
- 対処 本体の電源を切る前に CD-ROM イジェクト・ボタンを押し、中の CD-ROM を取り出してください。機種によっては、本体の電源が切れている状態では、CD-ROM トレイの出し入れはできません。

補 足

CD-ROM ドライブのイジェクト・ボタンのそばに、直径 1 mm 程の小さな穴があります。この穴は、CD-ROM ドライブが故障した場合などに、中の CD-ROM を取り出すためのものです。細い針金などを差し込んで押し、CD-ROM を取り出せる場合があります。この操作は、非常時の操作ですので通常はご使用にならないでください。また、シャープ・ペンシルなどの芯はご使用にならないでください。芯が折れて、詰まる場合があります。

Q 6-2 音や画像が再生されない

- 原因 1 CD-ROM の裏表を逆さまに挿入しています。
- 対処 CD-ROM のセットは絵や文字が印刷されているタイトル面を上にしてセットしてください。
- 原因 2 CD-ROM が汚れています。
- 対処 CD-ROM が汚れている場合は、市販の CD-ROM クリーナーで汚れを落としてください。軽い汚れの場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使用してください。



CD-ROM の記録面には手を触れないでください。また、記録面およびタイトル面にボールペンなどで文字などを書き込まないでください。

- 原因 3 CD-ROM が傷ついているか、反っているか、割れています。
- 対処 傷が深くついていたたり、反っていたり、割れていたりする CD-ROM は使用できません。

補 足

製品に付属の『アプリケーションCD-ROM』や『リカバリーCD-ROM』を破損し、交換を希望する場合は、IBM FAXサービス（044-200-8600）から申し込み用紙を取り寄せてください。なお、紛失した場合は交換できません。IBM FAXサービスについて詳しくは、製品に付属の『IBMサービスのご案内』をお読みください。

この件に関しては、次に示すコード番号をご利用ください。（変更される場合がありますのでご注意ください。）

440274 『バックアップCDおよびRecovery CD有償交換お申込みガイド』
440308 『バックアップCDおよびRecovery CD複製用ディスクットお申込みガイド』

最新のFAXサービスのコード番号は、<http://www.ibm.co.jp/as/faxsup.html>で参照できます。

原因 4 ThinkPadのCD-ROMドライブ、または付属の外付けCD-ROMドライブで使用できないCD-ROMを使用しています。

対処 Windows 98に対応したCD-ROMを使用してください。

Q 6-3 動画データの再生がなめらかでない

原因 1 再生中に他のアプリケーションを実行しています。

対処 動画データの再生は、システムに非常に大きな負荷を与えます。同時に実行している他のアプリケーションを終了してください。

原因 2 動画データを再生中に、ウィンドウの操作をしました。

対処 動画データを再生中にウィンドウの大きさや位置を変えることは、システムにさらに大きな負荷を与え、画像がなめらかに再生されない原因になります。

7. ディスケット（フロッピーディスク）関連のトラブル

Q7-1 ディスケットの内容が読めない

- 原因1 フォーマットされていないディスクがセットされています。
 対処 フォーマット（初期化）を行うか、フォーマット済みのディスクをご購入ください。フォーマット済みのディスクを購入するときは、DOS/V用にフォーマットしたものを選んでください。
- 原因2 ディスケットの内容が壊れています。
 対処 この場合、復旧はできません。このような場合に備えて、重要なデータを保存したディスクは、バックアップを取るよう心がけてください。
- 原因3 ディスケットの挿入方向が間違っています。
 対処 ラベルの貼られた方を手前上向きにし、ディスク・ドライブの奥まで入れてください。方向を間違えると、ディスクはドライブに入りません。
- 原因4 ディスク・ドライブのヘッドが汚れています。
 対処 市販のクリーニング用ディスクを使ってヘッドをクリーニングしてください。クリーニング・ディスクについては、販売店にお問い合わせください。

Q7-2 大事なデータが入ったディスクをフォーマットしてしまった

- 対処 ディスクをフォーマット（初期化）すると、書き込まれているデータはすべて消去されます。大切なデータの入ったディスクは、ディスクの書き込み禁止スイッチを「書き込み不可」の位置にして保管してください。

Q7-3 ディスケットに書き込めない

- 原因 ディスク裏面の書き込み禁止スイッチが「書き込み不可」の位置になっています。
 対処 書き込み禁止スイッチを「書き込み可」の位置にすると、書き込みができるようになります。書き込みする場合は、ディスクの内容を再度確認してから行ってください。



外付けディスク・ドライブの場合、モデルによっては、外付けディスク・ドライブを接続してからシステムの電源を入れないと、接続したドライブが認識されない場合があります。

Q 7-4 ディスケットに飲み物をこぼしてしまった

対処 本体の故障の原因となるため、汚れたディスクは使わないでください。保存していたデータが使えなくなってしまった場合に備えて、バックアップを取っておくようにしましょう。



ThinkPad では、お客様の過失により機器が破損した場合の修理 / 交換を行う特別な保証サービス『安心パックEMS』を提供しています。詳しくは、製品に付属の「IBM サービスのご案内」をお読みください。

8 . ハードディスク関連のトラブル

Q 8-1 ハードディスクを取り付けたが、認識されない

原因
対処

交換または新しく取り付けたハードディスクはそのままでは使用できません。FDISKコマンドで区画を作成し、確保した区画をフォーマット(初期化)してください。

FDISKコマンドは、MS-DOSプロンプト([スタート]「プログラム」「MS-DOSプロンプト」で表示)で実行します。

```
C:¥WINDOWS> FDISK
```

と入力して **Enter** キーを押してください。FDISKメニューが起動します。

重要



既存の区画を削除/変更するとファイルがすべて消去されます。FDISKコマンドを実行する前に必ず必要なファイルをディスクなどにコピーしてください。

補足

FDISKメニューからMS-DOSプロンプトへ抜けるには **Esc** キーを押してください。MS-DOSプロンプトからWindows98へ戻るには

```
C:¥WINDOWS> EXIT
```

と入力して **Enter** キーを押してください。

Q 8-2 領域確保できる容量がカタログに記載の値と違う

換算方法の違いによって容量が少なく表示されるように見えますが、故障ではありません。カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1メガバイト=1,000,000バイトで計算している場合があります。これに対し、ハードディスクを領域確保する際には、1メガバイト=1,048,576バイト(1,024×1,024)で計算するため、このような差異が生じます。

9 . プリンター関連のトラブル

Q 9-1 印刷できない

原因 1 プリンターが印刷可能（オンライン）の状態になっていません。

対処 プリンターの電源を入れてください。

また、プリンターの「印刷可」や「オンライン」などの表示を確認してください。

原因 2 プリンター・ドライバーがインストールされていません。

対処 新しくプリンターを接続した場合は、プリンター・ドライバーをインストールする必要があります。詳しくは、プリンターに付属のマニュアルをお読みください。

原因 3 プリンターの設定に問題があります。

対処 プリンターに付属のマニュアルを参照して設定を確認してください。

設定確認後、プリンターに通常用意されているテスト印字機能を使って、印刷チェックをしてください。

テスト印字の一般的な手順は次のとおりです。

1. デスクトップの [スタート] ボタンから「設定」 「プリンタ」をクリックしてプリンター・フォルダ - を開きます。
2. 使用しているプリンターのアイコンを右ボタンでクリックします。
3. 表示されるメニューで、「通常使うプリンタ」にチェックを付けます。
4. メニューから「プロパティ」を選びます。インストールしたプリンター・ドライバーのプロパティが表示されます。
5. 「情報」ページの [テスト印字] をクリックしてテスト印字を行います。

それでも問題が解決しない場合は、プリンターのセットアップをやり直してください。

1. デスクトップの [スタート] ボタンから「設定」 「プリンタ」をクリックしてプリンター・フォルダを開きます。
2. 問題があるプリンターのアイコンをクリックします。
3. メニューバーで「ファイル」 「削除」をクリックして問題のあるプリンターを削除します。
4. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックし、プリンターを新たにセットアップします。

以降の操作については、画面に表示されるメッセージおよびプリンターに付属のマニュアルに従ってください。

10 . PC カード / オプション関連のトラブル

Q 10-1 増設したがうまく動いてくれない

原因 1 本体と周辺機器 / オプション・カードが正しく接続されていません。

対処 製品に付属の『リファレンス・ガイド』および周辺機器 / オプション・カードに付属のマニュアルを参考にして、取り付け / 接続方法、設定方法を確認してください。

原因 2 割り込みレベルなどの設定が間違っています。

対処 周辺機器 / オプション・カードの中には、ThinkPadに取り付けるときにシステム割り込み要求 (IRQ)、I/Oポート・アドレス、DMAチャンネル、メモリー領域の設定が必要となるものがあります。工場出荷時のシステム割り込み要求 (IRQ)、I/Oポート・アドレス、DMAチャンネル、メモリー領域の本体での使用状況などは、製品に付属のマニュアルにその調べ方が説明されています。周辺機器 / オプション・カードのマニュアルと共に読みいただき、本体または周辺機器 / オプション・カードの設定で、競合しないように変更してください。

原因 3 周辺機器 / オプション・カードの設定が間違っています。

対処 周辺機器 / オプション・カードによっては、周辺機器 / オプション・カードの設定スイッチの変更が必要な場合や、デバイス・ドライバーなどのインストールが必要な場合があります。周辺機器 / オプション・カードのマニュアルを参考にして、必要な設定をしてください。

Q 10-2 どの製造元の機器が問題なのかわからない

対処 追加または変更したメモリーやPCカード / オプションなどを外し、ThinkPadを購入時 (工場出荷時) の状態に戻してください。購入時の状態で正常に動作することを確認した後で、追加または変更したPCカードなどをひとつずつ取り付けて動作確認を行い、正常に動作しないオプションを特定します。購入時の状態にして正常に始動しない場合は、『Easy-Setup』などの構成プログラムを購入時の状態に戻してください。

11 . Windows 98 関連のトラブル

Q 11-1 Windows 98 の基本的な操作について知りたい

対処 Windowsの基本的な操作方法については、製品に付属の『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』をお読みください。
また、Windows 98 のヘルプにも操作方法が解説されています。

補 足

パソコン教室でWindowsの基本操作をじっくり勉強したい場合、IBMではインフォカレッジでの研修(有料)をご用意しています。詳しくは、製品に付属の『IBMサービスのご案内』をお読みください。

Q 11-2 うしろに隠れて見えなくなったウィンドウを表示するには

対処 操作したいウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまうことがあります。このような場合は、タスクバーには起動中のアプリケーションまたはファイルの一覧が表示されています。タスクバーから操作したいウィンドウに対応したアプリケーションまたはファイルをクリックしてください。

Q 11-3 ファイルが見つからない

対処 保存したフォルダーまたはファイルがどこに保存されているのかわからなくなった場合は、[スタート]メニューの「検索」「ファイルやフォルダ」で検索画面を表示させ、探したいファイル名を入力して検索します。(P.70)

Q 11-4 ファイルの拡張子が表示できない

対処 「マイ コンピュータ」ウィンドウまたは「エクスプローラ」メニューバーで、「表示」「フォルダ オプション」で表示される「表示」タブをクリックして表示されるウィンドウで「登録されているファイルの拡張子は表示しない」にチェックマークが付いていると、ファイルの拡張子は表示されません。ファイルの拡張子を表示させたいときは、このチェックマークを外してください。

Q 11-5 必要なファイルを消してしまった

対処 間違ってフォルダーやファイルを削除した場合は、「ごみ箱」アイコンをクリックして、フォルダーやファイルが残っていないかどうかを確認してください。「ごみ箱」にフォルダーやファイルが残っている場合は、復旧させたいフォルダーまたはファイルをクリックし、メニューバーで「ファイル」「元に戻す」をクリックして復旧してください。

重要

ディスクに保存されているフォルダーやファイルは、削除しても「ごみ箱」には保管されません。ディスク内のデータを削除する場合は、細心の注意を払ってください。

Q 11-6 C:¥WINDOWS>_と表示される

原因 Windows 98 の MS-DOS プロンプトが全画面表示されている状態です。

対処 次のように入力して **(Enter)** キーを押してください。

C:WINDOWS> EXIT

MS-DOS プロンプトから Windows 98 の画面に戻ります。

(DOS ゲームの画面を終了させるときも同様に行ってください。)

Q 11-7 Windows パスワードを忘れてしまった

対処 「Windows ログオン」の画面で新しいユーザー名でログオンを行うか、または Windows フォルダーにある「ユーザー名.pwl」ファイルを消してください。「Windows ログオン」の画面でパスワードを入力せずに [キャンセル] をクリックした場合は、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。

重要

・「Windows ログオン」は LAN 接続を意味するものではありません。

Q 11-8 「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

原因 「Caps Lock」の状態でパスワードを入力した可能性があります。

対処 文字入力モードの状態を確認し、再度、正しいパスワードを入力してください。「Caps Lock」の状態を解除するには、**(Shift)** キーを押しながら **(Caps Lock)** キーを押します。

Q 11-9 電源を入ると、「Safe」モードで起動する

起動処理中に停電するなど、正常な動作ができませんでした。「Windows98起動メニュー」が表示された状態にしておくと、Windows 98はSafeモードで起動します。画面の配色や解像度が通常時と異なりますが、異常やトラブルではありません。

起動後、[スタート]メニューの中の「Windowsの終了」によって本体の電源を切ってください。問題がなければ、次の起動時に元の状態に戻ります。問題が解決しなかった場合は、システムが壊れている可能性があります。

補足

SCSI接続の周辺機器などを増設した場合、本体の電源を入れる前に、SCSI機器の電源を入れてください。SCSI機器の電源を入れないで本体の電源を先に入れると、Windows 98がSafeモードで起動する場合があります。

Q 11-10 Windows 98 のセットアップ中に電源を切ってしまった

対処 Windows 98のセットアップ方法については製品に付属の『セットアップ・ガイド』をお読みください。

Windows 98のセットアップ中に誤って電源を切ってしまった場合は、再度電源を入れた後、次の症状別に対処してください。

症状 1 修復セットアップの画面が表示され、続行できる状況になった。

対処 修復セットアップは停電のときや、接続された周辺機器やオプション・カードなどを正しく検知できないために、やむを得ず電源を切った場合などに起動します。電源を入れた後に修復セットアップが起動し、セットアップが正常に終了した場合は、問題なく使用することができます。

症状 2 エラーメッセージが表示され、セットアップが続行できない状態にある。

対処 セットアップの途中で電源を切った時点でハードディスク内のファイルが何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows 98を再インストールする必要があります。方法については付属のリカバリーCDやマニュアルをお読みください。

Q 11-11 Windows 98 のセットアップ中に ThinkPad が応答しなくなった

Windows 98 のセットアップには、正常に作業が終了しなかった場合を想定しいくつかの保護機能が備っています。修復セットアップは停電のときや、接続された PC カードやオプションを正しく検知できないために、やむを得ず電源を切った場合などに起動します。

対処 ThinkPad が PC カードやオプションを正しく検知できないで応答しなくなった場合は、いったん電源を切ってください。再度電源を入れた後に修復セットアップを選択すると、セットアップが続行されます。

重要

Windows 98 セットアップ中は、電源を切らないでください。正常に処理は行われている場合でも、画面上は停止して見える場合があります。

Q 11-12 名前や会社名の入力を間違えた

対処 セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前や会社名は、Windows 98 のセットアップが終了した後では変更できません。
変更する場合は、Windows 98 を再インストールする必要があります。

12. アプリケーション関連のトラブル

Q 12-1 アプリケーションをインストールできない

アプリケーションのインストール方法については、各アプリケーションに付属のマニュアルをお読みください。

原因1 現在の環境で使用できないアプリケーションの可能性があります。
対処 アプリケーションの動作環境や必要なオプションなどを確認してください。アプリケーションによっては、お使いのThinkPad環境では動作しないものがあります。
詳しくは、販売店またはアプリケーションの開発元にお問い合わせください。

原因2 MS-DOS、Windows3.1またはWindows 95用のアプリケーションです。
対処 MS-DOS、Windows3.1またはWindows 95用のアプリケーションには、Windows 98にインストールできないものもあります。販売店またはアプリケーションの開発元にお問い合わせください。

Q 12-2 アプリケーションを削除したい

対処 アプリケーション専用の削除ツールがある場合は、そのツールを使って削除してください。

アプリケーション専用の削除ツールがない場合は、デスクトップの[スタート]ボタンから「設定」「コントロールパネル」で「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックします。表示されたアプリケーションの一覧から、削除したいアプリケーションを選び[追加と削除]を押してください。

補足

Windows3.1のアプリケーションは「アプリケーションの追加と削除」のメニューには表示されません。

Q 12-3 電源を切ると先程まで入力していた文章がなくなる

ThinkPadの電源を切るとハードディスクやディスクレットに保存していないデータは消えてしまいます。

対処 ThinkPadの作業を終了するときは、データを保存してアプリケーションを終了し、デスクトップの[スタート]ボタンから「Windowsの終了」をクリックしてからThinkPadの電源を切ってください。
正しい電源のオン/オフの方法については、本書の『ThinkPadの電源を入れてみよう』(P.19)、『ThinkPadの操作を終了しよう』(P.31)をお読みください。

Q 12-4 ThinkPadが応答しなくなったので強制終了したい

対処 アプリケーションが応答しなくなった場合に、アプリケーションを強制的に終了するには次のように行います。

1. キーボードの(Ctrl)キーと(Alt)キーを押しながら(Delete)キーを押します。
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。
2. プログラム名の後に「応答なし」と表示されている項目を選択して、[終了]ボタンをクリックします。
3. 「プログラムの強制終了」が表示されない場合は、電源スイッチを押して電源を強制的に切り、20秒程待ってから再度電源スイッチを入れます。
4. 電源スイッチがきかない場合は、本体の電源遮断スイッチをボールペンの先などで押して、強制的に電源を切ります。電源遮断スイッチの位置については、製品に付属の「セットアップ・ガイド」または「ユーザズ・ガイド」をお読みください。電源遮断スイッチのない機種では、電源スイッチを5秒以上押し続けることで、電源を切ります。

重要

アプリケーションを強制終了した場合、保存していないデータは消えてしまいます。

重要

Windows 98がプログラムの処理をしているときは、一時的にキーボードまたはトラックポイントの操作が受け付けられなくなることがあります。処理が終わるまでしばらくお待ちください。Windows 98がプログラムの処理を実行しているときは、マウスポインターが砂時計の形に変わっています。画面表示状態を確認して、むやみに強制終了しないようにしてください。

補足

キーボードまたはトラックポイントからの入力をまったく受け付けなくなるなど、システムが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを押し、強制的に電源を切ることができます。この場合、作成中のデータは消えてしまいます。

Q 12-5 DOS ゲームの画面から抜けられない

対処 次のように入力して(Enter)キーを押してください。

C:¥WINDOWS>exit

DOS画面からWindows 98の画面に戻ります。

13 . 通信機能関連のトラブル

Q 13-1 ダイアルできない

原因 1 電話回線の設定が誤っています。

対処 お使いの電話回線がトーン式（プッシュ回線）かパルス式（ダイヤル回線）かを確認してモデムの設定を変更してください。
どちらの種類の回線なのかわからない場合は、電話料金の請求書を見て確認してください。

原因 2 接続相手との通信条件が合っていません。

対処 通信速度を下げるなどの設定をしてください。

原因 3 モデムがアプリケーションに認識されていません。

対処 アプリケーションには、どのモデムを使用するか（または、どのCOMポートを使用するか）を設定する個所があります。COMポートの設定が一致していることを確認してください。

たとえば、Windows 98のアクセサリーのハイパーターミナルの場合は、「接続方法」という欄で「LT Win Modem」を選択します。



モデムの種類は、ThinkPadの機種によって異なります。詳しくは、ThinkPadに付属のマニュアルをお読みください。

Q 13-2 モデム接続できない、またはスピードが上がらない

原因 1 電話番号、ユーザーID、パスワードが違います。

対処 まず、電話番号を確認してください。相手のモデムは、アナログモデムかどうか確認してください。ISDN専用のアクセスポイントなどには接続できません。また、ユーザーIDやパスワードが違っていると、モデム接続ができません。

原因 2 モデムの通信速度が回線の状況に影響されています。

対処 モデムをなるべく高速で接続するには、クリアな電話回線状況が必要です。そのときの回線状況（ノイズや、ひずみ、減衰など）および、相手のモデムの規格によって通信速度が変化します。

回線状況は、相手のモデムまでの距離が近いほど良くなります。プロバイダーやパソコン通信のアクセスポイントが各地にある場合、なるべく近くのアクセスポイントを選択してください。

- 原因3 ご使用のモデムとプロバイダーの規格が合っていません。
- 対処 K56flex、V.90、またはX2規格の56kbpsでの接続を可能にするには、相手のインターネット・サービス・プロバイダー(ISP)のモデムがご使用のモデムと同じ規格をサポートしてはなりません。56kbpsでの接続は、プロバイダーに設置された特殊なモデムとの受信方向のデータ通信でのみ可能です。その他のモデムとの通信では、さらに低速の通信となります。たとえば、56kbpsモデムを付けたPCどうしてデータ通信しても、最高で33.6kbpsの速度になります。また、ファックスでは最高14.4kbps、一般のモデムとの接続では最高33.6kbpsの速度になります。

Q13-3 「モデムを初期化できません」「モデムからの応答がありません」などのエラーが表示される



表示されるモデムの名前や種類は、ThinkPadの機種によって異なります。詳しくは、ThinkPadに付属のマニュアルをお読みください。

- 原因1 モデムがシステムから正しく認識されていない可能性があります。
- 対処 モデムからの応答を確認する。
- (1) モデムを使うすべてのアプリケーションを終了します。
 - (2) 「マイ コンピュータ」 「コントロール パネル」 「モデム」 アイコンをダブルクリックし、「モデムのプロパティ」を表示します。
 - (3) 「LT Win Modem」という項目があることを確認して、「検出結果」タブをクリックします。COMに「LT Win Modem」がインストールされていることを確認します。
 - (4) モデムがインストールされている「COM」をクリックしてから、[詳細情報]をクリックします。
 - (5) 「お待ちください。モデムと通信しています」と出て、検出結果が表示されます。表示される内容は、アップグレード等によって変わる場合がありますが、ここでモデムから応答が返ってきていることを確認してください。

モデムがシステムで正しく認識されていることを確認する

- (1) 「マイコンピュータ」アイコンを右ボタンでクリックします。
- (2) 表示されたリストで「プロパティ」をクリックし、「システムのプロパティ」を表示します。
- (3) 「デバイス マネージャ」タブをクリックします。

- (4)「モデム」をダブルクリックすると、「LT Win Modem」が表示されます。ここで、「LT Win Modem」に"! "や" X "がついていないことを確認します。
- (5)「LT Win Modem」をダブルクリックして「LT Win Modemのプロパティ」を表示します。「デバイスの状態」の欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認します。
- (6)「リソース」タブをクリックします。「競合するデバイス」の欄に「競合はありません。」と表示されていることを確認します。競合が発生している場合は、競合している相手のリソースを変更します。
- 「はじめよう ThinkPad でインターネット」(オンライン)が提供されている機種では、「こんな時どうする」の中にある「1. 基本的な環境設定が正しいか確認したい(トラブルの予防)」の「Q3. モデムが正しく認識されているか確認したい」を参照して、モデムがシステムから正しく認識されているか確認します。他のリソースと競合している場合には、競合しているリソースの設定を変更してください。



「はじめよう ThinkPad でインターネット」は、ThinkPadの機種によっては提供されていません。

- 原因2 原因 2 モデムがアプリケーションから認識されていない可能性があります。
対処 対処 プロバイダーへの接続に使用する「ダイヤルアップ・ネットワーク接続」のプロパティの「接続の方法」欄で、「LT Win Modem」(内蔵モデムを使用する場合)が選択されていることを確認してください。
「はじめよう ThinkPad でインターネット」(オンライン)が提供されている機種では、「こんな時どうする」の中にある「1. 基本的な環境設定が正しいか確認したい」の「Q5. プロバイダーへの接続設定が正しいか確認したい」を参照してください。
- 原因3 原因 3 モデムのドライバーが変更されています。
対処 対処 モデムのドライバー・ファイルをアップグレード、または使用するモデムを変更しませんでしたか?ダイヤルアップ・ネットワーク接続に使用するモデム(ドライバー)を変更した場合は、接続ウィザードなどでダイヤルアップ・ネットワーク接続を新規作成してください。
- 原因4 原因 4 電話番号が全角で入力されています。
対処 対処 ダイヤルアップ・ネットワーク接続の電話番号が全角で入力されている場合は、このようなメッセージが表示され、モデムはダイヤルできません。ダイヤルアップ・ネットワーク接続のプロパティで電話番号のフィールドの文字をすべて削除し、半角で再度入力して設定を保存してください。

補 足

インターネット接続ウィザードを使用してプロバイダーへの接続の設定を行った場合：エラーメッセージが表示されます。

ダイヤルアップ・ネットワーク接続のプロパティで直接電話番号を入力した場合：エラー・メッセージは表示されませんので注意が必要です。

Q 13-4 「モデムが使用中」「COM ポートは既に開かれています」などのメッセージが表示される

- 原因 モデムやシリアル・ポートを使用する（通信）ソフトウェアが動いています。
- 対処 (タスクバーを見て)モデムを使用していると思われるソフトウェアを終了させてください。該当すると思われるソフトウェアがない場合は、異常終了している可能性もあるため、Windows98を「電源を切れる状態にする」で一度終了させてから、再度電源を入れ直してみてください。

Q 13-5 ダイヤルトーン(受話器を上げた時のプーっという音)が聞こえない、または「発信音が聞こえませんでした」というメッセージが表示される

- 原因 1 モデムに電話線がきちんと接続されていません。
- 対処 1 モデムと壁面のモジュラー・ジャックが電話線で確実に接続されていることを確認してください。
- 対処 2 ISDN回線をご利用の場合は、TAのアナログ・ポートとの接続だけではなく、NTTのモジュラー・ジャックからTAまでの接続が確実にできていることも確認してください。また、一般的にTAの電源が入っていないと、モデムは使用できません。詳しくは、DSU/TAのマニュアルを参照してください。

補 足

ISDN回線でモデムではなく、TAのデータポート(いわゆる同期64K、128Kの通信を行います)で通信をする場合は、ダイヤルトーンなどの音はしません。

- 原因 2 モデムのスピーカーがオフになっています。
- 対処 モデムのスピーカーの音量をあげてみて、本当に音がしていないか確認してください。
- (1)「コントロールパネル」 「モデム」から「モデムのプロパティ」を表示します。
 - (2)[プロパティ]をクリックして「音量」をあげてみてください。音が聞こえていなくても正常に接続できている場合もありますので、インジケータで確認してください。

重要



モデムの種類は、ThinkPadの機種によって異なります。詳しくは、ThinkPadに付属のマニュアルをお読みください。

- 原因3 電話ケーブルが断線している、またはNTTの回線が使用不能になっています。
対処 別の電話線 / 電話機がある場合は、接続して正常に電話できるかを確認してみてください。

Q13-6 モデムが電話をかけていない(ブルブルという電話をしている音が聞こえない)

- 症状 ダイヤルトーンが出ていない。
対処 モデムが受話器を上げた状態までできていること(受話器をあげたときのプーっという音がする)を確認してください。

- 原因1 パルス / トーンの設定がありません。
対処 使用している電話回線の種類と設定があっているかを確認してください。ThinkPadでは初期値はトーンに設定されています。パルス回線の場合は、設定の変更が必要です。また、ISDN回線の場合にはトーンで設定してください。

- 原因2 モデムがダイヤルトーンを認識していません。
対処 ダイヤルトーンが聞こえているのにプッシュトーンが聞こえない場合は、周波数が一般電話回線と違う、またはダイヤルトーンの音量が小さすぎるなどの原因で、モデムがダイヤルトーンを認識できていない場合があります。この場合は、次の手順でダイヤルトーンが聞こえなくてもダイヤルを始める設定にしてみてください。

- (1)「コントロールパネル」 「モデム」から「モデムのプロパティ」を表示します。
- (2)「プロパティ」をクリックし、「接続」タブをクリックします。接続オプションの「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外し、[OK]をクリックして設定を保存します。

重要



モデムの種類は、ThinkPadの機種によって異なります。詳しくは、ThinkPadに付属のマニュアルをお読みください。

Q 13-7 正しい番号に電話がかからない

原因1 電話番号が間違っています。

対処 アクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。また、アクセスポイントの変更などで電話番号が変わっている場合もありますので、最新のアクセスポイントの電話番号リストを確認してください。

なお、「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」にチェックが入っている状態で国番号が"日本"以外に設定されていると、国際電話をかける設定になってしまい、国際電話の番号が付加されてしまいます。

また、「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」にチェックが入っていない状態では、「電話番号」に市外局番も含めた番号が設定されていないと正しい番号にダイヤルできません。

原因2 ダイヤルのプロパティが正しくありません。

対処 ダイヤルのプロパティで所在地情報が正しく設定されているか確認してください。

(1)「ダイヤルのプロパティ」を表示します。

(2)「国名/地域」は"日本"に設定します。「市外局番」にはお使いの電話回線の市外局番を入力します。

「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」にチェックが入っている状態で国名が"日本"以外に設定されていると、その国から日本へ国際電話をかける設定になってしまいます。

(3)「外線発信番号」は、必要な場合のみ設定してください。不要な場合は何も入力しません。

Q 13-8 電話はかかっているが、プロバイダーのアクセスポイントが応答しない

原因1 正しい電話番号にダイヤルしていません。

対処 アクセスポイントの電話番号が正しく設定されていることを確認してください。

原因2 アクセスポイントが込み合っています。

対処 プロバイダーのアクセスポイントの回線が込み合っていて、応答していない可能性があります。[キャンセル]をクリックして、数分待ってから接続しなおしてみてください。プロバイダーのアクセスポイントがメンテナンス中などで接続できない場合もあります。また、モデムの仕様として、同じ番号へのダイヤルは、3分間に3回まで可能となっています。4回目のダイヤルは3分以内に行うことはできません。これは、モデムのリダイヤル制限機能として法規で定められています。

Q 13-9 プロバイダーへ接続したが、すぐに切断される

- 原因1 ユーザー名 / パスワードが間違っています。
- 対処 ユーザー名とパスワードは、アルファベットの大文字・小文字も合っているか、確認してください。たとえば、「THINKPAD」と「ThinkPad」は別のユーザー名（パスワード）として認識されます。現在、入力されているユーザー名とパスワードを削除して、大文字 / 小文字も含めて正しい文字列を入力してから再度接続してください。また、一般的にプロバイダーでは間違ったパスワードを複数回入力すると、パスワードが無効（リボーク）になります。この場合は、プロバイダーに確認してください。
- 原因2 アクセスポイントがメンテナンス中です。
- 対処 プロバイダーのアクセスポイントがメンテナンス中、または障害などが起きている場合があるので、しばらく待ってから接続しなおしてみるか、またはプロバイダーに確認してください。
- 原因3 アクセスポイントが混雑しています。
- 対処 アクセスポイントにユーザーが集中して、割り当てられるIPアドレスが足りない場合は、接続できてもすぐに切断されます。しばらく待ってから、再度接続してみてください。
- 原因4 アクセスポイントの種類が正しくありません。
- 対処 プロバイダーによっては、電話回線の種類（アナログ、ISDN）によって電話番号が違う場合もあります。モデムで接続する場合は、アナログ回線接続用のアクセスポイントの電話番号を選んでください。
また、ISDN回線を使用している場合、モデムを使用して接続をする場合はアナログ回線用のアクセスポイント、TAのデータポートを使用して接続する場合はISDN対応（同期64K、128K、非同期V.110）のアクセスポイントを指定してください。詳しくは、お使いのTAのマニュアルを参照してください。
- 原因5 回線品質 / 環境に問題があります。
- 対処 アナログ回線（通常の電話回線）でインターネットに接続している場合、ノイズ（雑音）など回線状況が良くないと、相互で正しく応答を確認できないために接続できない / 突然切断される場合があります。特に、接続速度が高速になるほど回線状況の影響は大きくなります。
- (1) 回線状況は、相手のモデムの距離が近いほどよくなります。プロバイダーのアクセスポイントはなるべく近くのものを選択してください。
 - (2) パソコンとNTTの壁面のモジュラー・ジャックの間は、なるべく短い電話線で接続してください。
 - (3) ノイズの原因になるような機器（ラジオなど）はなるべく遠ざけてください。

(4) タコ足配線をしないでください。また、できるだけパソコンの電源は、アースを取ってください。

もし、お使いの電話回線が、電話機で電話をしているときにも雑音や混線が発生しているような場合は、NTTに電話回線の品質をチェックしてもらうことをお勧めします。また、至近距離に放送局の電波塔など強い電波を出すような施設がある場合は、個別の対策が必要になる場合もあります。

Q 13-10 接続が突然切れてしまう

原因 1 自動切断機能が設定されています。

対処 IE4.0には、一定時間キーボードやマウスの操作がされていないと、自動的に電話回線を切断する機能があります。この機能は、インターネットに接続していることを忘れてつなぎっぱなしにしてしまうのを防ぐためのものです。ただし、大きなファイルをダウンロードしているときなどに設定時間を短くしておく、途中で接続が切れてしまう場合があるので、必要に応じてオフにしたり設定時間を長くしてください。

(1) 「Internet Explorer」アイコンを右クリックします。

(2) リストが表示されたら「プロパティ」をクリックします。

(3) 「インターネットのプロパティ」が表示されたら「接続」タブをクリックします。

(4) 「接続」欄の[設定]ボタンをクリックします。「ダイヤルアップ設定」ダイアログが表示されます。

(5) 「切断までのアイドル時間」のチェックを外すか、または設定時間を長くします。

(6) [OK] をクリックして終了します。

原因 2 キャッチホンに加入しています。

プロバイダーへの接続に使用している回線が、NTTのキャッチホン・サービスに加入している場合は、接続中に他の電話がかかってくると切断されます。

原因 3 回線品質 / 環境に問題があります。

対処 Q13-9の原因5を参照してください。

Q 13-11 接続速度が遅い、33.6Kbps 以下でしか接続できない

原因 1 回線品質 / 環境に問題があります。

対処 Q13-9の原因5を参照してください。

モデムを高速で接続するためには、「回線品質が良い」ことが必要です。回線品質は、ノイズなどの原因だけではなく、回線の混み具合などでも影響を受けるため、刻々と変化します。また、接続速度も、その時の状況によって変化します。

原因2 アクセスポイントがお使いのモデムの通信規格に対応していません。
56kbpsでの接続を可能にするには、接続するプロバイダーのアクセスポイントが、お使いのモデムと同じ56kbps通信規格（V.90、K56flex、またはX2）をサポートしてはなりません。56kbpsでの接続は、56kbps通信規格をサポートするアクセスポイントに設置された特殊なモデムとのデータ通信のみ可能です。その他のモデムとの通信では、さらに低速の通信となります。たとえば、同じ通信規格対応のモデムを接続したPC どうしてデータ通信をしても、最高で33.6Kbpsの速度になります。もし、接続するプロバイダーのアクセスポイントが、お使いのモデムと同じ通信規格をサポートしていない場合は、自動的に33.6Kbpsや28.8Kbpsの規格で接続されます。同じ通信規格に対応したアクセスポイントと通信する場合でも、56kbpsの通信は、プロバイダーからPCへの受信方向の通信（ダウンロード）に対してのみ可能で、PCからプロバイダーへの送信方向（アップロード）では、最高33.6Kbpsの通信速度になります。また、56kbpsでの通信は、回線品質 / 環境によって大きな影響を受け、必ずしも最高速度56Kbpsで接続できるわけではありません。

Q 13-12 「インターネットサイトXXXXを開けません。サーバーに接続できませんでした」というメッセージが表示されてホームページが表示されない

原因1 入力したURLが間違えている可能性があります。
対処 URLを確認して修正し、再度 **Enter** キーを押してください。また、URLは必ず半角で入力してください。
入力したURLが間違えていない場合、表示しようとしているホームページにアクセスが集中しているために表示できなくなっている場合があります。少し時間をおいてから、再度アクセスしてみてください。

原因2 TCP/IPの設定が正しくありません。
対処 ダイヤルアップ・ネットワークのTCP/IPの設定が、プロバイダーからの指示どおりに設定されているか確認してください。
また、IBMインターネット接続（以下IGN）をプロバイダーとして利用している場合、ダイヤルアップ・ネットワークのフォルダーの中の「IBM Global Network」のプロパティの「TCP/IP設定」で「リモートネットワークでデフォルトのゲートウェイを使う」にチェックが入っていないと、プロバイダーへ接続されても他のページを見ることができません。

Q 13-13 「NotFound」「Error404」と書かれたホームページが表示される

原因 ホームページが移転または廃止されています。
対処 インターネットの世界では、さまざまな理由で、ホームページが移転 / 廃止されることが多々あります。「NotFound」「ファイルが見つかりません」というようなメッセージが表示される場合は、ドメイン名は合っているにもかかわらず、該当するページがない場合に表示されます。

Q 13-14 電子メールが送信できない / 受信できない

原因1 ダイヤルアップ・ネットワーク接続ができていません。

対処 OutlookExpress を起動せずに、メールを送受信するために使用するダイヤルアップ接続で、プロバイダーへ正しく接続できることを確認してください。問題がある場合は、「はじめようThinkPadでインターネット」(オンライン)を参照してください。

原因2 メール・アカウントの設定が間違っています。

対処 メール・アカウントのプロパティを表示して、メールサーバー・アドレス、アカウント名、パスワードなどの設定を確認してください。特に、大文字 / 小文字が間違えていないか、半角で正しく入力されているか、余分な文字(全角の余白等)が入っていないかなどを確認してください。一度、現在設定されている文字列をすべて削除し、日本語入力がどのモードになっているかを確認してから再入力します。

メール・サーバーなどの設定はプロバイダーによって異なります。変更される場合もありますので、正しい情報はプロバイダーに確認することをお勧めします。

14. バッテリー関連のトラブル

Q14-1 フル充電したバッテリー・パックでThinkPadが作動しない

原因 バッテリー・パックの過電流保護機能が働いている可能性があります。

対処 ThinkPadの電源をオフにし、1分間待ってから、電源を入れてください。

15. その他のトラブル

Q 15-1 停電になった

対処 エアコン、電子レンジ、乾燥機など、家庭内にはいろいろな電気機器があり、電気の使い過ぎでブレーカーが落ちることがあります。パソコンでは電源が切れるとハードディスクやディスクに保存していないデータは消えてしまいます。万一来に備え、作業中の文章やデータはこまめに保存するようにしましょう。

Q 15-2 キーボードに飲み物をこぼしてしまった

対処

1. ぬれた手をタオルで拭きます。ぬれた手で電気機器に触れると感電する恐れがあります。
2. すぐに本体の電源を切り、電源ケーブルやACアダプターのプラグを電源コンセントから抜きます。
3. 柔らかい布などでこぼした飲み物を拭き取ります。
4. 完全に乾いたことを確認してからお使いください。

キーボードに不具合がある場合は、IBM サービスセンターにご相談ください。このような場合、お買い求めになった機器の保証期間内であっても修理は有償となることをご了承ください。

Q 15-3 海外で使いたい

ご使用の機種が次の条件を満たしている場合、海外でもハードウェア修理サービスが受けられます。

「IBM PC ハードウェア国際保証 (IWS)」の対象機種であること。

保証期間内であること。

持ち込む国においてその機種がサービス対象機種であること。

出国前に証明書の発行を受け、それを製品と共に出国先に持参していること。

なお、IBM PC ハードウェア国際保証サービス (IWS) の対象機種やサービス提供国などに関しては、以下にお問い合わせください。

IBM IWS オフィス

TEL: 0462-73-7598 FAX: 0462-73-7597

受付時間: 10:00 ~ 17:00 (土、日、祝日、年末年始、6/17を除く)

また、ご使用になる国によって電源の電圧が違いますので、ThinkPadに付属しているACアダプターをそのまま使用することができない場合があります。電源コードやACアダプターなどは、現地に合ったものをご用意ください。

Q 15-4 英語版のオペレーティング・システムを使いたい

日本国内で販売している ThinkPad は、日本語版のオペレーティング・システム専用設計されています。そのモデルで使用可能なオペレーティング・システムについては、製品のパンフレット、システム・ガイドをご覧ください。

Q 15-5 付属品の確認のしかた

製品に付属の『セットアップ・ガイド』を参照して、内容を確認してください。ビニール袋などに、いくつかの付属品がひとまとめに梱包されていることがあります。付属品が不足している場合は購入元にご連絡ください。

Q 15-6 安全に使うために注意しなければならないこと

製品に付属の『セットアップ・ガイド』の「安全に正しくお使いいただくために」の節をお読みください。

Q 15-7 付属品の接続方法が分からない

製品に付属の『セットアップ・ガイド』に従って、組み立てを行ってください。

Q 15-8 付属のマニュアルをなくしてしまった

IBM マニュアルのご注文は、製品に付属の『IBM サービスのご案内』をお読みください。なお、インターネットの IBM ホームページから弊社発行のマニュアルの検索をすることができます。

アドレスは、<http://www.ibm.co.jp/ibm-manual/> です。

なお、再購入できないマニュアルもありますので、マニュアルは大切に保管してください。

Q 15-9 『アプリケーション CD』 / 『リカバリー CD』を傷つけたので交換してほしい

IBM FAX サービス(044-200-8600)から申し込み用紙を取り寄せてください。なお、紛失された場合は交換できません。

IBM FAX サービスについて詳しくは、製品に付属の『IBM サービスのご案内』をお読みください。

この件に関しては、次に示すコード番号をご利用ください。(変更されることがありますのでご注意ください。)

440274 『バックアップ CD および Recovery CD 有償交換お申込みガイド』

440308 『バックアップ CD および Recovery CD 複写用ディスクとお申込みガイド』

最新の FAX サービスのコード番号は、<http://www.ibm.co.jp/as/faxsup.html>で参照できます。

Q15-10 ThinkPadのバッテリー・パックを破棄したい

地方自治体の産業廃棄物の処理方法の指示に従ってください。

Q15-11 ThinkPadのパスワードを使用したい

ThinkPad本体およびハードディスク内のデータを保護するために、パスワード機能が用意されています。

パスワードの設定のしかたについては、製品に付属の「ユーザーズ・ガイド」をお読みください。

Q 15-12 使用している ThinkPadのお客様登録（ユーザー登録）の住所変更をしたい

お客様の住所など登録内容を変更する場合は、次の宛先まで「お客様番号」を明記のうえ、葉書でご連絡ください。

〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

日本アイ・ピー・エム（株）登録変更 係

下記のホームページでも登録変更を受け付けていますのでご利用ください。

<http://www.ibm.co.jp/pc/ibmjreg/reg.html>

トラブルが解決しないときは

トラブル・チェックシートは、トラブルが発生し、弊社電話サポート窓口にご連絡いただく場合にご活用ください。

トラブル・チェックシートについて

電話サポート窓口にご電話をするのははじめてという場合は、巻末の『トラブル・チェックシート』をご活用ください。

トラブルの内容を窓口の担当者に確実に、より早く伝えたい、また、トラブルが発生する前に、皆様が行ったことをチェックシートを使って思い出してください。

- ・新しいアプリケーションをインストールした
- ・新しいハードウェアを取り付けた
- ・機器やアプリケーションの設定を変更した
- ・何かファイルを消してしまった
- ・停電になった

・インターネットや電子メールで見知らぬ人からファイルを受け取ったなど、いずれもよく耳にするトラブルの原因です。自分では何もしていないと思っていなくても、それに気づかずに行っていることがあります。落ち着いて思い出してみましょう。

サポート体制について

IBMでは、お客様が弊社のパソコンを購入になった後も、より快適にご利用いただくために、常に充実したサービスでお役に立ちたいと考えています。

お客様からの「パソコンの操作に困った」「セミナーを受講したい」「ソフトウェアやハードウェアのインストールまたは設定をして欲しい」「インターネットにアクセスしたい」などのご要望に対して、さまざまなサービスメニューをご用意しています。

IBMの各種サービスの内容については、製品に付属の『IBMサービスのご案内』をお読みください。

付 録

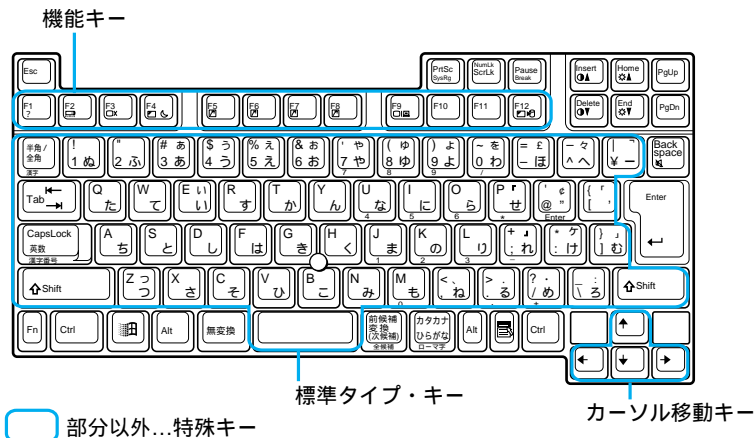
キーボードのキーの名前と使い方	232
ローマ字とかな対応表 (MS-IME98 用).....	241
索引	243

キーボードのキーの名前と使い方

ここでは、キーボードのキーの名前と使い方全般について説明します。

キーボードの構成

ThinkPadのキーボードのキー配列は、機種によって多少異なります。ここでは、次の2機種をご紹介します。



重要



- ・水や薬品などでぬらさないでください。
- ・キーのすき間にホチキスの針、クリップ、食べ物や消しゴムのくずなどを入れないでください。
- ・重いものを載せないでください。

ヒント



キーボードの傾きを調節するには
キーボードの裏側には、キーボードの傾きを調節する脚が付いています。完全に開くと軽く音がします。

各キーのおもな機能を説明します。

重要



キーは、ソフトウェアによって異なる意味をもつ場合があります。

標準タイプ・キー

文字、数字、記号、句読点、スペースなどを入力するためのキーをまとめて標準タイプ・キーと呼びます。



文字キー： アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字、数字、記号、句読点を入力する

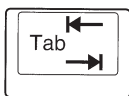
DOS/Vなどオペレーティング・システムを始動した直後はアルファベットの小文字、数字が入力されます。



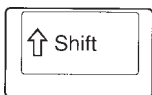
スペース・キー： スペース（空白）を入力する



[半角/全角]キー： 文字やスペースの大きさ（幅）を切り替える
全角は半角の2倍の幅です。



タブ・キー： タブを入力する
カーソルの位置を一定の幅進めます。




シフト・キー： キー表面の上段の文字を入力する
アルファベットの大文字や数字キーの上の記号(! など)を入力したいときは、このキーを押しながらその文字キーを押します。左右に1つずつあります。



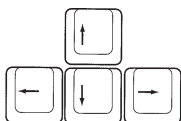
キャップス・ロック・キー / 英数キー：
(Shift)キーを押しながら (Caps Lock)キーを押すとキャップス・ロック・ランプが点灯してアルファベットを大文字で入力する状態になります。元に戻すときは、再度 (Shift)キーを押しながら (Caps Lock)キーを押します。

補足

- ・標準タイプ・キーのほとんどは、押し続けると入力を繰り返す連続作動キーです。つまり A を押し続けると、aaaaaaaa... と入力されます。
- ・インターネットの URL で見られる “ ” (チルダ) は、MS-IME98 日本語入力システムを使用している場合は、MS-IME の入力モードを「半角英数」または「直接入力」に変更した後、(Shift)キーを押しながら  キーを押してください。

カーソル移動キー

文字の入力位置や注目点を示すマーク(カーソルという)を移動させる



補足

標準タイプ・キーと同じく、カーソル移動キーも連続作動キーです。

機能キー（ファンクション・キー）

使用中のソフトウェアに何か仕事をさせたり、命令を伝えたりする



このキーの働きは各ソフトウェアによって決められています。

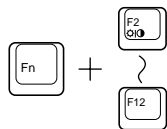
ソフトウェアの機能のなかでもよく使われるものは、このキーに割り当てられています。たとえば、ソフトウェアによっては(F1)キーを押すとヘルプ情報が画面に表示されます。

補足

ヘルプ情報とは、実行中のソフトウェアが独自に用意した、ユーザーを助けるための情報です。







通常、用語解説、ソフトウェアの操作方法などが画面に表示されます。













Fn キー機能



(Fn)キーを押しながら機能キー((Fn) ~、(F12))を押して、ハードウェアについての設定を瞬時に変更する。

(Fn)キーの表面には機能を表す絵（アイコン）が書かれています。ここでは、代表的なものをご紹介します。

キーの組み合わせ	機能	意味
 + 	バッテリー残量表示 のオン / オフ 	バッテリー残量を表示するウィンドウを画面に表示します(このプログラムが始動されている場合)。
 + 	スタンバイ機能 	ThinkPad がスタンバイ状態（省電力機能のひとつ）になります。

キーの組み合わせ	機能	意味
 + 	サスペンド機能 	ThinkPad がサスペンド状態（省電力機能のひとつ）になります。
 + 	表示装置の切替え 	外付けディスプレイが接続されている場合、画面の出力先を液晶ディスプレイと外付けディスプレイの間で切り替えます。
 + 	省電力モードの切替え 	ThinkPad の省電力状態を、ハイパフォーマンス 自動省電力 カスタマイズの順で切り替えます。
 + 	ハイバネーション機能 	ThinkPad がハイバネーション状態になります。ハイバネーション機能は省電力機能のひとつで、操作を一時中断して節電します。サスペンド状態では作業の内容がメモリーに保存され、電力も微量ながら消費されます。それに対しハイバネーション状態では、作業の内容がハードディスクに保存されたあと電源が切れるので、まったく電力を消費しません。操作を再開するには電源スイッチをオンにします。

重要



ThinkPad のモデルによって、使用できる Fn キー機能の種類は異なります。

補足

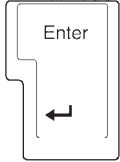





2つのキーの名前の間にプラス(+)記号がある場合は、最初のキーを押したまま、2番目のキーを押して離します。その後、最初のキーを離します。



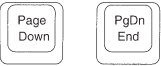





3つのキーの名前から成る文字列でそれぞれのキー名の間にプラス記号がある場合は、最初の2つのキーを押したまま、3番目のキーを押してから離してください。

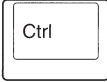

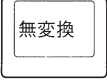
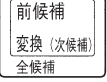
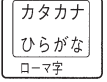


特殊キー

特殊な処理を効果的に行う

特殊キーの働きは、厳密に言えば各ソフトウェアによって決まりますが、ここでは代表的な用法の例を示します。

キーの種類	呼びかた	主な役割
 <p>Enter</p> <p>←</p> <p>(改行)</p>	エンター・キー	<ul style="list-style-type: none"> 改行する 現在の画面に表示されているメッセージを理解して、次の画面に移りたいときに押す 機能を選択するためのメニューが表示されているときに、現在の注目点（反転表示などしている部分）の機能を実行したいときに押す
 <p>Esc</p>	エスケープ・キー	<ul style="list-style-type: none"> 現在の画面(機能)を取り消して、1つ前の画面に戻りたいときに押す 画面の表示を消すときに押す
 <p>Back space</p> <p>(後退)</p>	バック・スペース・キー	カーソル位置を1つ戻す(その位置にあった文字は消える)
 <p>Insert</p> <p>(挿入)</p>	インサート・キー	挿入と置換を切り替える カーソル位置に何か文字や記号を挿入したいときは「挿入」に、表示されている文字を消しながら進みたいときは「置換」にします。
 <p>Delete</p> <p>(削除)</p>	デリート・キー	カーソル位置の文字を削除する
 <p>Home</p>	ホーム・キー	カーソル位置を画面のホーム・ポジション(通常、左上隅または現在行の左端)に戻す

キーの種類	呼びかた	主な役割
	エンド・キー	カーソル位置を現在行の最後尾の文字に移す
 (前ページ)	ページ・アップ・キー	画面の表示内容を、前のページに戻す
 (次ページ)	ページ・ダウン・キー	画面の表示内容を、次のページに進める
 (ページ印刷)	プリント・スクリーン・キー	画面印刷をする
	ナム・ロック・キー	(Shift) + (ScrLK) を押すと、ナム・ロック・ランプ()が点灯して、キーボードの数値キーパッド機能をオン/オフします。オンの状態では、キーボードの文字キーの前面に白字で書かれた数値や記号が入力されます。(詳しくは、「ユーザーズ・ガイド」または「ユーザーズ・リファレンス」の数値キーパッドのページを参照してください。)
	スクロール・ロック・キー	スクロール・ロック・ランプ()が点灯します。 カーソル移動キーの働きが、画面スクロール(画面が上下あるいは左右に移動し、それまで表示されていなかった部分が表示されること)の働きに変わります。この機能は、オペレーティングシステムやアプリケーションが対応している場合に限り有効です。
	ポーズ・キー	画面上で行われている処理を一時的に停止する たとえば、ファイルの内容が画面上でスクロールされているときにこのキーを押すと、他のキーを押すまで停止します。

キーの種類	呼びかた	主な役割
	コントロール・キー	他のキーと組み合わせて使われることが多いキーです。
 (前面キー)	オルト・キー	キーによっては、キーの前面部分(上部ではなく)に緑色で文字が書かれています。そちらの機能を働かせたい場合は、このキーを押しながら各キーを押します。日本語入力モードにするときは、このキーを押しながら緑色で漢字と書かれたキー(上面は、半角/全角)を押します。
	無変換キー	漢字の入力、カタカナとひらがなの切り替えに使う
	変換キー	
	カタカナひらがな・キー	
	Windowsキー	Windows 98のデスクトップ左下の [スタート] ボタンを起動する マウスで [スタート] ボタンをクリックするのと同じ働きをします。
	アプリケーション・キー	デスクトップ上でオブジェクトを選択し、このキーを押すと、そのオブジェクトに対して可能な操作メニューが表示される マウスの右ボタンと同じ働きをします。



ThinkPad の機種によっては、Windows キー、アプリケーション・キーは付いていません。

組み合わせキー

2つ以上の特殊キーを同時に使用して、特定の機能を実行することができます。組み合わせキーの用法は、特殊キーと同じく、ソフトウェアによって決まります。

例

Ctrl+**Alt**+**Delete**

(**Ctrl** キーと **Alt** キーを押しながら、**Delete** キーを押す)

現在使用中のアプリケーションが何らかの理由によって動作しなくなったときなど、強制的にシステムを最初の始動からし直す（リセットする）ときに使用します。

非常手段ですので、やむを得ない場合のみ、使用してください。

重要



この機能を作動させると、電源をオフにしたときと同じようにメモリーの内容はすべて消えてしまいます。システムに異常がないときにこの機能を使用する場合は、作成中のデータを保管し、使用中のアプリケーションなどはきちんと終了させてください。

ローマ字とかな対応表 (MS-IME98 用)

ローマ字					ひらがな				
a	i	u	e	o	あ	い	う	え	お
	yi	wu				い	う		
		whu					う		
ka	ki	ku	ke	ko	か	き	く	け	こ
ca		cu		co	か		く		こ
		qu					く		
sa	si	su	se	so	さ	し	す	せ	そ
	ci		ce			し		せ	
	shi					し			
ta	ti	tu	te	to	た	ち	つ	て	と
	chi	tsu				ち	つ		
na	ni	nu	ne	no	な	に	ぬ	ね	の
ha	hi	hu	he	ho	は	ひ	ふ	へ	ほ
		fu					ふ		
ma	mi	mu	me	mo	ま	み	む	め	も
ya		yu		yo	や		ゆ		よ
ra	ri	ru	re	ro	ら	り	る	れ	ろ
wa				wo	わ				を
n					ん				
nn					ん				
n'					ん				
xn					ん				
ga	gi	gu	ge	go	が	ぎ	ぐ	げ	ご
za	zi	zu	ze	zo	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ji					じ			
da	di	du	de	do	だ	ぢ	づ	で	ど
ba	bi	bu	be	bo	ば	び	ぶ	べ	ぼ
pa	pi	pu	pe	po	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
kya	kyi	kyu	kye	kyo	きゃ	きい	きゅ	きえ	きょ
sya	syi	syu	sye	syo	しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
sha		shu	she	sho	しゃ		しゅ	しえ	しよ
tya	tyi	tyu	tye	tyo	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
cha		chu	che	cho	ちゃ		ちゅ	ちえ	ちよ
cya	cyi	cyu	cye	cyo	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
nya	nyi	nyu	nye	nyo	にゃ	にい	にゅ	にえ	によ
hya	hyi	hyu	hye	hyo	ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
mya	myi	myu	mye	myo	みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
rya	ryi	ryu	rye	ryo	りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
gya	gyi	gyu	gye	gyo	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
zya	zyi	zyu	zye	zyo	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
ja		ju	je	jo	じゃ		じゅ	じえ	じよ
jya	jyi	jyu	jye	jyo	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
dya	dyi	dyu	dye	dyo	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
bya	byi	byu	bye	byo	びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
pya	pyi	pyu	pye	pyo	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
gwa	gwi	gwu	gwe	gwo	ぐわ	ぐい	ぐう	ぐえ	ぐお
qwa	qwi	qwu	qwe	qwo	くわ	くい	くう	くえ	くお
qa	qi		qe	qo	くわ	くい		くえ	くお
	qyi		qye			くい		くえ	
fwa	fwi	fwy	fwe	fwo	ふぁ	ふい	ふう	ふえ	ふお
fa	fi		fe	fo	ふぁ	ふい		ふえ	ふお
	fyi		fye			ふい		ふえ	
tsa	tsi		tse	tso	つぁ	つい		つえ	つお

	ye			いえ					
wha	whi	whe	who	うあ	うい	うえ	うお		
	wi	we		うい		うえ			
qya	qyu	qyo		くや	くゆ		くよ		
swa	swi	swu	swe	swo	すあ	すい	すう	すえ	すお
tha	thi	thu	the	tho	てや	てい	てゆ	てえ	てよ
twa	twi	twu	twe	two	とあ	とい	とう	とえ	とお
dha	dhi	dhu	dhe	dho	でや	でい	でゆ	でえ	でよ
dwa	dwi	dwu	dwe	dwo	どあ	どい	どう	どえ	どお
fya		fyu		fyo	ふや		ふゆ		ふよ
va	vi	vu	ve	vo	ヴあ	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴお
vya	vyi	vyu	vye	vyo	ヴや	ヴい	ヴゆ	ヴえ	ヴよ
la	li	lu	le	lo	あ	い	う	え	お
xa	xi	xu	xe	xo	あ	い	う	え	お
	lyi		lye			い		え	
	xyi		xye			い		え	
lya		lyu		lyo	や		ゆ		よ
xya		xyu		xyo	や		ゆ		よ
		ltu					つ		
		xtu					つ		
		ltsu					つ		
lwa					わ				
xwa					わ				

注

っ : n 以外の子音の連続も可

例 : itta いった

ん : 子音の前のみ n。母音の前は nn または n'。

例 : kanni かんい

例 : kani かに

ヴ : ひらがなはありません。

索引

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。

なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

ア

アイコン 20,57,59
アクセスポイント 105,221
アドレス 127
アナログ 98,101
アプリケーション 15,59
 ~のトラブル 214
アプリケーション・キー 41,239
アルファベット入力 49
アンチウイルス・プログラム 176
移動(ファイル) 67,69
インサート・キー 237
印刷 89,92
インターネット 102
 ~に接続する 122
 ~につなぐ準備 107
 ~の疑似体験 105
 ~を終了する 124
 ~を楽しむ 126
インターネット・サービス・プロバイ
 ダー 105
インテリシク 161
ウイルス 176,192
 検知プログラム 176
 情報を取得する 179
ウィンドウ 57
エスケープ・キー 237
エンター・キー 237
エンド・キー 238

お気に入り 130
お客様登録 181
送る(電子メール) 131
オプションのトラブル 209
オペレーティング・システム 15
オルト・キー 239
オンライン登録 107,181

カ

カーソル移動キー 232,234
書き込み禁止スイッチ 76
カタカナ入力 46
カタカナひらがな・キー 239
かな対応表 241
かな入力方式 53
漢字入力 45
感染(ウイルス) 193
キーの名前と使い方 232
キー配列 232
キーボード 17,41
 ~で文字を入力する 41
 ~のキーの使い方 232
 ~のキーの名前 232
 ~の構成 232
 ~のトラブル 199
記号の入力 51
起動時のトラブル 196
起動ディスク 170
機能キー 232,235
キャップス・ロック・キー 234
キャップスロック・ランプ 234
句読点の入力 51
組み合わせキー 240
クリック 35,38

クリック・ボタン 35
検索サービス(インターネット) 129
検索(ファイル) 70
故障かな
 アプリケーション 214
 ウイルス検査 176,193
 オプション 209
 解決しないとき 230
 キーボード 199
 起動時 196
 重大なトラブル 191
 終了時 196
 情報処理振興事業協会 193
 事例紹介 195
 スピーカー 202
 通信機能 216
 ディスクレット 205
 ディスプレイ 198
 トラックポイント 201
 トラブル一覧 188
 トラブルシューティング 194
 トラブルの予防 192
 ハードディスク 207
 プリンター 208
 フロッピーディスク 205
 ヘルプ 194
 マウス 201
 CD-ROM 203
 IPA 193
 PCカード 209
 Q&A 195
 Windows 98 210
コピー(ファイル) 67,68
コントロール・キー 239

コンピューター・ウィルス 192

サ

サービスセンター 191

最小化ボタン 58

最大化ボタン 58

サスペンド機能 95,236

サポート体制 230

残量チェック(バッテリー) 94,235

起動する 20

システム障害 175

システム構成 173

シフト・キー 234

重大なトラブル 191

終了時のトラブル 196

受信トレイ 134

修正プログラム 186

ショートカット 73

省電力 95,236

商標 9

情報処理振興事業協会 193

初期化 79

事例紹介(トラブル) 195

アプリケーション 214

オプション 209

キーボード 199

起動時 196

終了時 196

スピーカー 202

通信機能 216

ディスクет 205

ディスプレイ 198

トラックポイント 201

ハードディスク 207

プリンター 208

フロッピーディスク 205

マウス 201

CD-ROM 203

PCカード 209

Windows 98 210

侵入(ウィルス) 193

スクロール・ボタン 58

スクロール・ロック・キー 238

スクロール・ロック・ランプ 238

スタート・ボタン 57,59

スタンバイ機能 95,235

スティック 34

スピーカーのトラブル 202

スペース・キー 233

赤外線通信 161

接続する(インターネット) 122

接続を終了する

(インターネット) 124

送受信(電子メール) 133

外付けCD-ROMドライブ 83

ソフトウェア 15

タ

ターミナル・アダプター 101

タイトルバー 58

ダイヤルアップ接続 105

ダイヤル回線 98

タスクバー 57

ダブルクリック 35,39

タブ・キー 234

チャンネルバー 58

直接入力モード 43,49

ツールバー 42

通信機能 98

~のトラブル 216

データベース検索 103

ディスクет 76

~の種類 77

~のトラブル 205

~を入れる 78

~を取り出す 78

~をフォーマットする 79

ディスクет・ドライブ 18,77

ディスプレイ 17

~のトラブル 198

デジタル 98,101

デスクトップ 57

デリート・キー 237

電源

~を入れる 19

~を切る 31

電子メール 104,114,131,225

新規~ 131

~を送る 131

~を設定する 114

~を送受信する 133

~を読む 134

電話 135,155

セットアップ 141

留守番電話 156

~を受ける 156

~をかける 155

電話回線 98,107,216

トーン回線 98

特殊キー 232,237

特殊文字の入力 52

閉じるボタン 58

特記事項 9

ドライブ 18

トラックポイント 17,34

クリック 35

クリック・ボタン 35

スティック 34

ダブルクリック 35

ドラッグ&ドロップ 36

右クリック 35

~の使い方 34
~のトラブル 201
ドラッグ&ドロップ 36,40
トラブル一覧(故障) 188
トラブルシューティング 194
トラブルの予防 192
トラブル・チェックシート 230,249

ナ

ナム・ロック・キー 238
ナム・ロック・ランプ 238
日本語入力システム 42
日本語入力モード 42
~を切り替える 43,49
ニュース・グループ 104
入力
アルファベット 49
カタカナ 46
漢字 45
記号 51
基本 42
句読点 51
特殊文字 52
ひらがな 43
ヘルプ 55
~の方法がわからない 55
~モードを切り替える 43
入力方式 43
ネットサーフィン 103
ネットサーフィン疑似体験 105
ネットニュース 104
ネットバスポート 105,107

ハ

ハードウェア 15
ハードディスク 18
~のトラブル 207

ハードディスク・アクセスランプ 33
ハイパーネーション機能 95,236
はじめに 3
パスワード 107,229
パソコン通信 102
バックアップ 69,192
バック・スペース・キー 237
バッテリー 94,226
サスペンド機能 95
~のトラブル 226
パルス回線 98
半角/全角キー 233
被害届(ウィルス) 193
標準タイプ・キー 232,233
ひらがな入力 43
ファイル 61
~の検索 70
~のバックアップ 69
~の保存場所がわからない 70
~を移動する 67,69
~をコピーする 67,68
~を保存する 65
ファイル転送プロトコル 104
ファイル転送(赤外線通信) 161
ファクシミリ 135
ファックス 135
セットアップ 135
~を受信する 150
~を送信する 145
~を表示する 150,153
ファンクション・キー 235
フォーマット 77,79
フォルダー 61
自分専用の~ 63
~を作る 63
プッシュホン回線 98
ブラウザ 105

プリインストール 16
プリンター 89
~のトラブル 208
~を接続する 89
プリンター・ドライバ 90
プリント・スクリーン・キー 238
プロダクトキー 26
フロッピーディスク 18,76,205
プロバイダー 105,107,221
ページ・アップ・キー 238
ページ・ダウン・キー 238
ヘルプ
トラブルシューティング 194
文字入力 55
変換キー 239
ポーズ・キー 238
ホームテレホン 101
ホームページ
日本アイ・ビー・エム 129
ThinkPad 127
~の公開 103
ホーム・キー 237
訪問サービス 2
保存場所(ファイル) 65
本体組み込み型CD-ROMドライブ 81

マ

マウス 37
カーソル 34
クリック 38
ダブルクリック 39
ドラッグ&ドロップ 40
右クリック 38
ポインター 34,37
~のトラブル 201
~を接続する 37
右クリック 35,38

無変換キー 239
メール・アカウント 115
メニューバー 58
メモ帳
 ~を起動する 44
 ~を終了する 54
メモリー 18
文字キー 233
モデム 98,216

ヤ

ヤフー 129
ユーザー登録 181
ユーザーID 107

ラ

リセットする 32
リセットできない 33
リングセントラル 135
リングセントラル ファックス 135
レジューム機能 95
ローマ字対応表 241

ワ

ワープロ 13

A

AntiVirus 176

B

BCC 132

C

CC 132
CD-ROM
 ドライブ 18,81
 ~のトラブル 203

～を入れる 81,83
～を取り出す 82,84
ConfigSafe 173
CPU 18

E

E-mail 104,114,131

F

Fnキー 235
FTP 104

I

IBM
インターネット接続サービス 105,107
 ~の登録を解約する 113
お客様登録 181
ネットパスポート 105,107
サービスセンター 191
ホームページ 129
～のプロバイダー 107
IWS オフィス 227
PC ハウス・コール訪問サービス 2
PCハードウェア国際保証サービス 227

IntelliSync 161
Internet Explorer 105,126
 ツールボタン 126

IPA 193
ISDN 101,219
ISP 105
IWS 227

M

MS-IME 98 41,241

N

Netscape Navigator 105

Norton AntiVirus 176

O

OS 15
Outlook Express 114,131

P

PBX 101
PC カード 18,86
 イジェクトボタン 87,88
 スロット 18
 ~の種類 86
 ~のトラブル 209
 ~を入れる 87
 ~を使う 87
 ~を取り出す 88

PC ハウス・コール訪問サービス 2

Q

Q & A 195

R

RingCentral Fax 135
 セットアップ 135
 ファックス受信 150
 ファックス送信 145
RingCentoral 135
 セットアップ 141
 電話機能 155
 ファックス受信 151
 ファックス送信 148

S

Safe モード 175

T

TA 101,219

TCP/IP 224

Y

ThinkPad

Yahoo! 129

ホームページ 127

本体 17

~でインターネット 105

~のキーボード 41

~の操作を終了する 31

~の電源を入れる 19

~の電源を切る 31

~を起動する 20

~をリセットする 32

ThinkPad らんど 127

U

URL 103,128

W

Windows キー 41,239

Windows の終了 31

Windows 98 57,210

アイコン 57

ウインドウ 57

最小化ボタン 58

最大化ボタン 58

スクロール・ボタン 58

スタート・ボタン 57

タイトルバー 58

タスクバー 57

チャンネルバー 58

デスクトップ 57

閉じるボタン 58

メニューバー 58

~の画面 57

~のトラブル 210

~をセットアップする 22

WWW 103

WWW ブラウザー 105

トラブル・チェックシート(1/2)

問題の内容

どのような現象ですか？

その現象は何をした後発生するようになりましたか？

ハードウェアの取り付け、または取り外し

ソフトウェアのインストール

その他：

その時どんなエラーが表示されますか？

エラーコード：

エラーメッセージ：

それはどれくらいの頻度ですか？

1度発生したがその後発生しない

電源を切らないと発生するが電源を切って再起動すれば発生しない

電源を切ってから再起動しても必ず発生する

その他：

その現象が発生するのは決まった操作ですか？

ある一定の操作をすると発生する

どんな操作をしても発生する

操作例：

トラブル・チェックシート(2/2)

お客様の環境

本体

モデル名 / 製造番号 (S/N) 等は保証書で確認してください。

モデル名 (例 : 2611-4xx):

製造番号 (S/N):

搭載メモリー総量 :

M B

PCカード / オプション (増設機器)

製品名・製造元を記入してください。

プリンター :

オプション・メモリー :

M B

PCカード名 :

その他のオプション :

ソフトウェア環境

Windows 98 名はプリインストールで提供されているものは「プリインストール」と記入してください。

使用している Windows 98 名 / バージョン :

追加ソフトウェア名 / バージョン :

メモ